

附錄 日本外交文書 大正十年第一冊 日附索引

大正十年(西曆一九二一年) 第一冊 日附索引

一 月

事項番号	文書番号	電信番号	頁
------	------	------	---

四	二一九	一月一日	一	在シアトル広田領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	華州排日土地法案ニ関シ人民直接立 法ノ手段ハ成功セザリシモ排日派ハ 更ニ通常ノ立法手段ニ依リ成立ヲ期 シ居ル件	二四八
---	-----	------	---	----------------------------	--	-----

二	四〇四	一月三日	政公信四	在墨国伊藤臨時代理公使ヨリ 内田外務大臣宛	カランサ大統領暗殺ノ下手人被疑者 ロドルフォ、エレーロ少將軍職ヲ剝 奪セラレタル件	四七九
---	-----	------	------	--------------------------	---	-----

二	四七	一月四日	二	在桑港太田總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ジョンソンハ一般の排外土地法制定 ニ反対ナル旨ノ新聞電報報告ノ件	一〇二
---	----	------	---	---------------------------	-------------------------------------	-----

二	四八	一月四日	四	在桑港太田總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ステイヴンス加州知事ハ其教書ニ於 テ排日土地法ニ言及セルニ付報告ノ 件	一〇二
---	----	------	---	---------------------------	---	-----

二	四九	一月五日	一	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	加州新土地法ニ関スル日本政府ノ覚 書ヲ國務長官代理及モリス大使ニ手 交方竝内報方ノ訓令執行済ノ件	一〇三
---	----	------	---	--------------------------	--	-----

別電	同日幣原大使発内田外務大臣宛電報第二号	右覚書	一〇四
----	---------------------	-----	-----

二	一五〇	一月六日	九	在桑港太田總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	外国人人頭税法案ニ関シ可然方法ニ テ國務省及州政府ノ注意喚起方ニ付 幣原大使ニ依頼ノ件	一七四
---	-----	------	---	---------------------------	---	-----

九 三六七 一月六日 八 在米国外務大臣宛(電報) 日本移民其他太平洋問題ニ関スル豪洲高等弁務官ノ紐育ニ於ケル談話新聞記事大要報告ノ件……………四一五

一一 三八五 一月六日 通三合送 四 田中通商局長ヨリ 警視總監北海道長官各府県知事(東京府ヲ除ク)宛 伯国行夫婦自由移民ノ渡航許可方取扱ニ関スル件……………四五〇

附記 大正九年十二月十四日在サンパウロ藤田総領事発 内田外務大臣宛電報第四二号……………四五〇

一一 三八六 一月六日 通三送三 田中通商局長ヨリ 神山海外興業株式会社社長宛 伯国行夫婦自由移民ノ渡航許可ハ純農業者ニ限ルベキ旨及右許可ノ取扱方ニ関シ通達ノ件……………四五一

一 一 一月七日 一二 在桑港太田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報) 下院議員ジョンソン提出ノ移民入国一時禁止法案ニ関シ上院移民委員会ハ聴問会開始ノ件……………一

附記 合衆国新移民禁止法案(通商局調)……………一

二 五〇 一月七日 一六 在桑港太田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報) 加州州会上院ハ全会一致ヲ以テインマン決議案ヲ可決ノ件……………一〇七

一一 三八七 一月七日 一 内田外務大臣ヨリ 在サンパウロ藤田総領事宛(電報) 伯国行夫婦自由移民渡航許可ノ取扱方ニ関シ回電ノ件……………四五二

二 五一 一月八日 在本邦米國臨時代理大使 會談 壇原外務次官 加州新土地法ニ関シ幣原大使ヨリ米國政府ニ提出ノ抗議文写入手方ベル氏希望ノ件……………一〇七

二 五二 一月八日 公二一 在桑港太田総領事ヨリ 内田外務大臣宛 インマン提出ノ排日決議案送付ノ件……………一〇八

附屬書 右排日決議案写……………一〇八

三 一七四 一月八日 六 内田外務大臣ヨリ 在米国外務大臣宛(電報) 入国時ノ差別待遇ハ讓歩スルモ入国後ノ待遇ハ飽迄無差別ヲ主張シ度ニ付モリス大使ノ再考ヲ促シ妥結ノ方ヲ講ゼラレ度旨訓令ノ件……………一八五

一二 四〇五 一月八日 三 在墨國伊藤臨時代理公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報) 墨國大統領オブレゴン重患ノ趣報告ノ件……………四七九

一八 七九一 一月八日 二九 在英國林大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報) 日本ト極東共和国トノ通商再開ニ関シ莫斯科電信報道ノ件……………八一六

二 五三 一月九日 一七 在桑港太田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報) 加州知事ガ中央議會兩院議員等ニ送リタル書翰ニ對スル反響並右書翰ヘノ反駁方法ニ付報告ノ件……………一一一

三 一七五 一月九日 一四 在米国外務大臣宛(電報) 日本入ノ均等待遇ニ関スルモリス大使試案及我修正意見報告ノ件……………一八六

別電 同日在米国外務大臣宛電報

第一五号

右モリス大使試案……………一九〇

三 一七六 一月九日 一六 在米国外務大臣宛(電報) 莫リス大使提出ノ条約對案ニ對シ修正ヲ提議セル件……………一九三

附記 幣原モリス兩大使間第十八回及第十九回協議會議事録……………一九四

一四 六五一 一月九日 二五 在英國林大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報) 英國及勞農露國間ノ通商開始交渉行惱ノ狀況報告ノ件……………六五三

一 二 一月十日 九 在伊國落合大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報) 移民入国一時禁止法案ニ對スル伊國ノ態度ニ関スル華府電報報告ノ件……………五

二 五四 一月十日 一九 在桑港太田總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報) ダンカン上院議員提出ノ一般の排外地法案ノ要点等報告ノ件……………一二

一七	七七九	一月十日	五	在浦潮菊池政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	浦潮碇泊中ノ米艦機関長ラングドン 大尉我衛兵ノ誰何ニ対シ拳銃ヲ発射……八〇二 セルニ付衛兵之ニ応射シタル件
二	一〇六	一月十一日	四	内田外務大臣ヨリ 在桑港太田総領事宛(電報)	加州ニ於ケル日本語学校教員生……一四三 徒教等調査方訓令ノ件
一二	四〇六	一月十一日	六	在墨国伊藤臨時代理公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	墨国大統領ノ健康稍回復シタル件……四七九
一	三	一月十二日	一二	在伊国落合大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	米国ノ移民入国一時禁止法案ニ対ス ル伊国ノ態度ニ付伊国外務省総務長……五 官説明ノ件
二	五五	一月十二日	二一	在桑港太田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	インマンノ排日決議案下院通過及パ ーカー議員ノ為セル演説ニ付報告ノ……一三 件
三	一七七	一月十二日	二〇	在米国幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	モリス大使ノ条約対案ニ対シ修正案 提出並公有地ヲ条約ノ保障ヨリ除外……一九六 ノ理由質問シタル件
八	三〇四	一月十二日	公九	在ヴァンクラーヴァー浮田領事 ヨリ 内田外務大臣宛	B・C・州排日問題ニ対シ我方ニ有 利ナルサン紙社説切抜送付ノ件……三三〇
附屬書 右切抜……………三三〇					
一二	四〇七	一月十二日	米機公信 五	在墨国伊藤臨時代理公使ヨリ 内田外務大臣宛	墨国政府承認問題ニ対スル仏国ノ態 度ニ関スル件……四八〇
一七	七八〇	一月十二日	二	内田外務大臣ヨリ 在浦潮菊池政務部長宛(電報)	ラングドン事件ニ関スル我方ノ執リ タル措置ニ付通報ノ件……八〇二
一七	七八一	一月十二日	一一	内田外務大臣ヨリ 在米国幣原大使宛(電報)	ラングドン事件ニ関スル我方ノ措置 通報並適當ト認メラルル場合ニハ米 国政府ニ弔意申入方訓令ノ件……八〇三

二	五六	一月十三日	二三	在桑港太田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	州会下院議員ヘーシンガー提出一般 外国人ノ農業地所有禁止法案要点等……一四
二	一〇七	一月十三日	二四	在桑港太田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	桑港地方ニ於ケル日本語学校教員其他 ニ関シ查報ノ件……一四三
一八	七九二	一月十三日	一六	在浦潮菊池政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	極東共和国側ヨリ物資買付等ノ為商 務官一行ヲ渡日セシメ度旨申出ニ付……一八六 請訓ノ件
二	一五一	一月十四日	二五	在桑港太田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	人頭税問題ニ関シ外交上ノ手段ハ暫 ク見合スルヲ得策トスル旨幣原大使……一七四 ノ回電転電ノ件
一七	七八二	一月十四日	四	内田外務大臣ヨリ 在浦潮菊池政務部長宛(電報)	我歩哨ノラングドン射撃行為ノ正否 判定ノ際考慮ヲ要スル諸点指示ノ件……八〇四
一八	七九三	一月十四日	一八	内田外務大臣ヨリ 在英国外務大臣宛(電報)	日本及極東共和国間通商再開ニ関ス ル莫斯科電信ハ事実無根ナル件……八一六
二	五七	一月十五日	二七	在桑港太田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	排日協会実行委員長ハ排日運動ノ為 ノ募金案ニ関シ声明公表ノ件……一一四
一二	四〇八	一月十五日	米機公信 六	在墨国伊藤臨時代理公使ヨリ 内田外務大臣宛	墨国政府承認問題ニ対スル英政府 ノ態度ニ付同国公使館事務取扱ノ談……四八〇 話報告ノ件
一七	七八三	一月十五日		在本邦米國臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛	ラングドン射撃事件ニ関シ米國政府 ヨリ抗議ノ件……八〇四
二	一〇八	一月十六日	九	在ロス・アンゼルス大山領事 ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	羅府地方ニ於ケル日本語学校教員其他 ニ関シ查報ノ件……一四四
二	一〇九	一月十七日	二九	在桑港太田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日本学童隔離法案及日本語学校禁止 案等ニ対シ知事不賛成ナル旨ライオ ン氏ニ在米日会ニ内報ノ件……一四四

三	一七八	一月十七日	二〇	内田外務大臣ヨリ 在米國幣原大使宛(電報)	土地所有權ニ関スル相互主義ニ付テ ノ意見回電方訓令ノ件……………一九八
一四	六五二	一月十七日	五九	在仏国石井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	芬蘭外相及参謀総長ノ労働露國ノ状 勢ニ関スル上田書記官ヘノ談話報告 ノ件……………六五四
一四	六五三	一月十七日	五九	在英國林大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	英國政府ガ最後ニ労働露國代表クラ ッシンニ交付セル英露通商協約案ニ 付報告ノ件……………六五五
一八	七九四	一月十八日		極東共和国外務大臣ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日本ノ西比利亞撤兵日本軍ノ露國內 政不干渉極東共和国ノ外交使節接受 方ニ付提案ノ件……………八一七
一二	一〇〇一	一月十八日	薩参二六	薩哈連州派遣軍参謀長ヨリ 陸軍次官宛(電報)	ニコライエフスク方面ノ政情等ニ関 スル情報報告ノ件……………一〇五三
一二	四〇九	一月十八日	米公信二	在墨國伊藤臨時代理公使ヨリ 内田外務大臣宛	墨國政府承認ニ対スル英仏白西伊五 個國ノ態度ヲ報セルウニヴェールサ イル紙記事訳報ノ件……………四八一
一	四	一月十九日	二二	内田外務大臣ヨリ 在米國幣原大使宛(電報)	ジョンソン移民法案ハ合衆國市民タ ル意思表示者ニ限り家族呼寄許可ヲ 規定スルニ付適當修正方配慮アリ度 旨訓令ノ件……………五
八	三〇五	一月十九日	公二〇	在オタワ清水総領事ヨリ 内田外務大臣宛	排日問題ニ付我方ニ好意的社説掲載 ノ「サン」紙主筆ニ対シ挨拶ノ書翰 ヲ送リタル旨報告ノ件……………三三二

附屬書

一月十九日附在オタワ清水總領事ヨリ在晚香港浮田領事宛

公信第二号写

右件

二	五八	一月二十日		在本邦米國臨時代理大使ヨリ 埴原次官宛	加州土地法ニ関シ幣原大使ヨリ米國 政府ニ提出シタル覚書写受領通知ノ 件……………一一五
八	三〇六	一月二十日	公一八	在ヴァンクーヴァー浮田領事 ヨリ 内田外務大臣宛	B.C.州ニ於ケル日本人兒童ノ教育 問題ニ関シ報告ノ件……………三三三
一三	四四六	一月二十日	七八	在英國林大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	皇太子殿下御渡英御予定ノ新聞報道 ニ関シ英國側ニ速ニ内報ノ要アルベ キ旨稟申ノ件……………五〇八
三	一七九	一月二十一日	二九	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	米國各州ニ付嚴格ニ相互主義ヲ適用 スルコトナク土地所有權ヲ許スル ヲ妥當トスル旨回答ノ件……………一九八
八	三〇七	一月二十一日	公一九	在ヴァンクーヴァー浮田領事 ヨリ 内田外務大臣宛	B.C.州果実栽培業者大会ニ於ケル 東洋人ノ土地所有及借地禁止問題論 議ニ関シ報告ノ件……………三三四
一四	六五四	一月二十一日	一六	在瑞典國畑公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	英國及労働露國間交渉ノ進行状況ニ 関シクラッシンノ新聞記者ニ対スル 談話報告ノ件……………六五六
三	一八〇	一月二十二日	三二	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	加州土地法ハ條約上ノ權利侵害ニ非 ズトノ米國側覚書内容ヲ反駁及モリ ス大使弁明ノ件……………二〇一
	別電			同日在米國幣原大使宛内田外務大臣宛電報第三号	……………二〇一
	右覚書				……………二〇一

一七	七六二	一月二十二日	三七	在浦潮菊池政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	極東共和国外相ヨリ内田外相宛日本 軍ノ西比利亞撤退等ニ関スル提案ノ 覚書受領ノ件……………七八一
----	-----	--------	----	----------------------------	--

三 一八一 一月二十四日 三七 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 二〇四

八 三〇八 一月二十四日 公二二 在ヴァンクラーフアー浮田領事
ヨリ
内田外務大臣宛 三三六

附屬書 同日附在晚香港浮田領事ヨリ在オタワ清水総領事宛公信阿
往第四号写 三三六

九 三六八 一月二十四日 公八 在シドニー玉木総領事代理ヨ
リ
内田外務大臣宛 四一五

附屬書 右新聞切抜 四一六

一三 四四七 一月二十四日 式部送 中村宮内大臣ヨリ
二八 内田外務大臣宛 五〇八

一三 四四八 一月二十四日 三三 内田外務大臣ヨリ
在英國林大使宛(電報) 五〇八

附記一 一月二十六日内田外務大臣宛在英國林大使宛 五〇九

電報第三九号 五〇九

二 一月二十八日内田外務大臣宛在英國林大使宛 五〇九

電報第四四号 五〇九

一 五 一月二十五日 公二七 在シカゴ桑嶋領事ヨリ
内田外務大臣宛 六

猶太婦人会ノ移民法案反対決議報告 六

二 五九 一月二十五日 三七 在桑港矢田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 一一六

加州議會ニ於テ日米新条約反対ノ共
同決議案上院ニ提出ノ件 一一六

三 一八二 一月二十五日 三九 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 二〇六

一月二十四日ノ協議会ハモリス大使
提出ノ条約最終修正案ヲ審査決定及
協議会閉会ノ件 二〇六

別電 同日在米國幣原大使宛内田外務大臣宛電報第四〇号 二〇九

右条約最終修正案 二〇九

附記一 幣原モリス両大使間第二十、二十一、二十二及二十三回
協議會議事録 二一一

二 幣原モリス両大使協議要項(追加) 二二五

八 三〇九 一月二十五日 公二四 在ヴァンクラーフアー浮田領事
ヨリ
内田外務大臣宛 三三七

領代議士ステイヴンスノ東洋人排
斥移民法改正意図ニ関シ追報ノ件 三三七

附屬書 同日附晚香港浮田領事ヨリ在オタワ清水総領事宛公信阿往
第六号写 三三七

九 三六九 一月二十五日 外高秘 渡辺長崎県知事ヨリ
九八 内田外務大臣宛 四一九

濠洲ニ於ケルヒュース派始メ各政党
ノ排日政策及木曜島ノ本邦移民近況
並香港地方ノ家賃値上問題等ニ関ス
ル聞込ニ付報告ノ件 四一九

一七 七八四 一月二十五日 欧一機密 内田外務大臣ヨリ
二 在本邦米國臨時代理大使宛 八〇七

ラングドン射撃事件ニ関スル米國政
府ノ抗議通牒ニ対シ回答ノ件 八〇七

一七 七八五 一月二十五日 外秘乙 岡警視總監ヨリ
一一四 松平欧米局長宛 八〇八

ラングドン射撃事件ニ関スル在京奥
國人ノ感想報告ノ件 八〇八

三 一八三 一月二十六日 二六 在紐育熊崎総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 二二七

三 一八四 一月二十六日 二七 在紐育熊崎総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 二二七

三 一八五 一月二十六日 三八 在桑港矢田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 二二八

三 一八六 一月二十六日 三九 在桑港矢田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 二二九

一四 六五五 一月二十六日 二四 在瑞典国畑公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 六五六

一八 七九五 一月二十六日 一七 内田外務大臣ヨリ
在浦潮菊池政務部長宛(電報) 八二一

三 一八七 一月二十七日 四一 在桑港矢田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 二二〇

三 一八八 一月二十七日 四二 在桑港矢田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 二二〇

三 一八九 一月二十八日 四〇 内田外務大臣ヨリ
在米國幣原大使宛(電報) 二二一

三 一九〇 一月二十八日 四三 在桑港矢田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 二二二

一二 一〇〇二 一月二十八日 歐機密合 五四 壇原外務次官ヨリ
陸軍次官海軍次官各宛 ニコライエフスク最近情報送付ノ件 一〇五四

附屬書 右情報

一〇五四

一二 一〇〇三 一月二十八日 機密二 松村総領事(重港出張中)ヨリ
内田外務大臣宛 極東共和国ガアレクサンドロフスク
ニ派遣セントスル薩哈噠州執政官ノ
取扱振ニ関シ請訓ノ件 一〇五五

一二 一〇〇四 一月二十八日 機密三 松村総領事(重港出張中)ヨリ
内田外務大臣宛 黒竜江下流航行監視ノ必要ニ付稟申
及請訓ノ件 一〇五六

附屬書 黒竜江下流略図

一〇五七

三 一九一 一月二十九日 四九 在桑港矢田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 談話ヲ掲載セルエグザミナー記事
ニ関スルファイラン氏ノ
報ノ件 二二二

三 一九二 一月二十九日 三二 在紐育熊崎総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 加州問題ニ関シ日米兩國大使間協定
成立セリトノ報道ニ対スルトリビュ
ン紙及ワールド紙ノ論評報告ノ件 二二三

四 二二〇 一月二十九日 一四 在シアトル広田領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 華州下院ニ於テ排外土地法案提出ノ
件 二四八

一三 四四九 一月二十九日 一二四 在英国林大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 皇太子殿下英国皇室御訪問ノ儀ニ付
英国外相代理内話ノ件 五〇九

三 一九三 一月三十日 五〇 在桑港矢田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 日本移民差止ニ関シ日米兩國大使間
ニ意見一致ヲ見ルニ於テハ外人排斥
土地法ハ無用トナルベキ旨桑港商業
會議所ヨリモリス大使ヘノ回答決定
ノ件 二二四

三 一九四 一月三十日 五一 在桑港矢田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 加州土地法ヲ無効トスベキ日米間協
議成立ノ防止ヲ訴ヘタル声明ヲウエ
ッ州検事総長発表ノ件 二二四

四	二二一	一月三十日	一五	在シアトル広田領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	華州ニ於ケル排外土地法案全文概要……………二四八 報告ノ件
一一	三八八	一月三十日	通公二三	在伯国堀口公使ヨリ 内田外務大臣宛	伯国ニ於ケル本邦移民事情及農商工 業等ニ関スル報告書ヲ印刷ノ上各方………四五二 面へ配布取計方稟請ノ件
二	一一〇	一月三十一日	五四	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ライオン氏ハ布哇外国語学校取締法 ヲ基礎トシテ作成セル取締法案ヲ上………一四五 院ニ提出シタル件
二	一三四	一月三十一日	五六	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	加州州会下院ニ於テミッチェル議員 ヨリ外国人ノ漁獵禁止法案提出ノ件………一六六

一一 月

二	六〇	二月一日	五八	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	排日協会実行委員長チェンバースハ………一六 排日宣伝資金募集運動ヲ声明ノ件
三	一九五	二月一日	一四	在ロス・アンゼルス大山領事 ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日本移民問題ニ対シジョンソン、フ ナー紙記事報告ノ件……………二二五
三	一九六	二月一日	五三	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	排日問題ノ日米協議ニ関スルジョン ソンノ声明ニ対シ國務長官ガ反駁的 公表ヲ為セル件……………二二五
三	一九七	二月一日	五九	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ジョンソン、フィーランノ日米協議 案反對運動ニ関スル情報報告ノ件………二二六
三	一九八	二月一日	六〇	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ジョンソン氏ハ其声明ニ対スル國務 長官ノ反駁ニ対シ更ニ反駁の声明ヲ………二二七 發表シタル件

一一三	四五〇	二月一日	一〇三	内田外務大臣ヨリ 在仏國石井大使宛(電報)	皇太子殿下御旅行ノ御計画一般御訪 問國ノ選択等ニ付意見回電方訓令ノ………五一〇 件
一一三	四五一	二月一日	一二五	在英國林大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	皇太子殿下御渡英ニ関シ速ニ御旅程 其他電報方稟請ノ件……………五一〇
三	一九九	二月二日	五四	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ジョンソンノ反駁の公表ニ対スル國 務長官ノ談話報告ノ件……………二二八
一四	六五六	二月二日	一三八	在仏國石井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	對露態度ニ関スル英仏伊各國上席代 表ノ意見ニ付報告ノ件……………六五八
一一三	四五二	二月三日	五七	内田外務大臣ヨリ 在英國林大使宛(電報)	皇太子殿下御渡英ニ関シ英國皇室ノ 御回答至急取付方ノ件……………五一〇
一一三	四五三	二月三日	一四	在シドニー玉木総領事代理ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	皇太子殿下ノ御渡英ニ関連シ米國ノ 世界政策ト題スル新聞紙社説報告ノ………五一〇 件
二	六一	二月四日	六三	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	排日派ノ全米的啓發資金募集運動開 始ノ件……………一一六
二	一一一	二月四日	六五	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	パーカー氏ガライオン案ト同一ノ外 國語学校取締法案ヲ下院ニ提出シタ ル件……………一四五
三	二〇一	二月四日	一九	在ロス・アンゼルス大山領事 ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日米協議案ハ其儘次期政權ニ引継ガ ルベントノ國務省員ノ談話ヲ伝フル………二二八 新聞報告ノ件
九	三七〇	二月四日	一五	在シドニー玉木総領事代理ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	クウインズランド州首相排日演說報 告ノ件……………四二一
九	三七一	二月四日	一六	在シドニー玉木総領事代理ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	本邦人濠州不法入國ニ関スル新聞記 事ハ虛構說ニ過ギザル由報告ノ件………四二二

別電 二月七日在シドニー玉木総領事代理発内田外務大臣宛電報

第一七号

根拠ナキ排日宣伝ヲ警告セル言説ニ関シ玉木総領事代理新
聞記者会見ノ模様報告ノ件……………四二二

一一三 四五四 二月 四日 一四三 在英国林大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………五二二

一一三 四五五 二月 四日 四〇 在伊国落合大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………五二二

一 六 二月 五日 一七 在シアトル広田領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………六

二 六二 二月 五日 六六 在桑港矢田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………一一七

一一三 四五六 二月 五日 一七一 在仏国石井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………五二三

一一三 四五七 二月 五日 七 在蘭国田付公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………五二三

一一二 一〇〇五 二月 五日 一 内田外務大臣ヨリ
松村総領事(垂港出張中)宛
関シ現地ノ利害關係調査方訓令ノ件……………一〇五八

附記一 大正九年十二月十五日内田外務大臣発在アレクサンドロ
フスク松村総領事宛電報第三号

薩哈噠州占領地施政方針ニ関スル閣議決定ニ則リ措置方
訓令ノ件……………一〇五八

二 大正九年十二月十七日在アレクサンドロフスク松村総領
事発内田外務大臣宛電報第四号……………一〇五九
薩哈噠州占領地施政方針中ニ所謂既得權ノ意義ニ付請訓
ノ件……………

一一三 四五八 二月 六日 一四八 在英国林大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………五二三

三 二〇二 二月 七日 五五 内田外務大臣ヨリ
在米國幣原大使宛(電報)……………二二九

一一三 四五九 二月 七日 機密送四 内田外務大臣ヨリ
中村宮内大臣宛……………五二四

一一三 四六〇 二月 七日 七 在新嘉坡山崎総領事代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………五二四

一四 六五七 二月 七日 三七 在瑞典国畑公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………六五八

一一二 一〇〇六 二月 七日 一 薩哈噠州派遣軍參謀長ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………一〇五九

一一二 一〇〇七 二月 七日 公一 松村総領事(垂港出張中)ヨリ
内田外務大臣宛……………一〇六〇

附屬書 薩哈噠州行政区画變更ニ関スル情報……………一〇六〇

一	七	二月八日	七一	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ジョンソン案ハ上院通過ノ見込無キ 旨及之ニ代ルベキ移民制限案ニ関ス ル新聞報告ノ件……………七
二	六三	二月八日	六	内田外務大臣ヨリ 在桑港矢田総領事宛(電報)	公職ニ在ル加州知事ノ公然タル排日 運動声援ニ対シ國務省ニ注意喚起方 訓令ノ件……………一一八
一七	七八六	二月八日		山梨陸軍大臣ヨリ 内田外務大臣宛	ラングドン射撃事件善後処置方ニ関 シ陸軍省ノ意見通報ノ件……………八〇八
一七	七八七	二月八日	六〇	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ラングドン射撃事件ニ関シ國務長官 代理デヴィンストノ会谈報告ノ件……………八〇九
二	六四	二月九日	七三	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	加州ニ於ケル排日運動資金募集ノ状 況報告ノ件……………一一八
三	二〇三	二月十日	六二	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	幣原モリス兩大使間ノ協議成案ニ対 スル先方各方面ノ意向ニ付回報ノ件……………一二九
一四	六五八	二月十日	一六五	在英國林大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	英露通商協約案ニ関シチェリソノ 英國外相宛書翰要旨及デイリー、ヘ ラルド記事報告ノ件……………六五九
一一	一〇〇八	二月十日	歐機密合 八二	壇原外務次官ヨリ 陸軍海軍及農商務各次官各宛	薩哈噠州占領地域ニ於ケル既得權ノ 意義ニ関スル件……………一〇六二
一	八	二月十一日	七五	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	上院移民委員會ニ於テジョンソン案 否決及デイリンガム案満場一致通過 ニ関スル新聞報告ノ件……………七
三	二〇四	二月十一日	七一	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	上院外交委員會ヨリノ日米兩國間協 定ノ骨子交付方要求ニ対シ國務長官 拒絕ノ件……………二三〇
四	二二二	二月十一日	二三	在シアトル広田領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	華州排日法案ニ関スル賛否兩派ノ意 見聴取会ノ模様ニ付報告ノ件……………二四九
三	二〇五	二月十二日	七三	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	上院外交委員長ヨリ日米兩國間協定 内容交付方要求ニ対スル國務長官ノ 回答要領報告ノ件……………二三一
三	二〇六	二月十二日	七六	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	上院外交委員長ヨリ日米兩國間協定 内容交付方要求ニ対スル國務長官ノ 拒絕回答ヲ伝フル新聞報告要旨報告ノ 件……………二三一
一三	四六一	二月十三日	官調秘七	中村宮内大臣ヨリ 内田外務大臣宛	皇太子殿下海外御巡遊勅許ノ旨通牒 ノ件……………五一五
一	四三	二月十四日	公九四	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛	從軍日本人婦化権問題ニ対スルウイ ルソン労働卿意見ニ関スル件……………九八
八	三一〇	二月十四日	公四一	在ヴァンクレーヴァー浮田領事 ヨリ 内田外務大臣宛	B.C.州牧畜業者大会ニ於ケル東洋 人ノ土地所有禁止決議及其他ノ排日 論ニ関シ報告ノ件……………三三八

附屬書 同日附在晚香坡浮田領事ヨリ在オタワ清水總領事宛公信阿

往第八号写

……三三八

一三 四六二 二月十四日 秘二五 中村宮内大臣ヨリ
内田外務大臣宛 皇太子殿下海外御巡遊ニ載仁親王殿
下随伴ノ旨通牒ノ件……………五一五

一三 四六三 二月十四日 秘二六 中村宮内大臣ヨリ
内田外務大臣宛 皇太子殿下海外御巡遊供奉員ノ氏名
通牒ノ件……………五一五

一三 四六四 二月十四日 一七九 在英國林大使ヨリ
内田外務大臣宛 英國皇室ハ五月九日皇太子殿下ノ御
訪問ヲ受ケ度御内意竝三日間宮中御
滞在方御招待ノ御意向ノ趣外務省員
内話ノ件……………五一六

一七 七八八 二月十四日 壇原外務次官
在本邦米國臨時代理大使 会谈
蘭グドン射撃事件ノ迅速解決ヲ米
國政府要望ノ件……………八二〇

二 六五 二月十六日 八〇 在桑港矢田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) …… 一一八

一七 七八九 二月十六日 六五 内田外務大臣ヨリ
在米國幣原大使宛(電報) …… 八二一

別電 同日内田外務大臣宛電報第六六号 …… 八二二

右善後処置案

附記 二月十七日内田外務大臣宛電報第六九号 …… 八二二

一三 四六五 二月十七日 八九 内田外務大臣ヨリ
在英国林大使宛(電報) …… 五一七

一三 四六六 二月十七日 一九三 在桑港矢田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) …… 五一七

三 二〇七 二月十八日 八三 在桑港矢田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) …… 二二二

四 二二三 二月十八日 二七 在シアトル広田領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) …… 二五〇

一三 四六七 二月十八日 九四 内田外務大臣ヨリ
在英国林大使宛(電報) …… 五一八

一三 四六八 二月十八日 一九四 在英国林大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) …… 五一八

二 六六 二月十九日 八四 在桑港矢田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) …… 一一九

一三 四六九 二月十九日 九六 内田外務大臣ヨリ
在英国林大使宛(電報) …… 五一九

一三 四七〇 二月十九日 九八 内田外務大臣ヨリ
在英国林大使宛(電報) …… 五一九

一三 四七一 二月十九日 一九八 在英国林大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) …… 五一九

一 九 二月二十日 八四 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) …… 八

一三 四七二 二月二十一日 一一 在香港大森總領事代理宛(電報)
付電報ノ件 …… 五二〇

一七 七九〇 二月二十一日 欧一送 内田外務大臣ヨリ
在本邦米國臨時代理大使宛 …… 八二二

一 一〇 二月二十二日 八七 在桑港矢田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) …… 九

一三 四七三 二月二十二日 一〇八 内田外務大臣ヨリ
在英国林大使宛(電報) …… 五二〇

附記 皇太子殿下海外御巡遊供奉員及從者氏名表 …… 五二一

二二 一〇〇九 二月二十二日 九 薩哈噠州派遣軍參謀長ヨリ
内田外務大臣宛(電報) …… 一〇六三

一 一一 二月二十三日 九一 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) …… 九

一八	七九六	二月二十三日	一〇三	在蒲潮菊池政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	チタ政府ハ諸般ノ商工事務ヲ蒲潮ニ 於テ行ハントシツアル旨報告ノ件	八二二
二	六七	二月二十四日	二八	在ロス・アンゼルス大山領事 ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	羅府ニ於ケル排日宣伝費募集ハ成績 不良ノ件	一二〇
一三	四七四	二月二十四日	二五	在香港鈴木總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	皇太子殿下御奉迎ニ関スル香港總督 ヨリノ申出ニ関シ請訓ノ件	五二三
二	六八	二月二十五日	九二	在桑港矢田總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	加州ニ於ケル排日立法ニ関スル内田 外相ノ答弁ニ付A・P報道ノ件	一二〇
二	一一二	二月二十五日	九〇	在桑港矢田總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	加州議會ニ提出サレタル排日諸法案 ノ運命ニ関スル情報報告ノ件	一四六
二	一三五	二月二十五日	公五四	在ロス・アンゼルス大山領事 ヨリ 内田外務大臣宛	加州排外人漁獵法案ニ関スル南加日 本人漁業組合ノ報告書ヲ送付ノ件	一六六
八	三一	二月二十五日	公四八	在ヴァンクラー・ヴァー浮田領事 ヨリ 内田外務大臣宛	附屬書 右報告書ヲ	一六七
八	三一二	二月二十五日	公四九	在ヴァンクラー・ヴァー浮田領事 ヨリ 内田外務大臣宛	B・C州議會及同州農業者連合協會 大会ニ於ケル排日論議ニ関シ報告ノ 件	三三九
附記	大正九年十二月十七日附在晚香坡浮田領事ヨリ内田外務大臣宛公第二九二號		三四五	皇太子殿下御來白ニ関シ請訓ノ件		五二三
一三	四七五	二月二十五日	五九	在白人安達公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)		五二三
七	二八四	二月二十六日	高秘甲 一九八二	湯地福井県知事ヨリ 内田外務大臣、 各府県庁長官宛	浦潮漁業庁長官ノ對邦人反感説ニ関 スル漁業関係者ノ談話報告ノ件	三〇五
一一	三八九	二月二十六日	通三送六	内田外務大臣ヨリ 在サンパウロ藤田總領事宛	伯国官憲ニ對スル出生其他戸籍上ノ 届出及児童ノ教育方針等ニ関スル論 告ノ繼續実行方ニ付指示ノ件	四五三
附記	大正九年七月二十五日附在サンパウロ野田總領事代理兼内 田外務大臣宛通公第一六一號		四五四	伯国官憲ニ對シ出生其他児童教育方針等ニ関シ論 告シタル件		四五四
一三	四七六	二月二十六日	三二	在香港鈴木總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	皇太子殿下御奉迎ニ関シ香港總督ヨ リ更ニ申出アリタル旨報告ノ件	五二三
一三	四七七	二月二十六日	一二	在新嘉坡山崎總領事代理ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	皇太子殿下新嘉坡御立寄ノ際ノ心得 ニ関シ請訓ノ件	五二四
三	二〇八	二月二十七日	九九	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	加州立法及幣原モリス間協定ニ関ス ル内田外務大臣ノ議會答弁ヲ東京連 合通信報道ノ件	三三二
四	二二四	二月二十八日	三一	在シアトル広田領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	華州排外土地法案ハ下院ヲ通過シ上 院ニ回附セラレタル件	二五〇

三 月

一三 四七八 三月一日 一三五 内田外務大臣ヨリ
在英国林大使宛(電報)

皇太子殿下御滞英中英国ノ事情進講者選定置方並皇太子殿下英国側ノ招待ニ対スル御答辭ノ準備方ニ関シ指示ノ件……………五二五

一三 四七九 三月一日 三〇五 在仏国石井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

皇太子殿下仏国御訪問ノ際接伴員其他ニ御贈勲ノ為御携帯ヲ要スル勲章見込數ニ付回電ノ件……………五二五

八 三二三 三月二日 公五四 在ヴァンクラーフアー浮田領事
内田外務大臣宛

太平洋海員組合晚香港支部ガ東洋人排斥ヲ決議セル件……………三四六

附屬書 三月二日附在晚香港浮田領事ヨリ在オタワ清水総領事宛公

信阿往第一三号写

……………三四六

一三 四八〇 三月二日 一四 内田外務大臣ヨリ
在新嘉坡山崎総領事代理宛(電報)

皇太子殿下新嘉坡御立寄ノ際ノ奉迎処置振回訓ノ件……………五二六

一三 四八一 三月二日 三四 在本邦英国大使ヨリ
内田外務大臣宛

英国皇帝及皇后兩陛下ハ皇太子殿下ノバッキンガム宮殿御滞在ヲ欣快トスル旨伝達方ノ本國政府電訓ヲ受ケタル趣通報ノ件……………五二六

二一 一〇一〇 三月二日 四 内田外務大臣ヨリ
松村総領事(重港出張中)宛(電報)

極東共和国ガアレクサンドロフスクニ派遣セントスル薩哈噠州執政官ノ取扱振ニ関シ回訓ノ件……………一〇六四

二一 一〇一一 三月二日 五 内田外務大臣ヨリ
松村総領事(重港出張中)宛(電報)

黒竜江下流航行監視ニ付回訓ノ件……………一〇六五

附記 陸軍トノ協議案

……………一〇六五

二一 一〇一二 三月二日 三八 内田外務大臣ヨリ
在浦潮菊池政務部長宛(電報)

チタ政府ノ予定セル薩哈噠州執政官派遣ハ我占領軍ノ權力ト相容レザル旨ヲ先方ニ申入方訓令ノ件……………一〇六五

附記一 陸軍トノ協議案

一 陸軍ニ派遣セラルヘキ極東共和国執政官ニ関スル件……………一〇六六

二 陸軍当局ガ薩哈噠州派遣軍參謀ニ与フル注意……………一〇六六

二 六九 三月三日 三二 在ロス・アンゼルス大山領事
内田外務大臣宛(電報)

加州排日協會ハ加州ヨリ二十万弗ノ資金募集ヲ計画中トノ所報報告ノ件……………一二一〇

四 二二五 三月三日 三七 在シアトル広田領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

華州排日土地法案ハ上院ヲ通過シ兩院協議会ニ附議セラレタル件……………二五〇

五 二四〇 三月三日 九八 在桑港矢田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

東洋ニ於テ米國労働者ノ受クル取扱ノ調査ヲ米國労働總同盟実行委員會ノ調査ノ件……………二六二

一三 四八二 三月三日 三五 在本邦英国大使ヨリ
内田外務大臣宛

皇太子殿下英国皇室御訪問終了後英國政府ノ賓客トシテ更ニ一週間御滞在ノ御都合ニ関シ問合ノ件……………五二七

一七 七六三 三月三日 極東共和国外務大臣ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

日本軍ノ西比利亞撤退地域ヘノ再進軍ニ付極東共和国政府ヨリ抗議ノ件……………七八一

四 二二六 三月四日 三八 在シアトル広田領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

華州排日土地法案ニ対シ知事ニ依ル否認ヲ行ハシムル為同知事ニ対シ中央政府ヨリ干涉セシムル様在大使ニ依頼セル件……………二五一

八 三一四 三月四日 公五五 在ヴァンクラーフアー浮田領事
内田外務大臣宛

失業者救済手段トシテノ東洋人排斥決議ニ関シ意見開陳ノ件……………三四七

附屬書 三月四日附在晚香坡浮田領事ヨリ在オタワ清水総領事宛公

信阿往第一五号写

三四七

四 二二七 三月五日 四〇 在シアトル広田領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

華州土地法案ノ知事ニ依ル否認ヲ中
央ヨリ勅告スル様至急措置方在米大
使ニ依頼セル件 二五二

一三 四八三 三月五日 人機密送
八 内田外務大臣ヨリ
在本邦英国大使宛

英国皇帝皇后両陛下ノ我皇太子殿下
ヲバッキンガム宮殿御滞在方御招待
ニ対シ皇太子殿下及天皇皇后両陛下
ノ感謝ニ関スル件 五二八

一三 四八四 三月五日 人機密送
九 内田外務大臣ヨリ
在本邦英国大使宛

英国政府ノ賓客トシテ一週間滞在方
御招待ニ対シ皇太子殿下御受諾ノ旨
回答ノ件 五二八

一三 四八五 三月五日 一四五 内田外務大臣ヨリ
在英国林大使宛(電報)

英国皇帝皇后両陛下ノ皇太子殿下ヲ
バッキンガム宮殿御滞在方御招待ニ
付天皇皇后両陛下ヨリノ謝意申入方
訓令ノ件 五二九

一三 四八六 三月五日 四六 在香港鈴木総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

皇太子殿下香港御立寄ノ際御奉迎ニ
関スル香港総督ヨリノ申出ヲ珍田伯
ヘ電報ノ件 五二九

三 二〇九 三月七日 一〇一 内田外務大臣ヨリ
在米国外務大臣宛(電報)

東京連合通信電報ノ誤ニ付訂正ノ件 二三二

四 二二八 三月七日 九八 内田外務大臣ヨリ
在米国外務大臣宛(電報)

華州排日土地法案ニ関シ知事ヲシテ
否認セシムル様國務省ヘ交渉方訓令
ノ件 二五二

一三 四八七 三月七日 四八 在香港鈴木総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

皇太子殿下香港御立寄ノ際ノ御日程
案ニ付珍田伯ノ意見問合ノ件 五三〇

別電 同日鈴木総領事発内田外務大臣宛電報第四九号

右御日程案

五三〇

一三 四八八 三月七日 一七 在新嘉坡山崎總領事代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

新嘉坡総督側ノ皇太子殿下奉迎ノ意
向ニ関スル件 五三一

四 二二九 三月八日 四一 在シアトル広田領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

華州排外土地法案一部修正並下院ニ
於ケル私立学校取締法案否決ノ件 二五三

一〇 三七七 三月八日 公二八 在里馬森領事ヨリ
内田外務大臣宛

静洋丸搭乗契約移民来着表進達ノ件 四四一

附屬書 森岡移民株式合資会社扱契約移民到着表

四四一

一七 七六四 三月八日 一三二 在浦潮菊池政務部長ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

日本軍撤退問題ニ付極東共和国政府
ヨリ交渉開始方提議ノ件 七八三

一 一二 三月九日 一〇七 内田外務大臣ヨリ
在米国外務大臣宛(電報)

百分率ニ依ル移民制限法案ヲ前大統
領否認セリトノ新聞報ニ付問合ノ件 一〇

四 二三〇 三月九日 四二 在シアトル広田領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

華州排外土地法案ハ知事署名セルモ
発行時期後レタル件 二五三

四 二三一 三月九日 機一二 在シアトル広田領事ヨリ
内田外務大臣宛

華州排外土地法写送附ノ件 二五三

一三 四八九 三月九日 五三 在香港鈴木総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

皇太子殿下及閑院宮殿下ノ香港ニ於
ケル御行動予定ニ関スル珍田伯發電
報転電ノ件 五三一

二〇 九八二 三月九日 軍政送一
一 在浦潮菊池政務部長ヨリ
内田外務大臣宛

極東共和国大統領ヨリ米国新大統領
宛並憲法議會議長ヨリ米国上下両院
議長宛祝電ニ付報告ノ件 一〇四〇

五 二四一 三月十日 赤松外務省通商局第三課長ヨリ
日米移民問題ニ関スル英文質問書ニ
対スル回答案送付ノ件……………二六二

附屬書 右回答案……………二六二

附記 二月二十二日附浪沢事務所ヨリ赤松通商局第三課長宛書信……………二六五

七 二八五 三月十日 発一九七 露領漁区貸下入札ヲ日本政府ニ於テ
施行方請願ノ件……………三〇六

一三 四九〇 三月十日 五五 皇太子殿下香港ニ御安着総督トノ御
交驛等珍田伯ヨリ報告ノ件……………五三二

一八 七九七 三月十日 一三八 ヤクトスカヤ州カムチャツカ州ハ旁
農政府領域トスル協定成立セル旨コ……………八二二

一一 一〇一三 三月十日 公七 アレクサンドロフスクノ対岸ウドス
キー郡ノ状況ニ関シ報告ノ件……………一〇六六

二 一一三 三月十一日 一〇五 外国語学校取締法案ニ関スルパーカ
ー案下院通過ノ新聞報及グリバン案……………一四七

四 二二二 三月十一日 四三 華州排日土地法ノ知事ニ依ル否認方
ニ関シ國務次官ニ申入済及新國務長
官ト会談ノ件……………二五四

七 二八六 三月十一日 発二〇 露領水産組合員経営漁区ヲ露国人ガ
競落シタル場合ニ対スル對抗手段ニ……………三〇七

一三 四九一 三月十一日 三二一 皇太子殿下英国御出発ノ日取等問合
及英国側ノ殿下歓迎ノ予定表等報告……………五三二

一三 四九二 三月十一日 二〇 新嘉坡ニ於ケル皇太子殿下ノ御奉迎
振ニ関シ珍田伯ヨリ山崎総領事代理……………五三三

一 一一三 三月十二日 一二八 デイリンガムノ百分率ニ依ル移民制
限法案ハ前大統領ウイソンニ依リ……………一〇

二 一五二 三月十二日 一〇七 握潰サレタル件
外国人頭税ニ関スルボグス案州
会上院委員会通過ノ件……………一七五

一三 四九三 三月十二日 二一 新嘉坡ニ於ケル皇太子殿下御奉迎ニ
関シ珍田伯ヘ打合ノ件……………五三四

一六 七〇二 三月十二日 松平欧米局長
マゴマエフ大佐 会談
セミヨーノフ將軍ガマゴマエフ大佐
ヲシテ日本ノ援助ヲ要請セシメタル……………七二〇

一六 七〇三 三月十二日 三二三 歐洲各地避難露国人ノ反過激派団体
ノ運動ニ付報告ノ件……………七二一

一八 七九八 三月十二日 一四〇 通商及西比利亞撤兵問題ニ関スル交
渉開始方ニ付チタ政府外務次官ゴゼ
ウニコフヨリ重ネテ申出ノ件……………八二二

一一 一〇一四 三月十二日 一四四 チタ政府ノ薩哈噠州執政官派遣ハ我
占領軍ノ権力ト相容レザル旨外交委
員ニ申入済ノ件……………一〇六八

二 一一四 三月十三日 一〇八 日本学童隔離法案下院委員会通過ノ
件……………一四七

一三 四九四 三月十三日 六三 皇太子殿下香港御出発ノ件……………五三五

一三	四九五	三月十三日	六四	在香港鈴木總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	香港ニ於ケル皇太子殿下ノ御動静ヲ 珍田伯ヨリ報告ノ件……………五三五
一三	四九六	三月十四日	二二	在新嘉坡山崎總領事代理ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	新嘉坡ニ於ケル皇太子殿下奉迎ハ香 港ニ於ケル前例ニ準拠シ可然旨珍田 伯ヨリ山崎總領事代理ヘ電報ノ件……………五三六
一三	四九七	三月十四日	二三	在新嘉坡山崎總領事代理ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	皇太子殿下新嘉坡御滞在中ノ日程ヲ 珍田伯ヨリ山崎總領事代理ヘ通知ノ……………五三七
一三	四九八	三月十四日	二四	在新嘉坡山崎總領事代理ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	香港ニ於テ皇太子殿下御身辺ニ対ス ル危険ヲ慮リ取りタル措置ニ付珍田 伯ヨリ通報アリタル件……………五三八
一一	三九〇	三月十五日	八	在サンパウロ藤田總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	無補助移民ノ渡航許可ハ海興会社配 置表ノ耕地ニ労働スルヲ条件トセラ レ度旨並旅券面記載ヲ改メラレ度旨 稟申及請訓ノ件……………四五七
一三	四九九	三月十五日	一七二	内田外務大臣ヨリ 在英国林大使宛(電報)	皇太子殿下御渡英ハ日英同盟継続ニ 資セントスル計畫ナリトシ之ヲ阻止 スベシトノ在京中国留学生ノ行動通 報ノ件……………五三八
一三	五〇〇	三月十六日	六	在ポートサイド益子領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	皇太子殿下カイロ御立寄ノ際ノ英国 当局ノ奉迎準備状況ヲ珍田伯ヘ報告 ノ件……………五三九
二	一一五	三月十七日	一一一	在桑港矢田總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	外国語学校取締ニ関スルパーカー案 下院通過ノ件……………一四七
一三	五〇一	三月十八日	二九	在新嘉坡山崎總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	皇太子殿下御滞英中ノ御予定ニ付珍 田伯ヨリ林駐英大使ヘ電報ノ件……………五三九
一四	六五九	三月十八日	三七一	在英国林大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	英露通商協定ノ成立ニ関スルワイズ ノ談話ニ付報告ノ件……………六六〇
二	七〇	三月十九日	三六	在ロス・アンゼルス大山領事 ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	羅府方面ニ於ケル募金運動不成績ノ 件……………一二一
九	三七二	三月十九日	三八	在シドニー玉木總領事代理 ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	クウインズランド州ニ於テ糖業従事 ノ本邦人ニ対スル差別待遇取消方関 係官憲ニ依頼等ノ為フォクソールノ 出張許可方稟請ノ件……………四二三
一三	五〇二	三月十九日	三一	在新嘉坡山崎總領事代理ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	皇太子殿下新嘉坡總督御答訪ノ場所 ニ関シ珍田伯ヨリ山崎總領事代理ヘ……………五四〇
一三	五〇三	三月十九日	三二	在新嘉坡山崎總領事代理ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	皇太子殿下御滞英中ノ予定ニ関シ在 英国林大使ヨリ珍田伯ヘ電報ノ件……………五四〇
一三	五〇四	三月十九日	三五	在新嘉坡山崎總領事代理ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	皇太子殿下御滞英中五月十二日ヨリ 二十八日迄ノ予定案ニ付林大使ヨリ……………五四一
一三	五〇五	三月十九日	式部送 三七八	牧野宮内大臣ヨリ 内田外務大臣宛	珍田伯ヘ御意向問合ノ件……………五四一
一三	五〇六	三月十九日	三二	内田外務大臣ヨリ 在新嘉坡山崎總領事代理宛 (電報)	皇太子殿下御訪問ノ予定ニ関シ珍田 伯ヨリ皇太子殿下及閣院宮殿下ニ可 然言上アリ度件……………五四三
一四	六六〇	三月十九日	三八八	在英国林大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	英露通商協定ニ対スル在欧露西亞人 ノ態度ニ付報告ノ件……………六六一
一四	六六一	三月十九日	三八九	在英国林大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	英露通商協定調印ト同時ニ英国ハ英 国ノ印度統治ヲ願覆セントスル勞農 政府ノ行動ノ停止ヲ求ムル書翰ヲク ラッシンニ手交ノ件……………六六一

一三	五〇七	三月二十日	三六	在新嘉坡山崎総領事代理ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	コロンボニ於ケル皇太子殿下ノ御日 程ニ関シ珍田伯ヨリコロンボ滞在ノ 縫田領事ニ電報ノ件	五四三
一四	六六二	三月二十一日	公四〇	在英国林大使ヨリ 内田外務大臣宛	英露通商協定条文送付ノ件	六六二

附屬書 右条文

附記 英露通商協定和訳文

二	七一	三月二十二日	三九	在ロス・アンゼルス大山領事 ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	排日募金ノ不振ニ関スル排亜協會会 長ノ談話報告ノ件	一一一
---	----	--------	----	------------------------------------	------------------------------	-----

一一	三九一	三月二十二日	六	内田外務大臣ヨリ 在サンパウロ藤田総領事宛 (電報)	無補助移民ノ渡航許可条件ニ付回訓 ノ件	四五八
----	-----	--------	---	----------------------------------	------------------------	-----

一三	五〇八	三月二十二日	四三	在新嘉坡山崎総領事代理ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	新嘉坡ニ於ケル皇太子殿下ノ御動靜 報告及大臣ヨリ総督ニ謝意表彰アリ タキ旨珍田伯ヨリ電請ノ件	五四四
----	-----	--------	----	------------------------------	--	-----

一四	六六三	三月二十二日	四〇二	在英国林大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	英露通商協定調印ニ関スル英国ノ新 聞論調ニ付報告ノ件	六七九
----	-----	--------	-----	-------------------------	-------------------------------	-----

一四	六六四	三月二十二日	四二六	在仏国石井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	英露通商協定ニ関スル仏国ノ新聞論 調ニ付報告ノ件	六八〇
----	-----	--------	-----	--------------------------	-----------------------------	-----

一一	一〇一五	三月二十二日	公二〇	松村総領事(重港出張中)ヨリ 内田外務大臣宛	薩哈噠州派遣日本軍近ク尼港等ノ要 地附近ニ駐兵シ民政ヲ実施スル旨布 告ノ件	一〇六九
----	------	--------	-----	---------------------------	---	------

附屬書 三月二十一日附薩哈噠州派遣軍司令官布告

一〇六九

二	一一六	三月二十三日	一一一	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日本学童隔離法案ニ対シ加州知事等 ハ反対意見ナルニ付上院ニ於テ阻止 ノ望アル旨ノ情報報告ノ件	一四八
---	-----	--------	-----	---------------------------	--	-----

二	一三六	三月二十三日	四〇	在ロス・アンゼルス大山領事 ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ミツチエルノ排外漁獵法案ハ法制委 員会ニ於テ握潰ノコトトナリタル件	一六七
---	-----	--------	----	------------------------------------	--------------------------------------	-----

九	三七三	三月二十三日	二二	内田外務大臣ヨリ 在シドニー玉木総領事代理宛 (電報)	フォクソール出張許可ノ件	四二四
---	-----	--------	----	-----------------------------------	--------------	-----

一一	三九二	三月二十三日	九	在サンパウロ藤田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	無補助移民ノ渡航許可条件ニ関シ再 請訓ノ件	四五八
----	-----	--------	---	------------------------------	--------------------------	-----

一三	五〇九	三月二十三日	二六九	内田外務大臣ヨリ 在仏国石井大使宛(電報)	皇太子殿下六月月上旬巴里御訪問ニ付 仏国側ノ都合問合方訓令ノ件	五四五
----	-----	--------	-----	--------------------------	------------------------------------	-----

一三	五一〇	三月二十三日	四五	在新嘉坡山崎総領事代理ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	新嘉坡ニ於ケル皇太子殿下ノ御動靜 報告ノ件	五四五
----	-----	--------	----	------------------------------	--------------------------	-----

二	一一七	三月二十四日	公一四八	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛	修正サレタル日本学童隔離ニ関スル グリーン案原文写送附ノ件	一四八
---	-----	--------	------	-----------------------	----------------------------------	-----

附屬書 右原文写

二	一一八	三月二十四日	公一四九	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛	修正サレタル外国語学校取締ニ関ス ルパーカー案原文写送附ノ件	一五一
---	-----	--------	------	-----------------------	-----------------------------------	-----

附屬書 右原文写

二	一五三	三月二十四日	一二二	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ボッグス外国人入頭税法案ニ加ヘラ レタル修正条項ニ関シ報告ノ件	一七五
---	-----	--------	-----	---------------------------	------------------------------------	-----

七	二八七	三月二十四日	公六〇	在蒲潮菊池總領事ヨリ 内田外務大臣宛	労働政府勘察加代官任命説ニ関スル 件	三〇八
---	-----	--------	-----	-----------------------	-----------------------	-----

一三	五一一	三月二十四日	四四一	在仏国石井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	国際聯盟理事会ニ出席ノ為巴里不在 トナルニ付皇太子殿下仏国御到着ノ 時期変更願度旨珍田伯ヘ電報ノ件	五四五
----	-----	--------	-----	--------------------------	---	-----

一 一四 三月二十五日 通機送九 内田外務大臣ヨリ
在米國幣原大使宛(電報)

デイリンガムノ百分率ニ依ル移民制
限法案ト我邦トノ關係ニ付意見提示……一〇
方訓令ノ件

一四 六六五 三月二十五日 四〇九 在英國林大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

英露通商協定ノ締結ニ関シ下院ニ於
ケルロイド、ジョーシ首相ノ見解表……六八一
明等ニ付報告ノ件

一八 七九九 三月二十五日 一六六 在滿洲菊池政務部長ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

日本政府ノ公式代表ヲチタニ派遣サ
レ度旨コゼウニコフ外務次官ヨリ申……八二三
出ノ件

一二 一〇一六 三月二十五日 陸軍西密 三九
山梨陸軍次官ヨリ
壇原外務次官宛

薩哈連州占領地域内ニ於ケル鋳業既
得權ニ関シ照会ノ件……一〇七〇

一二 一〇一七 三月二十五日 機密軍政 三一
在滿洲菊池政務部長ヨリ
内田外務大臣宛

尼港ソフィスク方面ヘノ日本軍出動
ノ報道ニ関シ外務省ノ注意喚起方チ……一〇七〇
タ側ヨリ申出ノ件

加奈陀ノ対日感情悪化ニ対スル対応
策ニ対シ意見具申ノ件……三四九

八 三一五 三月二十六日 一五 在オタワ清水総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

一一 三九三 三月二十九日 七 内田外務大臣ヨリ
在サンパウロ藤田総領事宛
(電報)

無補助移民渡航許可条件ニ関シ再回
示ノ件……四五九

附記 大正九年五月二十八日在サンパウロ野田総領事代理宛内田
外務大臣宛電報第二一号……四五九

一三 五二二 三月二十九日 三 縫田領事(コロンボ出張中)
ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

皇太子殿下コロンボニ御安着ノ件……五四六

二 七二 三月三十日 一三〇 在桑港矢田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

ダンカン提出ノ一般の排外土地法案
ヲ州会上院委員會会否決ノ件……一二一

一三 五二二 三月三十日 五 在ボンベイ縫田領事(コロン
ボ出張中)ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

皇太子殿下御巡遊区域ヲ英仏二國ニ
局限セル理由ノ説明方ニ関シ珍田伯
ヨリ問合ノ件……五四六

二 一三七 三月三十一日 一三六 在桑港矢田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

インマンノ排日漁業法案州会上院提
出ノ事情ニ関スル新聞報ノ件……一六八

一一 三九四 三月三十一日 一〇 在サンパウロ藤田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

無補助移民ト雖ドモ其渡航許可ハ海
興会社ノ配置表ニ從ヒ就労スベキヲ……四五九
条件トスル必要性ニ付具申ノ件

一三 五一四 三月三十一日 六 在ボンベイ縫田領事(コロン
ボ出張中)ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

皇太子殿下コロンボヨリカンディニ
行啓ノ件……五四七

一三 五一五 三月三十一日 四七六 在仏國石井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

皇太子殿下仏國御訪問ノ時期ニ関ス
ル珍田伯ヨリノ電報転電ノ件……五四七

四 月

二 一三八 四月一日 四三 在ロス・アンゼルス大山領事
ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

インマンノ排日漁業法案公聴会ニ米
人罐詰会社側有力者出席ノ件……一六九

一三 五一六 四月一日 八 在ボンベイ縫田領事(コロ
ンボ出張中)ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

皇太子殿下ポートサイドニ向ハセラ
レタル件……五四八

八 三一六 四月二日 一六 在オタワ清水総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

週刊紙掲載ノ加州ト日本人ト題スル
論說ノ概要及其影響等ニ関シ報告ノ……三四九
件

一三	五一七	四月二日	一一	在ボンベイ縫田領事(コロンボ出張中)ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	コロンボニ於ケル皇太子殿下ノ御動 静ヲ珍田伯ヨリ報告ノ件	五四八
一三	五一八	四月二日	一五	在ボンベイ縫田領事(コロンボ出張中)ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	皇太子殿下御滞英中ノ予定ニ付英國 接伴員手配中ナル旨等在英大使ヨリ 珍田伯ニ電報ノ件	五四九
一一	一〇一八	四月二日	機密送 三九	植原外務次官ヨリ 山梨陸軍次官宛	薩哈噠州占領地域内鉱業既得權ニ関 シ異存ナキ旨回答ノ件	一〇七一
二	一一九	四月三日	一四〇	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	インマンノ排日漁業法案ニ対スル措 置ニ付報告並グリソンノ日本学童隔 離法案ニ関シ中央政府ヨリ加州知事 ノ注意ヲ喚起セシムル様幣原大使ニ 指示方意見具申ノ件	一五四
二	一二〇	四月三日	一四二	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日本学童隔離法案上院委員会通過並 本会議通過ノ見込等ニ付報告ノ件	一五五
一二	四一〇	四月四日	米公信 九九	在墨国伊藤臨時代理公使ヨリ 内田外務大臣宛	オブレゴン大統領墨国現政府ノ政策 ノ妥當公正ヲ説示スル為聲明書ヲ発 表ノ件	四八四
二	一二一	四月五日	三二	内田外務大臣ヨリ 在桑港矢田総領事宛(電報)	日本学童隔離法案事前阻止ノ為國務長 官ヨリ加州知事ニ内密申入レシムル 様取計方幣原大使ニ訓令ノ件	一五六
一三	五一九	四月五日	五一四	在仏国石井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	仏国政府ハ皇太子殿下ノ御來遊ヲ欣 幸トスル旨申越ノ件	五五〇
二	一三九	四月六日	一四五	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	インマンノ排日漁業法案上院委員会 通過ノ件	一六九
二	一四〇	四月六日	四五	在ロス・アンゼルス大山領事 内田外務大臣宛(電報)	インマン法案カ上院委員会ヲ通過ス ルニ至リタル経緯等ニ関シ報告ノ件	一六九
一三	五二〇	四月六日	秘一一	牧野宮内大臣ヨリ 内田外務大臣宛	皇太子殿下御訪問ノ範圍局限ノ事情 回答ノ件	五五〇
一三	五二一	四月六日	九	内田外務大臣ヨリ 在ポルトサイド益子領事宛 (電報)	皇太子殿下御訪問ノ範圍局限ノ事情 珍田伯ヘ電報ノ件	五五一
一三	五二二	四月六日	二二二	内田外務大臣ヨリ 在英國林大使宛(電報)	皇太子殿下御巡遊ノ範圍局限ノ理由 ニ付外部ヘノ説明方ニ付訓令ノ件	五五二
二	一二二	四月七日	一八九	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日本学童隔離法案ノ情勢並同法成立 ノ際ノ影響等ニ関シ米國政府ノ注意 ヲ促ス旨國務長官ニ申入ノ件	一五六
二	一四一	四月八日	一五一	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	インマンノ排日漁業法案上院通過 ノ件	一七〇
二	一四二	四月八日	一五四	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	インマンノ排日漁業法案上院通過ノ 模様報告ノ件	一七〇
八	三一七	四月八日	九	在ヴァンクーヴァー浮田領事 内田外務大臣宛(電報)	官有財産事業ニ東洋人使用禁止ノ B.C.州閣令確認法不認可方尽力ヲ 清水総領事ヘ稟請ノ件	三五〇
八	三一八	四月八日	公八九	在ヴァンクーヴァー浮田領 事ヨリ 内田外務大臣宛	官有財産上ノ事業ニ東洋人使用禁止 ノB.C.州閣令確認法送付ノ件	三五二
二	一四三	四月九日	四八	在ロス・アンゼルス大山領事 内田外務大臣宛(電報)	排日漁業法案ニ関シ確詰会社ハ適當 議員ヨリ再考動議提出方計画中ノ件	一七一
二	一〇一九	四月九日	公一三	松村総領事(重港出張中)ヨリ 内田外務大臣宛	アレクサンドロフスク対岸黒竜江流 域ノ事情報告ノ件	一〇七一

附屬書 同日附在晚香坡浮田領事ヨリ在オタワ清水総領事宛公信阿

往第二〇号写

……三五二

二	一四四	四月十日	五〇	在ロス・アンゼルス大山領事 内田外務大臣宛(電報)	排日漁獵法案ノ再考動議提出ニ関シ 関係者運動中ノ件	一七一
二	一四五	四月十二日	一五八	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	インマン排日漁獵法案ノ実施期日延 期修正ノ儘上院通過ノ件	一七二
二	一四六	四月十二日	五二	在ロス・アンゼルス大山領事 ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	排日漁獵法案上院通過ニ付羅府確詰 会社代表者ハ下院漁獵委員會ニ対シ 握潰方運動計畫中ノ件	一七二
七	二八八	四月十二日	発三一〇	小島露領水産組合組長ヨリ 田中通商局長宛	露領水産組合評議員会ニ於テ申合セ タル大正十年度露領出漁手続進達ノ 件	三〇九
八	三一九	四月十二日	二二	在オタワ清水総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	官有財産上ノ事業ニ東洋人使用禁止 ノB.C.州閣令確認法不認可方ニ付 領政府法相ト会谈要旨報告並抗議文 提出ニ関シ請訓ノ件	三三三
七	二八九	四月十三日	発三九〇	小島露領水産組合組長ヨリ 内田外務大臣宛	極東露領沿海漁業借区料ヲ漁獲高税 ニ変更方請願ノ件	三三一
一一	三九五	四月十三日	通三送 一八三二	田中通商局長ヨリ 兵庫縣知事宛	伯国サンパウロ州行無補助移民ノ旅 券面記入方ニ関シ依頼ノ件	四六〇
一八	八〇〇	四月十三日	機密 一一六	在中国小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛	日本軍ノ西比利亞撤退並平和的關係 及正式国交樹立ヲ求ムル極東共和国 憲法會議ヨリ日本政府宛覚書送 附ノ件	八二四

附屬書

四月十一日附在中国極東共和国使節团长ヨリ

小幡公使宛書翰写

八二四

右覚書写送附ノ件

二	一四七	四月十四日	一六三	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	インマンハ法案通過ニ努メ居ルニ付 在米日会ハ南加州漁業組合ト協議ノ 上新対案提出計畫中ノ件	一七三
一三	五二三	四月十四日	一一三	在伊国落合大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	皇太子殿下御外遊ノ節伊国ヘモ御立 寄アラセラレタキ旨意見具申ノ件	五五一
九	三七四	四月十五日	機密公七	在シドニー玉木総領事代理 ヨリ 内田外務大臣宛	フォクソール「ク」州首相ト交渉ノ 結果報告並糖業従事ノ本邦人ニ対ス ル差別待遇問題解決策ニ関シ意見具 申及請訓ノ件	四二四

附屬書

關係書類第一号乃至第五号

四二六

一三	五二四	四月十五日	一一	内田外務大臣ヨリ 在蘭国田付公使宛(電報)	在本邦蘭国公使ヨリ皇太子殿下同国 御訪問御取止メ無キ様申出アリタル ニ付蘭国外相トノ会谈ノ経過回電方 訓令ノ件	五五三
----	-----	-------	----	--------------------------	--	-----

一一	一〇二〇	四月十五日	公一五	松村総領事(亜港出張中)ヨリ 内田外務大臣宛	アムグン河流域事情ニ関シ報告ノ件	一〇七二
----	------	-------	-----	---------------------------	------------------	------

附屬書

アムグン流域略図

一〇七三

二	一四八	四月十六日	一六六	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	下院漁獵委員會ハ秘密投票ニ於テイ ンマン法案握潰ニ決シタル件	一七三
一三	五二五	四月十七日	二九	在蘭国田付公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	皇太子殿下蘭国御訪問ニ関シ同国外 務大臣ニ内話ノ経過回電ノ件	五五三
一〇	三七八	四月十八日		大野東洋汽船静洋丸船長ヨリ 田中通商局長宛	静洋丸搭乗南米行移民ノ航海中ノ取 扱及途中逃亡ニ関シ報告ノ件	四四二

一三	五二六	四月十八日	在ポルトサイド益子領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	皇太子殿下埃及御安着ノ件……………	五五四
一三	五二七	四月十八日	在英国林大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	タイムズ紙上ノ日本関係記事及日本 皇儲ヲ歓迎スト述ベタル社説等報告 ノ件……………	五五四
二〇	九八三	四月十八日	在本邦米國臨時代理大使(會談) 埴原外務次官	在本邦米國大使館員ヲ極東共和国ノ 情況視察ノ為派遣ニ関スル件……………	一〇四一
七	二九〇	四月十九日	在浦潮菊池總領事ヨリ 内田外務大臣宛	露國人ノ海獸獵獲許可ニ関スル件……………	三二四
八	三二〇	四月十九日	附屬書 四月十五日発行浦潮新聞記事訳文 内田外務大臣ヨリ	……………	三二五
八	三二〇	四月十九日	在オタワ清水總領事宛(電報)	東洋人使用禁止ノB.C.州閣令確認 法ニ対スル抗議提出ニ関シ回訓ノ件……………	三五四
八	三二一	四月十九日	在ヴァンクーヴァー浮田領事 ヨリ 内田外務大臣宛	官有財産上ノ事業ニ東洋人使用禁止 ノB.C.州閣令確認法ニ対スル措置 ニ付報告ノ件……………	三五四
			附屬書 同日附在晚香坡浮田領事ヨリ在オタワ清水總領事宛公信阿 往二一号写……………	……………	三五四
一	一五	四月二十日	在桑港矢田總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	西部ネイティヴ、サンスノ定期總會 ニ於テ日本移民絶対排斥ヲ決議シタ ル件……………	一二
二	一四九	四月二十日	在桑港矢田總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	排日漁獵法案ヲ本會議ニ引出サント スル決議案否決セラレタル件……………	一七四
一三	五二九	四月二十日	在白人武者小路臨時代理公使 ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	白国外務大臣ヨリ皇太子殿下御来白 ヲ切望スル旨申出アリタル件……………	五五六

別 電 同日在白人武者小路臨時代理公使宛内田外務大臣宛電報第

一〇三号

白国皇室及国民皇太子殿下ノ御来白ヲ切望シ居ル旨具申ノ
件……………五五六

一 一六 四月二十一日 二二四 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 百分率ニ依ル移民制限法案ハ下院委
員会ノ修正ヲ經全院委員会ニ附託ノ
旨及要点報告ノ件……………一二

附 記 四月二十二日幣原大使宛内田外務大臣宛電報第二二六号……………一三

一 一七 四月二十一日 一七七 在桑港矢田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 西部十一州代表ノ中央議會議員會議
ニ関スル新聞報告ノ件……………一三

四 二二三 四月二十一日 二二五 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 華州選出ジョンソンハ憲法条項ノ修正
案ヲ上院ニ提出シ委員會ニ附託セラ
レタル件……………二五五

一三 五三〇 四月二十一日 二九 在ポルトサイド益子領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 皇太子殿下カイロ御巡遊ノ次第ヲ珍
田伯ヨリ詳報ノ件……………五五七

一三 五三一 四月二十一日 三一 在ポルトサイド益子領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 皇太子殿下埃及サルタント会見ノ模
様ニ関シ珍田伯ヨリ報告ノ件……………五五八

一 一八 四月二十三日 一四七 在紐育熊崎總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 西部十一州選出議員排日同盟ノ運動
ニ関スルウオールド及タイムス各紙
社説要領報告ノ件……………一四

一 一九 四月二十三日 一八 在桑港矢田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) マクラッチーノ下院移民委員會ニ於
ケル排日演説内容報告ノ件……………一五

一 二〇 四月二十四日 一八二 在桑港矢田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 西部十一州ノ選出議員ヨリ成ル日本
人問題解決ノ為ノ団体成立シタル件……………一五

一	二二	四月二十五日	一七一	内田外務大臣ヨリ 在米國幣原大使宛(電報)	移民ノ百分率ニ依ル入國制限法案送 附方ノ件	一六
八	三三二	四月二十五日	一三	在ヴァンクーヴァー浮田領事 ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	官有財産上ノ事業ニ東洋人使用禁止 ノB.C.州閣令確認法ニ関シ首相ニ 質問ノ件	三五五
一	二二	四月二十六日	公一五八	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛	移民ニ関スル法案一括送附ノ件	一六

附屬書 一 下院法案

二 上院法案

一	二三	四月二十六日	二三七	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	百分率ニ依ル入國移民制限法案ニ対 シ我方ノ執ルヘキ態度ニ関シ意見提 示ノ件	七四
一三	五三二	四月二十六日		内田外務大臣ヨリ 吉田書記官(在シブラルタル帝 國名譽領事館氣付)宛(電報)	皇太子殿下御訪問ニ関スル在蘭國田 付公使來電要領珍田伯へ通報ノ件	五五九
一三	五三三	四月二十六日	二八	珍田供奉長(マルタ滞在中) ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	マルタ御滞在中ノ皇太子殿下御動靜 ニ関スル件	五五九
二	一一三	四月二十七日	一八五	在桑港矢田總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日本學童隔離法案上院通過ノ件	一五七
四	二三四	四月二十七日	七五	在シアトル佐藤領事代理ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	華州連絡日会及米化委員會ハ華州排 外土地法ノ一時的停止ヲ要求スル訴 訟提起ノ件	二五五
一〇	三七九	四月二十七日	二二	在里馬森領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日本人排斥日貨非買同盟鼓吹ノ印刷 物ニ付智利國政府ニ取締方依頼報告 ノ件	四四三

一一	三九六	四月二十七日	普通三 普通二一	内田外務大臣ヨリ 在サンパウロ藤田總領事宛	伯國サンパウロ州行無補助夫婦移民 渡航問題ニ関シ指示ノ件	四六一
一三	五三四	四月二十七日	二九	珍田供奉長(マルタ滞在中) ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	皇太子殿下マルタ御出発ノ際ノ模様 報告ノ件	五六〇
一三	五三五	四月二十七日	秘一七	牧野宮内大臣ヨリ 内田外務大臣宛	皇太子殿下御旅程變更相成難キ旨回 答ノ件	五六一
二〇	九八四	四月二十七日	二三七	在蒲潮菊池政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	チタ議會ヨリ英仏兩國政府宛同文通 牒ヲ以テ日本軍ノ西比利亞駐兵継続 ニ関シ質問ノ件	一〇四二
一	二四	四月二十八日	一八〇	内田外務大臣ヨリ 在米國幣原大使宛(電報)	新移民法案ニ対シ申越通措置セラレ 差支無キ旨回訓ノ件	七五
二	一二四	四月二十八日	一八七	在桑港矢田總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	外國語學校取締ニ関スルバーカー案 上院通過ノ件	一五七
二	一二五	四月二十八日	一八九	在桑港矢田總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	公立學校ニ関スル規定ノメーサー修 正案ニ対シ上院ハ日本學童隔離ニ関 スル規定ヲ附加シタル件	一五七
二	一二六	四月二十八日	公一九一	在桑港矢田總領事ヨリ 内田外務大臣宛	日本學童隔離ニ関スル規定ヲ附加セ ラレタルメーサーノ公立學校案原文 写送附ノ件	一五八

附屬書 右法案原文写

一二	四一一	四月二十八日	三六	在墨國伊藤臨時代理公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	カランサ党首謀ムルギア及アギラー ル兩中將外三名米國逃亡ノ報道報告	四八四
一三	五三六	四月二十八日	六一	内田外務大臣ヨリ 在米國武蔵小路臨時代理公使 宛(電報)	皇太子殿下ノ御旅程變更相成難キ旨 先方へ応酬方訓令ノ件	五六一

一	二五	四 月二十九日	公一六一	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛	百分率ニ依ル入国移民制限法案送附ノ件	七五
一	二六	四 月三十日	一八八	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	西部十一州排日議員団ノ会合ノ模様報告ノ件	七六
八	三二三	四 月三十日	公一二九	在ヴァンクーヴァー佐藤領事館事務代理ヨリ 内田外務大臣宛	代議士ステイヴンスノ東洋人排斥演説ニ対スル新聞報道ニ関シ報告ノ件	三五五

附屬書

同日附在晚香坡佐藤領事館事務代理ヨリ在オタワ清水総領事宛公信阿往第二六号亨	三五六
---------------------------------------	-----

一三	五三七	四 月三十日	一二五	在白國武者小路臨時代理公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	皇太子殿下ノ御旅程ニ関シ白國側ヘノ応酬振請訓ノ件	五六一
----	-----	--------	-----	--------------------------------	--------------------------	-----

五 月

一	二七	五 月二日	一九二	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	フィランノ或俱樂部ニ於ケル排日演説中注目スベキ諸点報告ノ件	七七
一〇	三八〇	五 月二日	一六	内田外務大臣ヨリ 在里馬森領事宛(電報)	排日宣伝家ムロナル者ニ付精探方訓令ノ件	四四四
一四	六六六	五 月二日	公二一一	在仏國石井大使ヨリ 内田外務大臣宛	露國過激派政府ノ将来ノ運命ニ関スル上田書記官ノ報告送付ノ件	六八二
一	二八	五 月三日	二五四	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	百分率ニ依ル入国移民制限法案中入国優先權ノ規定ニ加ヘラレタル修正ニ対スル我態度ニ付意見提示及右承認方ノ件	七七
二	七三	五 月三日	六二	在ロス・アンゼルス大山領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	羅府排日運動費寄附成績ニ関スル情報報告ノ件	一二二
七	二九一	五 月三日	發四〇〇	小島露領水産組合組長ヨリ 田中通商局長宛	露領漁区ニ航海スル船舶ニ出漁証明書ヲ備付方請願ノ件	三一五

附屬書

露領出漁証明書ノ雛形	三一六
------------	-----

一三	五三八	五 月三日	三一	珍田供奉長(ジブラルタル滯在中)ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ジブラルタル御滯在中ノ皇太子殿下御動靜ニ関スル件	五六二
一三	五三九	五 月三日	五四七	在英國林大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	白國ノ要望ニモ鑑ミ皇太子殿下ノ御旅程變更ヲ考量方稟申ノ件	五六二
七	二九二	五 月四日	通一機 四六	田中外務省通商局長 村上農商務省水産局長 松本大藏省主税局長宛	日露漁業協約ニ基ク露領沿海漁業ニ對スル日本政府ノ方針ニ関スル件	三一六
一三	五四〇	五 月五日	五六二	在英國林大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	皇太子殿下ノ御渡英等ニ言及セルノイスクリフ卿ノ演説内容報告ノ件	五六三
一一	一〇二一	五 月五日	機密四	松村総領事(亜港出張中)ヨリ 内田外務大臣宛	アレクサンドロフスク對岸地区ノ駐兵及施政区域ニ関シ委細垂示方稟請ノ件	一〇七四
一	二九	五 月六日	二五七	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	上院ハデイリソングム提出法案ヲ下院通過案ノ代リトシテ採用シ之ヲ兩院協議會ノ議ニ付スルコトトシタル件	七八
一	三〇	五 月六日	一九七	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	西部諸州排日派ノ実行委員氏名発表ノ旨連合通信報道ノ件	七九
二	一二七	五 月六日	一九六	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日本學童隔離規定ヲ含ムメーサー法案下院通過ノ件	一六三

八	三二四	五月六日	機公六	在オタワ清水総領事ヨリ
一〇	三八一	五月六日	公六三	在里馬森領事ヨリ

官有財産上ノ事業ニ東洋人使用禁止
ノB.C.州閣令確認法不認可方ニ関
シ領政府ニ公文提出ノ件……………三五七
紀洋丸搭乗契約移民来着表進達ノ件……………四四四

附屬書 海外興業株式会社招股約移民到着表……………四四四

一四	六六七	五月六日	一三四	在瑞典国畑公使ヨリ
一	三一	五月七日	一九八	在桑港矢田総領事ヨリ
一三	五四一	五月七日	三二	珍田供奉長(ポーツマス滞在 中)ヨリ
一三	五四二	五月八日	一二二	在白人安達公使ヨリ
一	三二	五月九日	一九三	在米田幣原大使ヨリ
一三	五四三	五月九日	五七三	在英國林大使ヨリ
一	三三	五月十日	二〇一	在桑港矢田総領事ヨリ
一	三四	五月十日	二〇二	在桑港矢田総領事ヨリ

勞農政府ノ英米トノ通商及日本トノ
交渉開始希望等ニ関スルリトウイノ
フノ談話ヲ北田書記官ヨリ報告ノ件
……………六八六
排日運動諸州ハネブラスカ州参加シ
十三州トナリタル件……………七九
皇太子殿下白蘭伊三国ヲモ御訪問ノ
事ニ詮議相成度旨具申並請訓ノ件……………五六三
白国当局ノ要望ニ鑑ミ皇太子殿下ノ
御立寄取計方稟請ノ件……………五六五
入国移民制限法案中入国優先權ノ規
定ニ加ヘラレタル条項ノ(3) eagle
to citizenship ノ三語ヲ削除セシム
ル様努力方回訓ノ件……………七九
皇太子殿下ニ対スル英國ノ政府招宴
辞退ヲ申入レタル件……………五六五
西部諸州兩院議員連合排日委員會委
員長ガ右委員會ノ目的ニ関スル公開
文発表ノ件……………八〇
加州ノ排日ヲ論難セルメーソン州知事
ノ書面ニ対スル加州知事ノ返書ノ要
点報告ノ件……………八〇

一三	五四四	五月十日	五七八	在英國林大使ヨリ
一三	五四五	五月十日	五八二	在英國林大使ヨリ
一三	五四六	五月十日	五八四	在英國林大使ヨリ
一	三五	五月十一日	二〇四	在桑港矢田総領事ヨリ
一三	五四七	五月十一日	五八五	在英國林大使ヨリ
七	二九三	五月十二日	通一合 七六五	田中通商局長ヨリ 村上農商務省水産局長 小島露領水産組合組長各宛

皇太子殿下ノ御来遊ヲ歡迎スル英國
各紙論說大要報告ノ件……………五六六
皇太子殿下白伊蘭三国ヲモ御訪問ノ
事ニ御詮議相成度旨珍田伯ノ意向ヲ
宮内大臣ニ伝達方ノ件……………五六七
皇太子殿下倫敦御安着ノ件……………五六八
アルカンサス、ジョージヤ、インデ
イアナ三州知事ハ西部諸州排日連合
委員會ニ参加ヲ申込メリトノ新聞報
報告ノ件……………八一
英國皇帝陛下ノ歡迎ノ辞ニ対スル皇
太子殿下ノ御答辭報告ノ件……………五六九
露国ツェントロ、ソユーズ及極東露
人事業ニ対スル浦潮新聞論評ニ関ス
ル件……………三一七

附屬書 右論評訳文……………三一七

一二	四一二	五月十二日	四二	在墨国伊藤臨時代理公使ヨリ
一二	四一三	五月十二日	六一〇	在英國林大使ヨリ
一三	五四八	五月十二日	五八七	在英國林大使ヨリ
一三	五四九	五月十二日	二九九	在英國林大使ヨリ

墨国政府承認問題ニ対スル米國ノ態
度ニ関スル情報等報告ノ件……………四八五
墨国政府承認問題ニ関シ英国外務次
官ノ下院ニ於ケル説明報告ノ件……………四八五
皇太子殿下ノ白国等ヘノ御立寄可然
旨詮議方稟請ノ件……………五七〇
御旅行ノ安全ヲ期待シ得バ皇太子殿
下白伊蘭三国御訪問ヲ実行シ可然旨
回訓ノ件……………五七〇

一三	五五〇	五月十二日	在英國林大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	皇太子殿下歡迎ノ辞ヲ掲ゲタル英紙 論說報告ノ件	五七一
一三	五五一	五月十二日	在英國林大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	英國側ノ歡迎ニ対スル皇太子殿下ノ 動靜報告ノ件	五七一
一	三二六	五月十三日	在桑港矢田總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ジョンソン氏ガ委員長タル西部諸州 連合排日委員會ノ真ノ目的ハ次期大 統領ヲ目指ス同氏ノ準備的行動ニ外 ナラズト一部米人觀察ノ件	八二
一三	五五二	五月十三日	在英國林大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	在英國白国大使ヨリ皇太子殿下ニ対 シ白国御立寄アリタキ旨言上ノ件	五七二
一三	五五三	五月十三日	在紐育熊崎總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	皇太子殿下英國御到着ノ状況ヲ報ゼ ル紐育ウォールド記事報告ノ件	五七三
一三	五五四	五月十三日	在英國林大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	皇太子殿下ウインザー宮御訪問英國 兩陛下バックingham宮殿ニ皇太子殿 下ヲ御來訪並外務大臣邸晚餐ノ件	五七三
一三	五五五	五月十三日	在英國林大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	皇太子殿下倫敦御到着ノ模様ヲ各新 聞報道及ウォールド紙記事ノ捏造ニ 関シ報告ノ件	五七四
一三	五五六	五月十三日	在英國林大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	皇太子殿下ノ御渡英ニ関連シ日英同 盟ニ言及セルデイリー、ヘラルド紙 論評報告ノ件	五七四
一三	五五七	五月十三日	在英國林大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	倫敦市会主催ノ皇太子殿下歡迎及英 国皇太子御招待ノ模様報告ノ件	五七五
一八	八〇一	五月十三日	閣議決定	極東共和国トノ非公式交渉ノ開始ニ 付我方ノ執ルベキ方針ニ関スル件	八三〇

一	三七	五月十四日	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	下院通過ノ入國移民制限法案中ニ eligible to citizenship ナル語句挿 入ノ理由質問ノ覚書ヲ國務省ニ交付 セル旨報告ノ件	八二
一三	五五八	五月十四日	在英國林大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	皇太子殿下絵画館英國議會等御見學 ノ件	五七六
一三	五五九	五月十四日	在英國林大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	皇太子殿下博物館英蘭銀行等御見學 殿下主催ノ大使館ニ於ケル英國皇太 子諸大官御招宴並林大使主催接見宴 ニ関シ報告ノ件	五七六
一三	五六〇	五月十四日	在瑞西國有吉公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	皇太子殿下ノ御來遊ニ関スル新聞紙 記事ニ付報告ノ件	五七七
一三	五六一	五月十四日	宮苑 牧野宮内大臣ヨリ 内田外務大臣宛	英國皇帝陛下ヨリ天皇陛下宛親電及 之ニ対スル御答電通報ノ件	五七八

附屬書一 五月十日英國皇帝陛下ヨリ天皇陛下宛親電ヲ

二 右ニ対スル御答電ヲ……………五七九

附記一 大正九年十二月二十二日内田外務大臣苑在桑港太田總領

事宛電報第一四〇号……………一〇〇

小沢婦化訴訟其後ノ成行問合ノ件

二 大正九年十二月二十三在桑港太田總領事苑内田外務大

臣宛電報第四七三号……………一〇〇

小沢訴訟事件ニ関スル件

一三	五六二	五月十五日	二七八	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	皇太子殿下ノ御渡英ニ関スル華府新聞紙ノ報道報告ノ件……………五八〇
一三	五六三	五月十五日	一七〇	在紐育熊崎總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	皇太子殿下御渡英ニ関スル紐育新聞社説要領報告ノ件……………五八一
一三	五六四	五月十五日	六一九	在英國林大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	オックスフォードニ於ケル皇太子殿下ノ御動靜報告ノ件……………五八一
七	二九四	五月十六日	藏 四八三三	松本大藏省主税局長ヨリ 田中通商局長宛	日露漁業協約ニ基ク露領沿海漁業ニ對スル日本政府ノ方針ヲ各税関ニ通達濟ノ旨回答ノ件……………三二〇
附屬書 大藏省主税局長ヨリ各税関長宛……………三二〇					
一三	五六五	五月十六日	公一八六	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛	皇太子殿下御渡英ニ関スル紐育ウォールド紙記事大要報告ノ件……………五八二
七	二九五	五月十七日		チエルカッスキー氏ヨリ 内田外務大臣宛	オホツク沿岸区域ニ於テ露國人チエルカッスキー氏租借ノ三漁区保護方ニ付陳情ノ件……………三二二
一三	五六六	五月十七日	六二〇	在英國林大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	皇太子殿下少年団ヲ御検閲ノ件……………五八二
一三	五六七	五月十七日	六二三	在英國林大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	在英國蘭國公使珍田伯ヲ來訪シテ皇太子殿下蘭國御訪問ノ儀ニ付懇談シタル件……………五八三
一三	五六八	五月十七日	六二五	在英國林大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	皇太子殿下白国御訪問決定ヲ在英國白国大使ニ通報シタル件……………五八四
一四	六六八	五月十七日	七三六	在仏国石井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	露国勞農政府ノ命運ニ関シ巴里在住露西亞人カ上田ニ内話シタル観測ニ付報告ノ件……………六八八

一八	八〇二	五月十七日	二七三	在浦潮菊池政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	チタ政府ハ日本軍駐屯ノ儘日本ト通商開始ノ交渉ヲ為シ難シトツエトリン談話ノ件……………八三一
二	一二八	五月十八日	二一六	在桑港矢田總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	加州州会上下兩院通過排日諸法案ニ對スル知事ノ態度ニ関シ報告ノ件……………一六三
一三	五六九	五月十八日	六三四	在英國林大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	皇太子殿下ケンリー飛行場及天文台等御見学ノ件……………五八四
一三	五七〇	五月十八日	六三五	在英國林大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	皇太子殿下ノ伊國御訪問ノ期日及巡路等ニ関スル件……………五八五
一三	五七一	五月十八日	六三六	在英國林大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	皇太子殿下ノ白蘭伊各國御訪問決定ニ付右各國皇室ノ都合問合方外務大臣ヨリ關係大使ニ訓令スル様珍田伯ヨリ宮相ニ依頼ノ件……………五八六
一三	五七二	五月十八日	六四一	在英國林大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	皇太子殿下英國陸軍ノ諸施設ヲ御見学並林大使主催晚餐會ニ関スル件……………五八六
二	七四	五月十九日	二二九	在桑港矢田總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	排日協會資金募集ノ成績不結果ニ終リタル件……………一二二
一三	五七三	五月十九日	六四五	在英國林大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	皇太子殿下ケンブリッヂ大学御見学ノ件……………五八六
一三	五七四	五月十九日		珍田供奉長ヨリ 牧野宮内大臣宛(電報)	皇太子殿下スコットランド地方ヘ御旅行ノ件……………五八七
一三	五七五	五月十九日	六四八	在英國林大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	英國上下ノ皇太子殿下歓待振ニ對スル謝意表明ヲ本邦各紙ニ執筆方取計ハレ度旨稟申ノ件……………五八七
一五	六八三	五月十九日	一五〇	在瑞典國畑公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	芬蘭出張ノ際ノ勞農政府代表トノ接触ニ関シ請訓ノ件……………七〇一

七 二九六 五月二十日

在本邦露国大使館ヨリ
日本外務省宛

オホツク海沿岸ニ於ケル露国人チエ
ルカッスキーノ漁業権問題ニ関シ申
越ノ件……………三二五

一三 五七六 五月二十日

六五一

在英国外務大臣宛(電報)

皇太子殿下ノ白国御訪問ノ日取ニ関
スル件……………五八七

一八 八〇三 五月二十日 合一四五

内田外務大臣ヨリ
在浦潮菊池政務部長
在中国吉田臨時代理公使
在米田幣原大使
在仏国石井大使

極東共和国トノ非公式交渉等ノ諸問
題ニ関シ東方會議ニ提示セラレタル
政府ノ方針指示事項通報ノ件……………八三二

附記 極東共和国トノ交渉上ノ心得……………八三三

七 二九七 五月二十一日

六八六

村上農商務省水産局長ヨリ
田中通商局長宛

哺乳海獣ニ関スル疑義問合ノ件……………三二五

七 二九八 五月二十一日

通一普
五二五

田中通商局長ヨリ
露人ラウロフ宛

露国漁業者チエルカッスキーノ漁場
保護方願出ニ対シ回答ノ件……………三二六

一三 五七七 五月二十一日

人普通
二七

内田外務大臣ヨリ
在本邦白国公使宛

白国皇帝陛下ヨリ我皇太子殿下ノ同
国訪問方御招待ニ対シ回答ノ件……………五八八

一三 五七八 五月二十一日

三九

在蘭国田付公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

皇太子殿下ノ蘭国御訪問ニ関シ大至
急回訓方稟請ノ件……………五八八

一三 五七九 五月二十一日

一五五

在伊国落合大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

伊国皇帝ノ御都合等ニ関シ伊国外務
大臣ト面談ノ次第報告ノ件……………五八八

一三 五八〇 五月二十一日

人普通
二二

内田外務大臣ヨリ
在本邦伊国大使宛

皇太子殿下伊国御訪問ニ付伊国皇室
ノ御都合問合方在伊国大使ニ訓電セ
ル旨通報ノ件……………五八九

一三 五八一 五月二十一日

人普通
三七

内田外務大臣ヨリ
在本邦蘭国公使宛

皇太子殿下蘭国御訪問ノ儀ニ関シ通
報ノ件……………五八九

一三 五八二 五月二十二日

四〇

在蘭国田付公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

皇太子殿下蘭国御訪問ニ関スル政務
局長トノ會談要領報告ノ件……………五九〇

一三 五八三 五月二十三日

四一

在蘭国田付公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

皇太子殿下蘭国御訪問ノ予定等ニ関
シ外務大臣トノ談話要領報告ノ件……………五九〇

一 四五 五月二十五日

八七

在シアトル佐藤領事代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

華州大審院ハ山下訴訟ノ受理ヲ拒絶
シタル件……………一〇一

二 一五四 五月二十五日

二二七

在桑港矢田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

人頭税ニ関スルボグス法案ヲ知事
承認ノ件……………一七六

七 二九九 五月二十五日

日本外務省ヨリ
在本邦露国大使館宛

露国漁業者チエルカッスキーノ願出
ニ係ル漁業権問題ニ関シ回答ノ件……………三二六

一一 三九七 五月二十五日

通三
公三五

在リベロン、プレト早尾分館
主任ヨリ
内田外務大臣宛

大正八及九年伯国在留日本人ノ人口
動態調査報告書送付ノ件……………四六一

一二 四一四 五月二十五日

七二

在ロス・アンゼルス大山領事
ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

米國ハ墨国憲法改正ヲ条件トシテ同
國政府ヲ承認セントストノ新聞報道……………四八五

一三 五八四 五月二十五日

六七〇

在英国外務大臣ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

皇太子殿下ノ受ケラレタル欽待ニ対
シ日本政府ノ謝意ヲ英國政府ニ申入
レタル件……………五九二

一五 六八四 五月二十五日

五五

内田外務大臣ヨリ
在瑞典國畑公使(芬蘭出張中)
宛(電報)

芬蘭ニ於ケル勞農政府代表トノ接触
振ニ関シ回訓ノ件……………七〇一

一一 一〇二三 五月二十五日

薩參
二五七

薩哈噠州派遣軍參謀長ヨリ
陸軍次官宛(電報)

チタ政府ガ尼港附近及黒竜江右岸地
帯ニ統治権ヲ及ボサントスル計畫ニ……一〇七六

一二 四一五 五月二十六日

二二二

内田外務大臣ヨリ
在米國幣原大使宛(電報)

國務省ガ墨國內戰終熄ノ為ノ機関ノ
活動ヲ開始セル趣ノ報道ニ付真相查
報方訓令ノ件……………四八六

一三	五八五	五月二十六日	六八〇	在英国外務大臣宛(電報)	倫敦御帰着後ノ皇太子殿下ノ御動靜ニ関シ報告ノ件……………五九二
一三	五八六	五月二十六日	一五八	在伊国落合大使ヨリ	伊国皇帝陛下ハ皇太子殿下ノ御訪問ヲ快諾ノ旨外務大臣ヨリ通報越ノ件……………五九二
一五	六八五	五月二十六日	一四	在波蘭国川上公使ヨリ	勞農政府外務次官カラハン駐波蘭公使トシテ来任スベキ趣ニ付同人ヨリ会见ヲ求メ来レル場合ノ措置ニ関スル件……………七〇一
一六	七〇四	五月二十六日	一二〇	在浦潮菊池総領事ヨリ	浦潮ニ於テ民兵ノ一部及カッペリ軍ガ諸官衙占領並現政庁ノ惡政除去ヲ宣言ノ件……………七二三
一六	七〇五	五月二十六日	一二三	在浦潮菊池總領事ヨリ	カッペリ軍ハ浦潮政權ヲ非社会党會議ニ讓渡シ同會議ハ臨時治黑竜政府ヲ樹立ノ件……………七二三
一六	七〇六	五月二十六日	一二一	在浦潮菊池總領事ヨリ	極東非社会党會議会頭メルクロフ浦潮ノ秩序恢復ノ為領事団ノ援助ヲ要請ノ件……………七二四
一二	四一六	五月二十七日	二九八	在米国外務大臣宛(電報)	米國ノ對墨兵器輸出禁止並オブレゴニ政府承認ノ見込ニ付米國國務次官ニ問質ノ件……………四八六
一二	四一七	五月二十七日	七五	在ロス・アンゼルス大山領事ヨリ	墨國政府承認ノ条件ニ關スル米國覽書ハ五月二十八日墨國政府ニ提出セラルベシトノ新聞報道ノ件……………四八七
一七	七六五	五月二十七日	二九九	在米国外務大臣宛(電報)	東支鐵道ノ占領ヲ図ル日本軍ノ策動ニ關スル報道ニ付米國國務長官非公式ニ我方ノ注意ヲ求メタルニ依リ請訓ノ件……………七八三

一二	一〇二四	五月二十八日	二〇	薩哈連州派遣軍參謀長ヨリ	我軍ノマリンスク尼港等占領ニ関シ松村總領事ヨリ報告ノ件……………一〇七六
一	三八	五月二十九日	三〇三	在米国外務大臣宛(電報)	上下兩院通過ノ入國移民制限法案ハ六月三日ヨリ実施ノ件……………八三

附記 百分率ニ依ル合衆國入國移民制限法ノ成立経緯及同法大要……………八三

一二	四一八	五月二十九日	四六	在墨國伊薩臨時代理公使ヨリ	米國代理大使墨國大統領ト非公式ニ会见シ墨國政府承認条件ヲ交付セル件……………四八八
一三	五八七	五月二十九日	六八一	在英国外務大臣宛(電報)	皇太子殿下英國皇室官民及在留官民ノ御見送ヲ受ケ英國ヲ御出發ノ件……………五九三
一一	三九八	五月三十日	通機密三	在伯國堀口公使ヨリ	外國人漁業禁止法勵行下ニ於ケル日本人漁業者ノ情態ニ関シ報告ノ件……………四六六
一三	五八八	五月三十日	六八三	在英国外務大臣宛(電報)	皇太子殿下御健壯ニテ英國御訪問終了ニ付可然執奏方稟請ノ件……………五九三
一三	五八九	五月三十日	八二六	在英公使石井大使ヨリ	皇太子殿下英國御出發ノ際英國皇帝陛下等ヘノ御挨拶振珍田伯ヨリ報告ノ件……………五九四
一五	六八六	五月三十日	八	在波蘭国川上公使宛(電報)	勞農政府ノ駐波蘭公使カラハントノ会谈ニ関シ回訓ノ件……………七〇二
一三	五九〇	五月三十一日	四七	在蘭國田付公使ヨリ	蘭國皇室ニ於ケル皇太子殿下歡迎予定表ヲ蘭國側ヨリ送付越シタル件……………五九五
一三	五九一	五月三十一日	宮苑 二八四	牧野宮内大臣ヨリ 内田外務大臣宛	天皇皇后兩陛下ヨリ英國皇帝皇后兩陛下宛御礼電寫送付ノ件……………五九五

附屬書 五月二十七日天皇皇后兩陛下ヨリ英國皇帝皇后兩陛下宛御礼電寫……………五九六

一六	七〇七	五 月三十一日	三二〇	在蒲潮菊池政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	メルクロフ浦潮新政権ガ布告セル 命令等一括報告ノ件……………七二四
一六	七〇八	五 月三十一日	三二二	在蒲潮菊池政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	蒲潮前政権ノ財政部長ベルラツキ ガチタ政府ト日本トノ関係等ニ付避 難前ニ為シタル談話報告ノ件……………七二六
一一	一〇二五	五 月三十一日	二	薩哈噠州派遣軍參謀長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ハバロフスク州政府当局ランテ我軍 ノソフイスク方面占領ノ事情及意向 ヲ了解セシムル様取計方松村総領事 ヨリ稟請ノ件……………一〇七六
一一	一〇二六	五 月三十一日	薩參 二八一	薩哈噠州派遣軍參謀長ヨリ 參謀次長宛(電報)	マリンスク方面ノ情報等報告ノ件……………一〇七七

六 月

一二	四一九	六 月一日	三〇六	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	國務省ガ墨國內戰終熄ノ為ノ機關ノ 活動ヲ開始セリトノ合同通信ノ報道 ニ関シ回報ノ件……………四八八
一六	七〇九	六 月一日	三二四	在蒲潮菊池政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	蒲潮前政権ノ要人等ハルビン、ハバ ロフスクヘ避難ノ状況ニ付報告ノ件……………七二七
二	一五五	六 月二日	七六	在ロス・アンゼルス大山領事 ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	人頭税法ヲ日本人ニ適用スルヤ否ヤ ニ付州検事総長ニ問合セタル件……………一七六
二	一五六	六 月二日	二三〇	在桑港矢田總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ボッグス人頭税法ノ実施ニ依ル在留 邦人ヘノ影響ニ鑑ミ中央政府ノ注意 喚起方幣原大使ニ懇請セル件……………一七六

一三	五九二	六 月二日	八三五	在仏國石井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	仏國ニ於ケル皇太子殿下ノ公式御訪 問ノ模様報告ノ件……………五九七
一六	七一〇	六 月二日	二二三	内田外務大臣ヨリ 在米國幣原大使宛(電報)	我軍憲ガ露國反動分子ヲ援助ストノ 誤レル情報ニ付國務長官ノ誤解ヲ解 ク様回訓ノ件……………七二七
別 電				同日在仏國石井大使宛電報第八三六号	……………五九八
別 電				同日内田外務大臣發幣原大使宛電報第二二四号	……………七二八
右誤レル情報ニ関スル件					

一一	一〇二七	六 月二日	薩參 二五七	陸軍次官ヨリ 薩哈噠州派遣軍參謀長宛(電 報)	尼港附近並黒竜江右岸地帯ニチタ政 府行政官等進入ニ関シ回訓ノ件……………一〇七八
二〇	三八二	六 月三日	三五	在巴奈馬浜口領事館事務代理 ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	安洋丸搭乗秘露行移民航海中パナマ 運河ニテ脳脊髄膜炎患者發生ニ付報 告ノ件……………四四六
一一	三九九	六 月三日	通三普合 八九一	田中通商局長ヨリ 北海通商局長官警視總監各府県 知事(東京府ヲ除ク)宛	伯國行無補助夫婦移民ノ渡航許可ハ 今後契約移民トシ海興会社ノ配置表 ノ耕地ニ就働スルヲ必須条件トスル 様通達ノ件……………四七〇

附 記	大正九年六月五日附田中通商局長ヨリ各地方長官(東京府 ヲ除ク)及警視總監宛通三合送第六六九号	……………四七〇
-----	---	----------

一六	七一一	六 月三日	合一六〇	内田外務大臣ヨリ 在米國大使在中國公使 在香港總領事(各宛) 領事(在ベトロバウロフスク) 領事	關東軍ハ今後セミヨノフヲ援助セ ザルコトニ決定セル旨通報ノ件……………七二八
----	-----	-------	------	--	---

一六	七二二	六月三日	三二九	在浦潮菊池政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	浦潮ニ到着スルセミヨーノフニ対ス ル我軍ノ措置決定ノ件……………七二九
一六	七二三	六月三日	三三二	在浦潮菊池政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	浦潮国民議會議員ノ新政権樹立計画 ニ対シメルクロフ国民議會議解散ヲ 命ジタル事情報告ノ件……………七二九
一六	七二四	六月三日	一三三	在浦潮菊池総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	セミヨーノフノ浦潮上陸差止方ニ関 スルメルクロフ政權ノ懇請ニ基キ……七三〇 開催セル領事団會議ノ模様報告ノ件

別電 一 同日菊池総領事発内田外務大臣宛電報第一三三三號

セミヨーノフノ浦潮上陸阻止方ニ関シメルクロフ政權……………七三二
ヨリ領事団ニ要請ノ件……………七三三

二 同日菊池総領事発内田外務大臣宛電報第一三五號

メルクロフ政權ノ要請ニ対スル領事団ノ決定及回答……………七三三

一二	一〇二八	六月三日	二三	薩哈噠州派遣軍參謀長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ハバロフスク州政府ミレエフガウド スキ地方ノ行政權拋棄ヲ肯ゼザル ニ付我方ハ強制手段ヲ執ルニ至ル虞 アル旨報告ノ件……………一〇七八
一二	一〇二九	六月三日	二四	薩哈噠州派遣軍參謀長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	第三戰隊ノ一部ニコライエフスクニ 到着ノ件……………一〇七九
一二	四二〇	六月四日	三七	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	墨國承認問題ニ関シ紐育トリビュ ン紙ノ質問ニ答ヘオブレゴン大統領 ノ發表セル声明大要報告ノ件……………四八九
一三	五九三	六月四日	八四一	在仏國石井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	巴里市主催皇太子殿下歡迎會ノ模様 報告ノ件……………五九九
一三	五九四	六月四日	八三九	在仏國石井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	巴里ニ於ケル皇太子殿下ノ御動靜報 告ノ件……………五九九

一二	一〇三〇	六月四日	三二二	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	尼港邦人虐殺ニ依ル我軍ノ薩哈噠州 要地占領ニ対シ米國政府抗議ノ件……………一〇七九
----	------	------	-----	--------------------------	--

別電 同日幣原大使発内田外務大臣宛電報第三一三三號……………一〇八一

二	一二九	六月五日	二三五	在桑港矢田總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	グリーンノ日本学童隔離案及パーカ ーノ外國語學校取締案知事承認ノ件……………一六四
一	三九	六月六日	公二二五	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	百分率ニ依ル合衆國入國移民制限法 正文送附ノ件……………八六

附屬書 右入國移民制限法正文……………八七

八	三二五	六月六日	五〇	在オタワ清水総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	加奈陀議會閉會及首相渡英ノ件……………三五八
一三	五九五	六月六日	八五〇	在仏國石井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	皇太子殿下砲兵學校等ヲ御見學ノ件……………六〇〇
一六	七一五	六月六日	合一六二	在米國幣原大使ヨリ 在奉天吉原總領事代理(電報)	浦潮領事団ガセミヨーノフノ浦潮上 陸阻止ノ決議ヲ為セル旨通報ノ件……………七三四
一六	七一六	六月六日	合一六三	在米國幣原大使ヨリ 在奉天吉原總領事代理(電報)	六月四日浦潮入港ノセミヨーノフニ 對シ沿海州進入ヲ不可トスル旨日本 軍司令部ヨリ通告ノ件……………七三四

別電 同日内田外務大臣発在米國幣原大使及在奉天吉原總領事代

理宛電報合第一六四號……………七三四

右通告

八	三二六	六月七日	公一七九	在ヴァンクローヴァー佐藤領事 館事務代理ヨリ 内田外務大臣宛	ワシントン大学ゴウエン教授ノ日米 關係ニ関スル演說概要報告ノ件……………三五八
---	-----	------	------	--------------------------------------	--

八 三二七 六月七日 一七 在ヴァンクーヴァー佐藤領事館事務代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 諸団体ノ東洋人排斥情況ニ関シ報告……三五九ノ件

八 三二八 六月七日 一八 在ヴァンクーヴァー佐藤領事館事務代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 倫敦首相會議參列ノ領首相ト同道セル領農相ノ使命ニ関スル件……三五九

一二 四二一 六月七日 米公信 二〇〇 在墨国伊藤臨時代理公使ヨリ
内田外務大臣宛 墨国ニ於ケル叛徒ノ近状報告ノ件……四八九

一三 五九六 六月七日 一九一 在紐育熊崎總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 皇太子殿下伭国御訪問ニ関スル紐育ヘラルド紙記事大要報告ノ件……六〇〇

一六 七二七 六月七日 三三七 在浦潮菊池政務部長ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 沿海州自治庁長ガ部員ニ対シ為シタル浦潮チタノ政情ニ関スル内話報告ノ件……七三五

一八 八〇四 六月七日 在中國極東共和国使節団長代理ヨリ
中国小幡公使宛 極東共和国外相ヨリ日本国民人民及政府宛公文ヲ日本政府ニ傳達方在中國同国使節団長代理ヨリ依頼越ノ件……八三五

附屬書 六月二日附右公文写

極東共和国及日本国間友好關係樹立ニ関シ日本政府ノ意向……八三五

問質ノ件

一二 一〇三一 六月七日 官房機密 九〇三 加藤海軍大臣ヨリ
内田外務大臣宛 海軍艦艇尼港進出ニ付通報ノ件……一〇八七

一二 四二二 六月八日 三二三 在米国幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 米国政府ハ対墨關係ノ基礎トシテ墨国ニ於ケル米人財産保護ノ為通商條約ノ締結ヲ墨国ニ要求セル旨國務省公表ノ件……四九〇

一二 四二三 六月八日 四八 在墨国伊藤臨時代理公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 墨国政府承認条件ニ関スル米国政府覚書ニ対スル墨国政府ノ態度ニ関スル件……四九一

一六 七二八 六月八日 補參謀 四〇九 浦潮派遣軍參謀長ヨリ
陸軍次官宛(電報) 浦潮政界ガセミヨノフ等ノ政權爭奪ニ依リ混沌タル狀勢ナル旨報告ノ件……七三五

一八 八〇五 六月八日 四三〇 在中國吉田臨時代理公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 在北京極東共和国使節団員來館シテ六月二日附同国外相ヨリ日本政府宛公文ヲ提出及東京ニ電報方依頼ノ件……八四二

二 一三〇 六月九日 二三九 在桑港矢田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) インマンノ排日宣伝費支出案及メーサーノ日本学童隔離案知事承認ノ件……一六四

二 一五七 六月九日 七八 在ロス・アンゼルス大山領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 南加中央日会ハ人頭税ニ関シ國務長官宛書面ヲ以テ日本人ノ條約上ノ權利保護方ヲ請願セル件……一七七

四 二三五 六月九日 九〇 在シアトル佐藤領事代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 華州ニ於ケル日本人ハ親日白人ヲ以テ会社ヲ組織セシメ土地ヲ使用管理セントストノ排日紙記事報告ノ件……二五五

一二 四二四 六月九日 五〇 在墨国伊藤臨時代理公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 憲法ニ抵触スル條約ヲ米墨間ニ結ブ能ハズト墨国外務省発表ノ件……四九一

一三 五九七 六月九日 八六四 在仏国石井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 皇太子殿下ヴェルサイユ宮殿等御見學ノ件……六〇一

一六 七一九 六月九日 七一九 在英國林大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 日本軍援助ノ下ニ反過激派政府樹立セラレタリトノ新聞報道ニ関シ對露干涉反對国民委員會ヨリ会見申込ノ件……七三六

一八 八〇六 六月九日 三四〇 在浦潮菊池政務部長ヨリ
内田外務大臣宛(電報) コゼウニコフトノ談合ノ為島田副領事ヲハルビンニ派遣ノ件……八四三

一三	五九八	六月十日	八七六	在仏国石井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ジョッフ元帥ヲ首脳トスル軍事使 節ヲ日本ニ送ル意向アル旨ブリアン 首相表明ノ件	六〇二
一三	五九九	六月十日	八七九	在仏国石井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	皇太子殿下白国ニ向ハセラレタル件	六〇二
一五	六八七	六月十日	二二	在波蘭国川上公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	對露政策ニ関スル波蘭有力者ノ意見 ニ付報告ノ件	七〇二
一六	七二〇	六月十日	二八	在土国内田公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	在君府露国避難民ヲセシヨリノフ軍 ニ参加セシメントスルウランゲル将 軍ノ申出ニ付請訓ノ件	七三七
二	一五八	六月十一日	八〇	在ロス・アンゼルス大山領事 ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	南加中央日会ハ訴訟委員ヲ設ケ人頭 税法ノ差止命令請求ノ訴ヲ起スコト ヲ議決ノ件	一七七
一三	六〇〇	六月十一日	一五〇	在白人安達大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	皇太子殿下武府御安着白人皇帝陛下 御出迎宮中正式晩餐宴ノ件	六〇三
一四	六六九	六月十一日	一五二	在独国日置大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	伯林ニ於テ英独実業家外国貿易人民 委員クラッシント對露通商ニ付協議 ノ件	六八九
一六	七二一	六月十一日	七二二	在英國林大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	英國労働者ノ態度ニ鑑ミ浦潮政変ニ 對スル日本政府ノ態度声明ノ必要ニ 付稟申ノ件	七三八
一六	七二二	六月十一日	七二四	在英國林大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	反革命派ノ浦潮政変ニ関シチチエリ リタル同文通牒ニ付報告ノ件	七三八
一三	六〇一	六月十二日	一五一	在白人安達大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	大使館昇格ニ付白人皇帝陛下ニ拝謁 ノ件	六〇三
一	四〇	六月十三日	二四一	在桑港矢田總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	在郷軍人加州大会ニ於ケル排日決議 ニ付報告ノ件	九二

一六	七二三	六月十三日	三四三	在浦潮菊池政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	マルクローフ政權樹立後ノ浦潮方面 ノ政情ニ付報告ノ件	七四〇
一	四一	六月十四日	二四二	在桑港矢田總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	西部諸州選出下院議員ノ排日声明ニ 関スルU.S通信報告ノ件	九二
四	二三六	六月十四日	九一	在シアトル佐藤領事代理ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	華州連絡日本人会ハ土地法試訴ヲ提 起セル件	二五六
一三	六〇二	六月十四日	三〇四	牧野宮内大臣ヨリ 内田外務大臣宛	英國皇帝陛下ヨリ天皇陛下宛御答電 写送付ノ件	六〇四

附屬書 五月二十九日英國皇帝陛下ヨリ天皇陛下宛御答電写

一三	六〇三	六月十四日	三〇三	牧野宮内大臣ヨリ 内田外務大臣宛	天皇陛下ヨリ仏国大統領閣下宛御礼 電写送付ノ件	六〇五
----	-----	-------	-----	---------------------	----------------------------	-----

附屬書 右御礼電写

一六	七二四	六月十四日	一四	内田外務大臣ヨリ 在土国内田公使宛(電報)	ウランゲル將軍ノ露国避難民極東輸 送企圖ニ賛同シ難キ旨回訓ノ件	七四一
二	七五	六月十五日	二四四	在桑港矢田總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	デンバー市ニ開催ノ米國労働連盟大 会総会ニ提出ノ排日決議案ニ関シ報 告ノ件	一二二
三	二一〇	六月十五日	二四一	内田外務大臣ヨリ 在米國幣原大使宛(電報)	日米兩國間協定案ノ成行ヲ國務長官 ニ説明シ同長官ノ意向聴取方訓令ノ 件	二三三
一	四二	六月十六日	公二六	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛	百分率ニ依ル合衆國入國移民制限法 施行規則送附ノ件	九二

附屬書 右入國移民制限法施行規則

一三 六〇四 六月十六日 三〇七 牧野宮内大臣ヨリ
内田外務大臣宛
白国皇帝陛下ヨリ天皇陛下宛及天皇陛下ヨリ白国皇帝陛下宛御親電写送……………六〇六
付ノ件

附屬書一 六月十一日白国皇帝陛下ヨリ天皇陛下宛御親電写……………六〇七

二 六月十四日天皇陛下ヨリ白国皇帝陛下宛御答電写……………六〇七

一三 六〇五 六月十六日 一五二 在白国安達大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
皇太子殿下蘭国へ向ヒ御出発ノ件……………六〇八

別 電 同日在白国安達大使宛内田外務大臣宛電報第一五三号……………六〇九

皇太子殿下白国御滞在中ノ御動靜報告ノ件……………

一三 六〇六 六月十六日 五五 在蘭国田付公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
皇太子殿下アムステルダムニ御安着……………六一一
ノ件

一六 七二五 六月十六日 三四九 在蒲潮菊池政務部長ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
沿海州ニ於ケル日本軍ノ内政干渉ニ
関シ極東共和国外相ユーリソフヨリ日
本外相宛抗議書ヲ島田受領ノ件……………七四二

二 一五九 六月十七日 二四六 在桑港矢田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
在米日会ハ人頭稅法ニ対スル無効訴
訟提起ニ決シタルニ付其費用外務省
ニ於テ支出詮議方稟請ノ件……………一七七

二 一六〇 六月十七日 二四八 在桑港矢田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
日本人ハ新人頭稅法ニ依ル登録ヲ拒
絶云々ノ桑港夕刊ブレチン紙記事ニ
対シ在米日本人会ヨリ正誤ヲ求メタ
ル件……………一七八

一三 六〇七 六月十七日 五六 在蘭国田付公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
蘭国ニ於ケル皇太子殿下歓迎会ノ模
樣報告ノ件……………六一一

一六 七二六 六月十七日 二四四 内田外務大臣ヨリ
在米国幣原大使宛(電報)
セミヨーフノ浦潮行ニ対スル日本
政府ノ態度ニ関シ事情説明方訓令ノ
件……………七四三

一六 七二七 六月十七日 合一機密
合二三四 内田外務大臣ヨリ
在蒲潮菊池政務部長
在中国吉田臨時代理公使
在ハルビン山内總領事
極東政変ニ関スル勞農政府ノ英仏伊
三国政府宛同文通牒ニ関スル件……………七四三

附屬書 右同文通牒ノ要領及英國政府ノ回答要領……………七四四

一三 六〇八 六月十八日 五七 在蘭国田付公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
皇太子殿下ハীগ及ロットテルダム御
見物ノ件……………六一二

一一 一〇三二 六月十八日 機密六 松村總領事(重港出張中)ヨリ
内田外務大臣宛
ウドスキー郡ノ新任郡長ニ対シ我軍
ハ占領地ニ於ケル同郡長ノ行政ヲ認
メザル旨説示ノ件……………一〇八七

二 七六 六月十九日 二五一 在桑港矢田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
米国労働連盟會議ニ提出ノ排日決議
案ハ各種排日団体ノ賛成ヲ得タル旨
新聞報道ノ件……………一二三

二 一六一 六月十九日 二五二 在桑港矢田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
人頭稅問題ニ関スルクロニクル紙社
説大要報告ノ件……………一七八

一六 七二八 六月十九日 三三五 在米国幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
北滿洲及西比利亞方面ニ於ケル日本
軍憲ノ行動ニ関シ米国政府接受ノ諸
報道ヲ國務長官ヨリ内示アリタル件……………七四五

別 電 同日幣原大使宛内田外務大臣宛電報第三三六号……………

右諸報道ニ関スル非公式覚書……………七四六

一二 四二五 六月二十日 三四二 在米国幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
英仏米ガ未ダ墨国政府ヲ承認セザル
ニ際シ日本ガ墨国ニ公使ヲ派遣スル
ハ日本ト列国トノ關係上懸念アル旨
稟申ノ件……………四九二

一三 六〇九 六月二十日 五九 在蘭国田付公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
蘭国ニ於ケル皇太子殿下ノ御動靜報
告ノ件……………六二二

一三 六一〇 六月二十日 一五四 在伯国安達大使ヨリ
振報告ノ件……………六二二

一八 八〇七 六月二十日 一一九 在ハルビン山内総領事ヨリ
ニ付島田副領事ニ問質ノ件……………八四四

二 一六二 六月二十一日 六三 在桑港矢田総領事宛（電報）
訴訟費用支出ニ異存ナキ旨並南加中
央及在米ノ両日会ガ重複提訴ノ場合……………一七九

二 一六三 六月二十一日 二五三 在桑港矢田総領事ヨリ
人頭税問題ニ対スル各国領事ノ態度……………一七九

二 四二六 六月二十一日 五七 在墨国伊藤臨時代理公使ヨリ
報告ノ件……………四九二

一三 六一一 六月二十一日 宮苑 三二二 在桑港矢田総領事宛（電報）
墨国政権ニ対スル各国ノ承認状態報告……………四九二

一三 六一二 六月二十一日 一五五 在伯国安達大使ヨリ
動静報告ノ件……………六二四

七 三〇〇 六月二十二日 通一 普八四 在伯国安達大使ヨリ
露国人ガ獵獲ヲ許可セラレタル哺乳
海獣ノ種類ニ付調査方訓令ノ件……………三二七

一四 六七〇 六月二十二日 七六四 在英國林大使ヨリ
英露通商協定ニ基ク両国ノ通商代表
決定ニ付報告ノ件……………六九〇

一 七七 六月二十三日 二五四 在桑港矢田総領事ヨリ
米國労働連盟會議ニ於テ排日決議案
採用ノ件……………一二三

一三 六一三 六月二十三日 九三八 在伯国松田臨時代理大使ヨリ
伯國ニ於ケル皇太子殿下ノ御動静報
告ノ件……………六一五

一四 六七一 六月二十三日 在瑞典国畑公使ヨリ
田書記官ヨリ報告ノ件……………六九一

一六 七二九 六月二十三日 一四六？ 一五〇 在蒲潮菊池總領事ヨリ
浦潮新政府外務部長ガ領事團ニ提出
セル同政府及セミヨールノフ間交渉経
過願末書報告ノ件……………七四八

一三 六一四 六月二十四日 宮苑 三二九 在牧野宮内大臣ヨリ
皇太子殿下ノ伯國及蘭國御訪問ニ付
天皇皇后兩陛下ヨリ伯國皇帝陛下宛
御礼電ニ對スル御答電寫並蘭國皇帝
陛下ヨリ天皇陛下宛御親電及之ニ對
スル天皇陛下ノ御礼電寫送付ノ件……………六一五

一三 六一四 六月二十四日 宮苑 三二九 在牧野宮内大臣ヨリ
皇太子殿下ノ伯國及蘭國御訪問ニ付
天皇皇后兩陛下ヨリ伯國皇帝陛下宛
御礼電ニ對スル御答電寫並蘭國皇帝
陛下ヨリ天皇陛下宛御親電及之ニ對
スル天皇陛下ノ御礼電寫送付ノ件……………六一五

一三 六一四 六月二十四日 宮苑 三二九 在牧野宮内大臣ヨリ
皇太子殿下ノ伯國及蘭國御訪問ニ付
天皇皇后兩陛下ヨリ伯國皇帝陛下宛
御礼電ニ對スル御答電寫並蘭國皇帝
陛下ヨリ天皇陛下宛御親電及之ニ對
スル天皇陛下ノ御礼電寫送付ノ件……………六一五

一三 六一四 六月二十四日 宮苑 三二九 在牧野宮内大臣ヨリ
皇太子殿下ノ伯國及蘭國御訪問ニ付
天皇皇后兩陛下ヨリ伯國皇帝陛下宛
御礼電ニ對スル御答電寫並蘭國皇帝
陛下ヨリ天皇陛下宛御親電及之ニ對
スル天皇陛下ノ御礼電寫送付ノ件……………六一五

一三 六一四 六月二十四日 宮苑 三二九 在牧野宮内大臣ヨリ
皇太子殿下ノ伯國及蘭國御訪問ニ付
天皇皇后兩陛下ヨリ伯國皇帝陛下宛
御礼電ニ對スル御答電寫並蘭國皇帝
陛下ヨリ天皇陛下宛御親電及之ニ對
スル天皇陛下ノ御礼電寫送付ノ件……………六一五

一三 六一四 六月二十四日 宮苑 三二九 在牧野宮内大臣ヨリ
皇太子殿下ノ伯國及蘭國御訪問ニ付
天皇皇后兩陛下ヨリ伯國皇帝陛下宛
御礼電ニ對スル御答電寫並蘭國皇帝
陛下ヨリ天皇陛下宛御親電及之ニ對
スル天皇陛下ノ御礼電寫送付ノ件……………六一五

一三 六一四 六月二十四日 宮苑 三二九 在牧野宮内大臣ヨリ
皇太子殿下ノ伯國及蘭國御訪問ニ付
天皇皇后兩陛下ヨリ伯國皇帝陛下宛
御礼電ニ對スル御答電寫並蘭國皇帝
陛下ヨリ天皇陛下宛御親電及之ニ對
スル天皇陛下ノ御礼電寫送付ノ件……………六一五

一三 六一四 六月二十四日 宮苑 三二九 在牧野宮内大臣ヨリ
皇太子殿下ノ伯國及蘭國御訪問ニ付
天皇皇后兩陛下ヨリ伯國皇帝陛下宛
御礼電ニ對スル御答電寫並蘭國皇帝
陛下ヨリ天皇陛下宛御親電及之ニ對
スル天皇陛下ノ御礼電寫送付ノ件……………六一五

一三 六一四 六月二十四日 宮苑 三二九 在牧野宮内大臣ヨリ
皇太子殿下ノ伯國及蘭國御訪問ニ付
天皇皇后兩陛下ヨリ伯國皇帝陛下宛
御礼電ニ對スル御答電寫並蘭國皇帝
陛下ヨリ天皇陛下宛御親電及之ニ對
スル天皇陛下ノ御礼電寫送付ノ件……………六一五

一三 六一四 六月二十四日 宮苑 三二九 在牧野宮内大臣ヨリ
皇太子殿下ノ伯國及蘭國御訪問ニ付
天皇皇后兩陛下ヨリ伯國皇帝陛下宛
御礼電ニ對スル御答電寫並蘭國皇帝
陛下ヨリ天皇陛下宛御親電及之ニ對
スル天皇陛下ノ御礼電寫送付ノ件……………六一五

一三 六一四 六月二十四日 宮苑 三二九 在牧野宮内大臣ヨリ
皇太子殿下ノ伯國及蘭國御訪問ニ付
天皇皇后兩陛下ヨリ伯國皇帝陛下宛
御礼電ニ對スル御答電寫並蘭國皇帝
陛下ヨリ天皇陛下宛御親電及之ニ對
スル天皇陛下ノ御礼電寫送付ノ件……………六一五

一八 八〇九 六月二十四日 機密三一 在ハルビン山内総領事ヨリ
島田副領事ヨリ極東共和国外務次官
コゼウニコフトノ会谈ニ付報告ノ件……………八四五

附屬書

六月二十一日山内総領事発在浦潮菊池政務部長宛公領機密
第五号写

八四五

一八 八一〇 六月二十四日 公一九八
在ハルビン山内総領事ヨリ
内田外務大臣宛

日本及極東共和国間ニ予備秘密協定
成立セリトノ新聞報道ニ付報告ノ件

附屬書

ノウオスチ、ジーズニ紙所載記事訳文

八四八

二 一六四 六月二十五日 二五八
在桑港矢田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

在米日会ニ於テ人頭税無効訴訟ヲ実
行スル場合ニハ南加日会ハ同会ニ一
任スベキ旨羅府ヨリ申越セルニ付訴
訟費用支出方再請ノ件

一三 六一七 六月二十五日 一八一
在伊国落合大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

皇太子殿下ノ伊国御訪問ニ関スル予
定ニ付報告ノ件

二 一六五 六月二十六日 二五九
在桑港矢田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

人頭税問題ニ関シ中央政府ニ申入ノ
結果回示方幣原大使ニ稟請ノ件

五 二四二 六月二十七日 二六二
在桑港矢田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

合衆国ノ国勢調査ニ依ル加州在留日
本人人口ト實際人口トノ相異ガ問題
トナリタル件

五 二四三 六月二十七日 二六三
在桑港矢田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

加州在留日本人人口ト實際人口トノ
相異ニ関スル事情調査ヲ米国側実行
ノ件

一一 一〇三三 六月二十七日 機密七
松村総領事(亜港出張中)ヨリ
内田外務大臣宛

黒竜江下流航行船舶取締方針ニ関シ
報告ノ件

二 一六六 六月二十八日 六六
在桑港矢田総領事宛(電報)

人頭税問題訴訟費用支出承認ノ件

一三 六一八 六月二十八日 九七四
在仏国松田代理大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

皇太子殿下伊国御訪問予定ノ確定セ
ル分報告ノ件

一一 一〇三四 六月二十八日 閣議決定

一六 七三一 六月二十九日 合二八〇
内田外務大臣ヨリ
在中國吉田代理公使(電報)

メルクロフ及セミヨーノフ間ノ妥
協成立セズ我軍ハ「セ」ノ行動監視
中ナル旨通報ノ件

一八 八二一 六月二十九日 九七
内田外務大臣ヨリ
在浦潮菊池政務部長宛(電報)

コゼウニコフガ日本軍ノ保護下ニグ
ロデコウ又ハエフゲネフカニ赴キ度
トノ申出ニ対スル措置振回示ノ件

二 一六七 六月三十日 二六五
在桑港矢田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

在米日会ハ人頭税問題ニ関シ訴訟提
起ノ手配ヲ定メタル件

七 三〇一 六月三十日 勘一
緒方領事(ウスチ、カムチャ
クトスク出張中)ヨリ
内田外務大臣宛

カムチャツカ河河口附近ノ漁況報告
ノ件

一三 六一九 六月三十日 一〇〇二
在仏国石井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

皇太子殿下ソルボンヌ大学等御見学
ノ件

七 月

一三 六二〇 七月一日 公三三
在蘭国田付公使ヨリ
内田外務大臣宛

皇太子殿下蘭国御滞在中ノ御動靜ニ
関シ報告ノ件

一六 七三二 七月一日 二六五
内田外務大臣ヨリ
在米國幣原大使宛(電報)

米國國務長官内示ノ日本軍憲ノ行動
ニ関スル諸報道ノ誤ニ付同長官ニ説
明方訓令ノ件

一八	八二二	七月一日	一三四	在ハルビン山内総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	コゼウニコフヨリ島田ニ対シウスリ 1 駅ハハバロフスクニテ日本側ト交……八五〇 渉シ度旨申出ノ件
二一	一〇三五	七月一日	閣議決定		樺太対岸薩哈唎州ノ要地占領ニ関ス……一〇九二 ル件
二二	四二七	七月二日	二六八	内田外務大臣ヨリ 在米國幣原大使宛(電報)	在米大使館勤務古谷参事官ヲ公使ニ 任ジ墨国ニ派遣セントスル事情電報……四九三 ノ件
二三	六二一	七月二日		珍田供奉長(仏国滞在中)ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	皇太子殿下ヴェルダン御見学ノ件……六三一
二二	一〇三六	七月三日		青島特務艦長ヨリ 海軍大臣宛(電報)	オホーツク市方面ノ過激派反過激派 両首領ヲ招致シ邦人ノ生命財産及利……一〇九二 権尊重方ヲ宣言セル旨報告ノ件
二二	四二八	七月四日	三七三	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日本ガ諸大國中率先墨国ニ正式公使 ヲ派遣スルハ日米關係上好マシカラ……四九三 ズト思考スル旨稟申ノ件
一八	八二三	七月四日	一三七	在ハルビン山内総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日本軍西比利亞撤退ノ条件トシテチ タ側ガ日本ニ讓步セントスル諸事項……八五一 ヲソノモフヨリ島田ヘ申出ノ件
一八	八二四	七月五日	一三八	在ハルビン山内総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ソノモフ七月四日漁業協約改訂、森 林、鉦業、関税ノ諸問題ニ付チタ側……八五二 ノ意向ヲ島田ニ陳述ノ件
二二	一〇三七	七月五日	機密八	松村総領事(亞港出張中)ヨリ 内田外務大臣宛	亞港対岸我軍占領地ニ於ケル露国官 吏ニ対スル我軍ノ監視情況等報告ノ……一〇九三 件
二二	四二九	七月六日	政公信 二三八	在墨國伊藤臨時代理公使ヨリ 内田外務大臣宛	墨國叛將メンデス少將銃殺サレタル……四九四 件
一四	六七二	七月六日	一九四	在瑞典國畑公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	對露事業ニ関スル英獨間協調ノ趣 意、其成功ノ可能性ノ有無等ニ付北 田書記官ヨリ報告ノ件……六九一
一七	七六六	七月六日	二三一	在奉天吉原總領事代理ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	西比利亞トノ關係、對蒙措置、對日 態度等ニ付為シタル張作霖ノ直話報……七八四 告ノ件
一八	八一五	七月六日	一三九	在ハルビン山内総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ソノモフ七月五日北樺太租借、沿岸 航行權、日本撤兵ノ順序等ノ問題ニ 関スルチタ側ノ意向ヲ島田ニ申出ノ……八五四 件
二〇	九八五	七月六日	浦参謀 五〇六	浦潮派遣軍参謀長ヨリ 参謀次長宛(電報)	米中仏三国及日本ノ對露態度ニ関シ 極東共和国外相ユーリリンノ或集会ニ……一〇四二 於テ行ヘル報告演說ニ関スル件
一三	六二二	七月七日	一〇二四	在仏國石井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	皇太子殿下巴里御出発ノ模様報告ノ……六三一 件
一三	六二三	七月七日	一〇二六	在仏國石井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	皇太子殿下告別ノ為仏國大統領ヲ御 訪問ノ件……六三二
一八	八一六	七月七日	一四二	在ハルビン山内総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ソノモフ七月六日國際銀行設立、借 款、鮮人取締ノ問題ニ付チタ側ノ意……八五六 向ヲ島田ニ申出ノ件
一〇	三八三	七月八日	公七九	在里馬森領事ヨリ 内田外務大臣宛	安洋丸搭乗契約移民來着表進達ノ件……四四六
一八	八一七	七月八日	五四	内田外務大臣ヨリ 在ハルビン山内総領事宛(電 報)	ソノモフ島田間交渉内容ヲ極秘ニ附 スル様訓令ノ件……八五七

附屬書 海外興業株式会社扱契約移民到着表

四四七

一八 八一八 七月 八日 閣議決定

浦潮ニ於テ極東共和国側ト通商問題
商議ノ形式ニ於ケル非公式交渉開始……………八五七
実行ニ関スル件

一八 八一八 七月 八日 在ハルビン山内総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

ソームフ島田ニ対シシタ側ノ希望ヲ
述べ尚日本政府ノ希望ヲ承知シ度旨……………八五八
申出ノ件

一八 八二〇 七月 八日 在ハルビン山内総領事ヨリ
内田外務大臣宛

島田ソームフ会談ニ関連シ米人記者……………八五九
等ニ島田ヨリ種々説明ノ件

附屬書

七月七日附山内総領事発菊池政務部長宛公領機密第八号……………八五九

一一 一〇三八 七月 八日 機密九
松村総領事(亜港出張中)ヨリ
内田外務大臣宛

亜港ニ於ケル露人船客ノ検疫ニ付ウ
ドスキー郡長ノ我軍ニ対スル非難ニ……………一〇九四
関スル件

一八 八二二 七月 九日 五五
内田外務大臣ヨリ
在ハルビン山内総領事宛(電報)

ソームフヨリ島田ヘノ申出ニ付秘密
ヲ保持スル様ソームフニ申入方島田……………八六〇
ニ訓電ノ件

一八 八二二 七月 十一日 一四七
在ハルビン山内総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

島田副領事ソームフヨリノ申出ニ関
スル要約ヲ作成シソームフ之ヲ確認……………八六一
ノ件

別電

同日山内総領事発内田外務大臣宛電報第一四八号

右要約

……………八六二

七 三〇二 七月 十二日 公一四七
在浦潮菊池総領事ヨリ
内田外務大臣宛

極東漁業協議会解散ノ件……………三二八

一三 六二四 七月 十二日
在伊国落合大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

皇太子殿下閑院宮殿下ナポリ御安着
ノ件……………六三二

一三 六二五 七月 十二日 一九八
在伊国落合大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

皇太子殿下ローマ御安着ノ件……………六三二

一八 八二三 七月 十二日 一四九
在ハルビン山内総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

ソームフヨリ島田ニ申出事項ノ要約
ニ関スルコゼウニコフノ意見島田ヨ……………八六四
リ報告ノ件

別電

同日山内総領事発内田外務大臣宛電報第一五〇号

コゼウニコフノ申出事項

……………八六五

二 同右電報第一五一号

ソームフ案ニ対スルコゼウニコフノ意見

……………八六七

附記

松平欧米局長意見

……………八六七

一八 八二四 七月 十二日 一五二
在ハルビン山内総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

コゼウニコフ七月十二日ハルビン発
チタニ赴ク旨報告及請訓ノ件……………八七二

一九 八二五 七月 十二日 閣議決定

極東共和国ノ希望ニ応ジ通商問題商
議ノ形ニ於テ同国トノ非公式交渉開……………八七四
始ノ方針決定ノ件

一一 一〇三九 七月 十二日 機密一二
在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛

尼港邦人虐殺ニ依ル我軍ノ薩哈連州
要地占領ニ関スル米國政府ノ抗議ニ……………一〇九五
対スル我方ノ回答覚書送付ノ件

附屬書

右回答覚書

……………一〇九六

一三 六二六 七月 十三日 一九九
在伊国落合大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

ナポリニ於ケル皇太子殿下迎接ノ模
様報告ノ件……………六三三

一三 六二七 七月 十四日 二〇一
在伊国落合大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

皇太子殿下ナポリヨリ羅馬ニ御安着
竝伊国皇室及同国民ノ歡迎振ニ関ス……………六三三
ル件

別電

同日在伊国落合大使発内田外務大臣宛電報第二〇二号

……………六三四

晚餐会ニ於ケル伊国皇帝陛下ノ御歡迎辭

二 同右電報第二〇三號

晚餐会ニ於ケル皇太子殿下ノ御答辭

六三五

一九 八二六 七月十四日 五九 内田外務大臣ヨリ
在ハルビン山内総領事宛(電報)
松島政務部長ト極東共和国代表トノ
非公式会商ヲ大連ニテ行ヒ度旨先方
ヘ申入ルル様島田ヘ訓電ノ件 八七六

一九 八二七 七月十四日 山梨陸軍大臣ヨリ
立花浦潮派遣軍司令官宛(電報)
極東共和国側トノ交渉ニ付浦潮派遣
軍司令官ヘ内訓ノ件 八七七

一三 六二八 七月十五日 二〇四 在伊国落合大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
羅馬ニ於ケル皇太子殿下ノ御動靜報
告ノ件 六三六

一三 六二九 七月十五日 二〇五 在伊国落合大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
羅馬ニ於ケル皇太子殿下ノ御動靜統
報ノ件 六三六

一三 六三〇 七月十五日 二〇八 在伊国落合大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
皇太子殿下ノ伊国御訪問ハ同国内ニ
好印象ヲ与ヘタル旨並新聞紙上ノ歡
迎ノ辭報告ノ件 六三七

一六 七三三 七月十五日 機密一四 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛
シベリア問題ニ関スル米國政府ノ抗
議通牒ニ對スル回答書手交ノ件 七五四

附屬書 右覽書亨

七五四

一二 一〇四〇 七月十五日 薩參
四一九 薩哈連州派遣軍參謀長ヨリ
尾野陸軍次官宛(電報)
黒竜江岸地方ノ情況及視察判斷報告
ノ件 一一〇三

一三 六三一 七月十六日 宮免
三五七 牧野宮内大臣ヨリ
内田外務大臣宛
皇太子殿下西國皇帝陛下ト御会见ニ
付天皇陛下ノ御礼電ニ對スル御答電
寫並伊國御訪問ニ際シ同國皇帝陛下
ノ御親電及天皇陛下ノ御礼電寫送付
ノ件 六三八

附屬書 一 七月七日西國皇帝陛下ヨリ天皇陛下宛御答電亨

六三八

二 七月十二日伊國皇帝陛下ヨリ天皇陛下宛御親電亨
三 七月十四日天皇陛下ヨリ伊國皇帝陛下宛御礼電亨
皇太子殿下閑院宮殿下羅馬法王庁等
御訪問ノ件 六三九

一三 六三二 七月十六日 二〇九 在伊国落合大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
皇太子殿下閑院宮殿下羅馬法王庁等
御訪問ノ件 六四〇

一九 八二八 七月十六日 六一 在ハルビン山内総領事宛(電
報)
島田副領事ノ一応浦潮帰任願ニ對シ
回訓ノ件 八七七

一三 六三三 七月十七日 二二一 在伊国落合大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
皇太子閑院宮兩殿下ヴァチカン博物
館等御見物ノ件 六四一

一三 六三四 七月十七日 二二二 在伊国落合大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
皇太子殿下羅馬御出発ナポリニ向ハ
セラレタル件 六四一

一九 八二九 七月十七日 一五三 在ハルビン山内総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
松島政務部長ト極東共和国代表トノ
会谈方ニ付コゼウニコフニ直接申入
ルベキヤ島田ヨリ請訓ノ件 八七八

一九 八三〇 七月十七日 一五五 在ハルビン山内総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
島田及コゼウニコフ間ニ予備協定成
立セリトノ新聞報道ニ付報告ノ件 八七八

一三 六三五 七月十八日 二二三 在伊国落合大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
皇太子殿下ナポリ御出発ノ件 六四一

一九 八三一 七月十八日 一五六 在ハルビン山内総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
極東共和国外相ユーリシガハルビン
及奉天ニ少時滞在後北京ニ赴ク模様
ナル旨報告ノ件 八七九

五 二四四 七月十九日 七二 在桑港矢田總領事宛(電報)
リヴィングストンニ於テ本邦人追放
ノ真相査報方訓令ノ件 二六七

一九 八三二 七月十九日 六二 内田外務大臣ヨリ
在ハルビン山内総領事宛(電
報)
松島部長トチタ側代表トノ会谈方ニ
関シコゼウニコフ直接申入差支無旨
島田ニ回訓ノ件 八八〇

一三	六三六	七月二十日	二二七	在伊国落合大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ナポリニ於ケル皇太子殿下御一行歓 迎ノ模様報告ノ件	……六四二
一六	七三四	七月二十日	三九五	在浦潮松島政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	浦潮政權ヨリ各種利權ノ許与並日本 ヨリ財政援助及武器供給ヲ得度旨非 公式申出ノ件	……七五七
一九	八三三	七月二十日	六三	内田外務大臣ヨリ 在ハルビン山内総領事宛(電 報)	コゼウニコフ氏チタニ止マル場合ニ 於ケルユーリントノ会见取極方島田 ヘ訓令ノ件	……八八〇
五	二四五	七月二十一日	二七〇	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	リヴィングストンニ於ケル日本人追 放ノ状況報告ノ件	……二六八
五	二四六	七月二十一日	二七一	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ターラック地方日本人労働者放逐事 件ニ関シ加州知事ノ注意喚起ノ電報 ヲ発スルト共ニ日会役員ヲ派遣シ真 相取調中ノ旨報告ノ件	……二六八
一二	四三〇	七月二十一日	七三	在墨国伊藤臨時代理公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	仏国ハ墨国新政府ヲ正式ニ承認セル ニ非ズトノ仏国外相ノ声言報告ノ件	……四九四
一九	八三四	七月二十一日	一五八	在ハルビン山内総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	松島政務部長及極東共和国代表間会 談開始問題ニ付島田副領事ユーリン 外相ト会谈ノ件	……八八一
一九	八三五	七月二十一日	三九六	在浦潮松島政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日本軍撤退後起リ得ベキ事態ニ鑑ミ チタ政權及浦潮政權ノ取扱方ニ関ス ル派遣軍ノ意見ヲ軍参謀長ヨリ陸軍 次官ニ電報ノ件	……八八三
一九	八三六	七月二十一日	浦参特 一四	浦潮派遣軍参謀長ヨリ 陸軍次官宛(電報)	浦潮政權トチタ政權トノ取扱方ニ付 意見具申ノ件	……八八四
五	二四七	七月二十一日	九六	在ロス・アンゼルス大山領事 ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	羅府司法省情報局員ガターラック事 件類似ノ事件發生ニ付各方面ニ警戒 中ノ旨内話ノ件	……二六九

一一	四〇〇	七月二十二日	通公七一	在伯国堀口公使ヨリ 内田外務大臣宛	サンパウロ州選出下院議員ノ日本移 民ノ農業貢獻ニ対スル賞讃演説ニ関 シ報告ノ件	……四七一
一三	六三七	七月二十二日	二二五	在伊国落合大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	皇太子殿下ノ御訪問ニ対スル伊国新 聞並伊国ノ好意的態度ニ関シ報告ノ 件	……六四二
一三	六三八	七月二十二日		珍田供奉長(ポートサイド滞 在中)ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	皇太子殿下御帰朝ニ付原総理大臣及 閣僚ヨリ祝詞言上ノ件	……六四三
一七	七六七	七月二十二日	三九八	在浦潮松島政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	赤軍パルチザンノ活動活発化シ交通 杜絶ノ虞アル旨スパスカヤ出張中ノ 郡司副領事報告ノ件	……七八六
一九	八三七	七月二十二日	一六三	在ハルビン山内総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ユーリンガ北京訪問ノ使命及日本ト ノ国交開始ニ関シ新聞記者ニ対シ為 セル談話報告ノ件	……八八五
一九	八三八	七月二十二日	一六四	在ハルビン山内総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ユーリンガ松島政務部長ト大連ニ於 テ交渉方希望ヲ申出デタル旨島田ヨ リ報告ノ件	……八八五
五	二四八	七月二十三日	機公四二	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛	ターラック事件ニ関シ加州知事ニ与 ヘタル公文書写送付ノ件	……二七〇
				附屬書 七月二十三日附矢田総領事ヨリ在米幣原大使宛機密密華第五 一号信写		……二七〇

五	二四九	七月二十三日	二七三	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日本人労働者追放ニ関シターラック 出張ノ日会役員ヨリ報告ノ件	……二七一
五	二五〇	七月二十三日	二七四	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ターラック及リヴィングストン事件 ニ関シ加州知事等ノ意見トシテ伝ヘ ラレタル新聞報報告ノ件	……二七三

五 二五一 七月二十三日 二七五 在桑港矢田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 在米日会役員ヨリ統報ノ件……………二七三

五 二五二 七月二十三日 二七六 在桑港矢田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) ターラックニ於ケル日本人ニ對スル
暴行ヲ非難セル排日協會及ジョンソン
上院議員ノ声明等報告ノ件……………二七四

一三 六三九 七月二十三日 宮發 三七三 牧野宮内大臣ヨリ
内田外務大臣宛 皇太子殿下御退伊ニ際シ伊国皇帝陛下ヨリ天皇陛下宛御親電寫及天皇陛下ヨリ伊国皇帝陛下宛御答電寫送付ノ件……………六四三

附屬書一 七月十七日伊国皇帝陛下ヨリ天皇陛下宛御親電寫……………六四四

二 七月二十日天皇陛下ヨリ伊国皇帝陛下宛御答電寫……………六四四

一九 八三九 七月二十三日 四〇〇 在蒲潮松島政務部長ヨリ
内田外務大臣宛(電報) ユーリントノ交渉ニ臨ム資格及軍司令官トノ關係ニ付請訓ノ件……………八八六

二一 一〇四一 七月二十三日 公三三 松村総領事(香港出張中)ヨリ
内田外務大臣宛 新任町田薩哈噠州派遣軍司令官諭告公布ノ件……………一一〇四

附屬書 右諭告……………一一〇五

五 二五三 七月二十四日 二七七 在桑港矢田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) ターラック事件被害者ノ保護ヲ地方司法官憲ニ求ムル様措置方在大使ノ指示アリタル件……………二七五

五 二五四 七月二十四日 二七八 在桑港矢田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) ターラック事件ニ関シ米国官憲ノ誠意アル態度ニ鑑ミ暫ク米国側ノ措置振ヲ監視スルニ止メ度旨幣原大使宛回電ノ件……………二七五

五 二五五 七月二十五日 三二〇 内田外務大臣ヨリ
在米国幣原大使宛(電報) リヴィングストン及ターラック事件ニ関シ米国政府ニ邦人保護方申入レラレ度旨訓令ノ件……………二七六

五 二五六 七月二十五日 七四 内田外務大臣ヨリ
在桑港矢田総領事宛(電報) リヴィングストン及ターラック事件ニ関シ加州知事ニ邦人保護ノ為周到ナル措置ヲ講ゼラレ度旨申入方訓令ノ件……………二七六

五 二五七 七月二十五日 機公四三 在桑港矢田総領事ヨリ
内田外務大臣宛 リヴィングストンニ於ケル日本人放逐事件ニ関シ詳報ノ件……………二七七

附屬書 七月二十日附仲喜代治ヨリ在米日本人会宛報告寫……………二七七

二 四三一 七月二十五日 米公信 二六二 在墨国伊藤臨時代理公使ヨリ
内田外務大臣宛 墨国叛將ノ動向ニ関スル件……………四九五

二 一〇四二 七月二十五日 西密 一二〇 尾野陸軍次官ヨリ
埴原外務次官宛 薩哈噠州占領地域内ニ於ケルチタ政權代表者ノ取扱方ニ関スル件……………一一〇五

四 二三七 七月二十六日 一〇三 在シアトル佐藤領事代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報) タコマ合衆国地方裁判所ハ華州排外土地法案試訴ヲ却下シタル件……………二五六

一三 六四〇 七月二十六日 四二 在ポートサイド益子領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 皇太子殿下ポートサイド御出発ノ件……………六四四

一九 八四〇 七月二十六日 三七五 内田外務大臣ヨリ
在中国吉田臨時代理公使宛(電報) 島田副領事ト極東共和国政府側要人トノ非公式交渉ノ經過及ユースリンノ申出ニ付通報ノ件……………八八七

二 一三一 七月二十七日 二八〇 在桑港矢田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 外国語学校取締法施行ニ関スル學務局長官ノ声明大要報告ノ件……………一六四

一九 八四一 七月二十七日 四〇五 在蒲潮松島政務部長ヨリ
内田外務大臣宛(電報) チタ側トノ交渉ノ為大連出張ノ日取ニ付問合ノ件……………八八八

五 二五八 七月二十八日 二八一 在桑港矢田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 桑港商業會議所ハターラック米人暴行ニ對シ官憲取締要望ノ決議ヲ為セル旨並同趣旨ヲ國務省ニ電報セル旨日本政府ニ伝達方申出ノ件……………二五八

別電 同日在桑港矢田総領事発内田外務大臣宛電報第二八二号

桑港商業會議所ヨリ國務省宛電報写

……二五八

一九 八四二 七月二十八日 五二九 在中国吉田臨時代理公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) ユーリン外相ヨリ内田外相宛通商取
極ノ商議開始ヲ求ムル書面ノ転送方……八八八

一九 八四三 七月二十八日 機密 二二二 在中国吉田臨時代理公使ヨリ
内田外務大臣宛 日本トノ友好通商関係ノ開始ヲ求ム
ル極東共和国外務大臣ユーリンヨリ……八八九
我外務大臣宛書翰送付ノ件

附屬書 在中国極東共和国使館團長代理ヨリ吉田臨時代理公使宛書

翰写

……八八九

七月十三日附ユーリン外相ヨリ内田外相宛書翰送達ノ件

一九 八四四 七月二十八日 三二〇 内田外務大臣ヨリ
在米國幣原大使宛(電報) チタ政府トノ通商其他ノ取極ノ為同
政府ト近ク大連ニ於テ交渉開始ノ方……八九二
針ナル旨内報ノ件

一五 六八八 七月二十九日 四六 在波蘭國川上公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 西欧諸國ガ勞農政府ト通商関係開始
ノ情勢ニ鑑ミ我方モ之ト通商開始ヲ……七〇三
可トスル旨稟申ノ件

一九 八四五 七月二十九日 一六九 在ハルビン山内総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 極東共和国外務大臣代理ニヤンソン
任命ノ件……八九三

一九 八四六 七月二十九日 一七〇 在ハルビン山内総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 日本ト極東共和国トノ交渉開始ノ報
道ニ関スルミハイロフノ批判報告ノ……八九四

五 二五九 七月三十日 四五一 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) ターラック事件ニ関シ中央ニ對スル
公然ノ措置ヲ見合セ度旨意見具申並
極東部長ニ對シ日本人保護ニ留意方
希望シ置ケル旨報告ノ件……二八〇

一二 四三二 七月三十日 七六 在墨國伊藤臨時代理公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 個人損害調査ノ為常設混合委員會組
織方ニ関スル墨國政府ヨリ申出ニ……四九五
對スル回答振ニ関スル件

一九 八四七 七月三十日 四〇七 在浦潮松島政務部長ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 松島政務部長ガチタ側ト交渉ノ資格
ヲ有スル旨軍司令官ニ於テ証明スル……八九四
ニ異議ナキ件

八月

五 二六〇 八月一日 機公四五 在桑港矢田総領事ヨリ
内田外務大臣宛 ターラック事件ニ関スル在米日本人
会ノ調査報告書写送付ノ件……二八〇

一九 八四八 八月一日 三八四 内田外務大臣ヨリ
在中国吉田臨時代理公使宛(電報) 日本國政府ハ親善及通商関係商議開
始ニ関スルチタ政府ノ申出ニ応ズル……八九四
旨ユーリンニ伝達方訓令ノ件

二 一六八 八月二日 二八五 在桑港矢田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 人頭税問題ニ関スル訴訟ハ予定通り
提起セラレタル件……一八一

五 二六一 八月二日 七七 在桑港矢田総領事宛(電報) 桑港商業會議所ノ公正ナル態度ニ同
所会頭ニ挨拶方訓令ノ件……二八六

八 三二九 八月三日 公一〇六 在オタワ清水総領事ヨリ
内田外務大臣宛 B.C.州議員ステイヴンスノ加奈
陀議會ニ於ケル東洋人移民排斥演説……三六〇
ニ関シ報告ノ件

一九 八四九 八月三日 一二五 内田外務大臣ヨリ
在奉天赤塚總領事宛(電報) チタ政府ノ商議開始方申出ニ応ズル
旨ヲ可然方法ニ依リユーリンニ申入……八九五
方訓令ノ件

一九	八五〇	八月三日	一一〇	在桑港矢田總領事ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	在桑港矢田總領事ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	マクラーチー排日協会代表ハ加州日 本人問題ノ解決方法ニ抗議スル請願 書ヲ國務長官宛送付セル件	……二二三
三	二二一	八月四日	二八七	在桑港矢田總領事ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	在桑港矢田總領事ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	在サントス日本人漁夫ニ関スル重要 問題解決ニ付漁業局長ト協議セル件	……四七三
一一	四〇一	八月四日	通公 一〇四	在サンパウロ藤田總領事ヨリ 内田外務大臣宛	在サンパウロ藤田總領事ヨリ 内田外務大臣宛	墨国提案ノ混合委員会ハ關係各國ト ノ間ニ別々ニ組織セントスルモノナ ル旨墨国外相談話ノ件	……四九六
一二	四三三	八月四日	七九	在墨国伊藤臨時代理公使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	在墨国伊藤臨時代理公使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	日本政府ハチタ政府ノ通商關係商議 開始方ニ関スル申出ニ応ズル旨ユ リニ伝達済ノ件	……八九六
一九	八五一	八月四日	二六四	在奉天赤塚總領事ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	在奉天赤塚總領事ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	華州キング郡検事正ドグラスハ日本 人土地没収試訴ヲ提起シタル件	……二五七
四	二三八	八月五日	機公三〇	在シアトル斎藤領事ヨリ 内田外務大臣宛	在シアトル斎藤領事ヨリ 内田外務大臣宛	墨国提議ノ混合委員会ニ我方代表者 派遣ニ関シ意見具申ノ件	……四九六
一二	四三四	八月五日	四六九	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	浦潮及チタ兩方面ノ政情並日本ノ西 比利亞撤兵問題等ニ関スル件	……七八六
一七	七六八	八月五日		内田外務大臣〔會談 在本邦英國大使〕	内田外務大臣〔會談 在本邦英國大使〕	タラック事件予備公判ニ於テ嫌疑 者六名有罪決定、直ニ上級裁判所ニ 回付セラレタル件	……二八七
五	二六二	八月七日	二八八	在桑港矢田總領事ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	在桑港矢田總領事ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	チタ政府トノ協定実施ノ段取ニ関シ 意見具申及駐兵ノ一部継続等ニ関ス ル中央政府ノ意向問合ノ件	……八九六
一九	八五二	八月七日	浦參特 二一	在浦潮派遣軍參謀長ヨリ 陸軍次官宛（電報）	在浦潮派遣軍參謀長ヨリ 陸軍次官宛（電報）	小沢孝雄ノ帰化訴訟審理開始ノ件	……一〇一
一	四六	八月八日	二八九	在桑港矢田總領事ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	在桑港矢田總領事ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	チタ政府ハユーリンヲ其代表トシテ 松島政務部長ト大連ニ於テ會商セシ ムルコトニ決定セル旨ユーリン申出 ノ件	……八九七
一九	八五三	八月九日	二七〇	在奉天赤塚總領事ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	在奉天赤塚總領事ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	東洋人使用禁止ノB.C.州閣令確認 法不認可交渉ノ進捗状況ニ関シ清水 總領事ニ問合ノ件	……三六一
八	三三〇	八月十一日	二一	在ヴァンクレーヴアール斎藤領事 ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	在ヴァンクレーヴアール斎藤領事 ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	独逸公使墨国大統領ニ国書ヲ捧呈シ タル件	……四九七
一二	四三五	八月十一日	米公信 二八九	在墨国伊藤臨時代理公使ヨリ 内田外務大臣宛	在墨国伊藤臨時代理公使ヨリ 内田外務大臣宛	コロンボニ於ケル皇太子殿下ノ御動 靜報告ノ件	……六四五
二三	六四一	八月十一日	四	在ボンベイ縫田領事（コロ ンボ出張中）ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	在ボンベイ縫田領事（コロ ンボ出張中）ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	皇太子殿下コロンボ御出發ノ件	……六四五
一三	六四二	八月十一日	五	在ボンベイ縫田領事（コロ ンボ出張中）ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	在ボンベイ縫田領事（コロ ンボ出張中）ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	浦潮派遣軍ノ考究セル日本撤兵ニ関 スル協定案具申ノ件	……八九七
一九	八五四	八月十一日	浦參特 二五	在浦潮派遣軍參謀長ヨリ 陸軍次官宛（電報）	在浦潮派遣軍參謀長ヨリ 陸軍次官宛（電報）	極東共和國トノ交渉ノ実施順序ニ付 浦潮派遣軍參謀長ニ発シタル電報通 牒ノ件	……八九八
一九	八五五	八月十一日	陸通西密 一二六	尾野陸軍次官ヨリ 壇原外務次官宛	尾野陸軍次官ヨリ 壇原外務次官宛	チタ政府トノ通商其他ノ事項取極交 渉方ニ関スル件	……八九九
一九	八五六	八月十一日	一八	在浦潮松島政務部長宛 内田外務大臣ヨリ	在浦潮松島政務部長宛 内田外務大臣ヨリ	チタ政府ト交渉ニ際スル代表資格ニ 関スル件	……八九九
一九	八五七	八月十二日	一八	在浦潮松島政務部長宛 内田外務大臣ヨリ	在浦潮松島政務部長宛 内田外務大臣ヨリ	チタ政府ト交渉ニ際スル代表資格ニ 関スル件	……八九九

附屬書 右資格証明書

一九	八五八	八月十二日	一一三	内田外務大臣ヨリ 在浦潮松島政務部長宛（電報）	チタ側提示ノ条件ニ対スル我方意見 取纏メ陸軍省ヨリ浦潮派遣軍ニ電報 スル旨等通報ノ件	九〇〇
七	三〇三	八月十三日	四七	在ベトロバウロフスク山口領 事ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	露国漁業検査官ヨリ本邦出漁者ノ反 則防遏ニ付援助ヲ求メタル件	三二八
八	三三一	八月十三日	六五	在オタワ清水総領事ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	東洋人使用禁止ノB.C.州閣令確認 法不認可方交渉ノ進捗状況ニ付回電 ノ件	三六二
一一	四〇二	八月十三日	通機密七	在伯国堀口公使ヨリ 内田外務大臣宛	外国人漁業禁止法ニ拘ラズ本邦人漁 夫等ノ漁業従事方認可取付済ノ件	四七五
一九	八五九	八月十五日	四一七	在浦潮松島政務部長ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	大連著予定ノ日取回報ノ件	九〇一
一九	八六〇	八月十六日	一三七	内田外務大臣ヨリ 在奉天赤塚総領事宛（電報）	松島政務部長大連著予定ノ日取ヲユ ーリンニ伝フル様訓令ノ件	九〇一
一九	八六一	八月十六日		陸軍次官ヨリ 関東軍参謀長宛（電報）	大連會議開催ニ付極東共和国代表一 行ノ保護及便宜供与並ニ會議場及宿 舎ノ準備可然措置方指示ノ件	九〇一
八	三三二	八月十七日	六七	在オタワ清水総領事ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	東洋人使用禁止ノB.C.州閣令確認 法不認可方交渉ノ為領政府法相及次 官ト会见ノ件	三六三
一六	七三五	八月十七日		在本邦露国大使ヨリ 内田外務大臣宛	沿黒竜州政權ニ対スル我態度ニ関シ 同政權ヨリ日本政府ノ再考ヲ要請ノ 件	七五七
八	三三三	八月十八日	公二三七	在ヴァンクーヴァー斎藤領事 ヨリ 内田外務大臣宛	亜細亞人排斥協会ノ成立及其綱領ニ 関シ報告ノ件	三六四

一二	四三六	八月十九日	八九	在墨国伊藤臨時代理公使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	米墨關係ニ関スルオブレゴン大統領 ノ新聞記者ニ対スル談話報告ノ件	四九七
一三	六四三	八月十九日	公一九四	在ボンベイ縫田領事ヨリ 内田外務大臣宛	皇太子殿下コロンボ御立寄ニ関シ報 告ノ件	六四五

附屬書 右報告書

一三	六四四	八月十九日	六〇	在新嘉坡吉田總領事代理ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	皇太子殿下シンガポールニ御安着ノ 件	六四七
----	-----	-------	----	------------------------------	-----------------------	-----

一九	八六二	八月十九日	二八二	在奉天赤塚總領事ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	極東共和国外相ユーリン大連着日取 報告ノ件	九〇二
----	-----	-------	-----	---------------------------	--------------------------	-----

一九	八六三	八月十九日	三七一	内田外務大臣ヨリ 在米國幣原大使宛（電報）	極東共和国トノ交渉開始ニ関シ日本 ノ態度ヲ米國政府ニ通報方訓令ノ件	九〇二
----	-----	-------	-----	--------------------------	--------------------------------------	-----

別電 同日内田外務大臣幣原大使宛電報第三七二号

右米國政府ニ申入ルベキ趣旨

二	一三二	八月二十日	二九九	在桑港矢田總領事ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	加州各地ニ於ケル日本学童隔離教育 実施ノ件	一六五
---	-----	-------	-----	---------------------------	--------------------------	-----

一九	八六四	八月二十日		山梨陸軍大臣ヨリ 立花浦潮派遣軍司令官宛（電報）	チタ側トノ通商協定発効要件及軍事 上細部ノ協定ニ関スル中央部ノ意向 訓示ノ件	九〇三
----	-----	-------	--	-----------------------------	--	-----

附記一 八月十七日陸軍省ヨリ外務省ニ内示ノ意見書

二 八月十九日外務省ヨリ陸軍省ニ回示ノ意見書

一三	六四五	八月二十一日	第三艦特 百三	百武第三艦隊司令長官ヨリ 加藤海軍大臣宛（電報）	御召艦カムラン灣ニ入港ノ件	六四八
----	-----	--------	------------	-----------------------------	---------------	-----

一九	八六五	八月二十一日	一	内田外務大臣ヨリ 松島政務部長（大連出張中） 宛（電報）	チタ側トノ商議開始ニ関シ英米兩國 ニ内報シタル件	九〇五
----	-----	--------	---	------------------------------------	-----------------------------	-----

二	一六九	八月二十二日	公二〇五	在ロス・アンゼルス大山領事 ヨリ 内田外務大臣宛	ロス・アンゼルス郡ニ於ケル外国人 登録者員数ニ関スル件	一八二
八	三三四	八月二十二日	機公一五	在オタワ清水総領事ヨリ 内田外務大臣宛	官林伐採ニ東洋人労働者使用禁止ノ B.C.州閣令確認法問題ニ関シ領政 府トノ交渉顛末報告ノ件	三六五

附屬書 在オタワ清水総領事ヨリ在晚香坡斎藤領事宛公信晚往機密

第六号写

三六五

一一	四〇三	八月二十三日	機密四	在サンパウロ藤田総領事ヨリ 内田外務大臣宛	移民保護上移民会社ノ新着移民配耕 ニ付事情具申並事前ニ総領事館ノ認 可ヲ受クベキ様改善方ニ関シ請訓ノ 件	四七六
----	-----	--------	-----	--------------------------	---	-----

一三	六四六	八月二十四日	二三八	関屋宮内次官ヨリ 埴原外務次官宛	皇太子殿下ノ御帰朝ニ関スル予定事 項内報ノ件	六四八
一九	八六六	八月二十四日	公一八〇	在浦潮渡辺総領事代理ヨリ 内田外務大臣宛	大連會議ニ関スル浦潮露字新聞ノ論 調ニ付報告ノ件	九〇五

附屬書 日本国対極東共和国交渉ニ関スル露紙論調……………九〇六

一九	八六七	八月二十四日	浦参特 四〇	浦潮派遣軍参謀長ヨリ 陸軍次官宛(電報)	日本国及極東共和国間軍事上細部ノ 協定ニ関スル中央部ノ意向ニ対スル 派遣軍ノ意向報告ノ件	九〇七
----	-----	--------	-----------	-------------------------	--	-----

一三	六四七	八月二十五日		在西貢古谷領事(バングホイ 出張中)ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	皇太子殿下カムラン湾御出発ノ件……………六四九	
----	-----	--------	--	--	-------------------------	--

一九	八六八	八月二十五日	四	松島政務部長(大連出張中) ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ユーリン八月二十四日大連著ノ件……………九〇八	
----	-----	--------	---	------------------------------------	-------------------------	--

二	七八	八月二十六日	公二〇八	在ロス・アンゼルス大山領事 ヨリ 内田外務大臣宛	加州外人土地法ノ影響及其対応策ニ 関シ調査ノ件……………一二四	
---	----	--------	------	--------------------------------	------------------------------------	--

二	一三三	八月二十六日	三〇五	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	加州各地ニ於ケル日本学童隔離教育 実施ニ付追報ノ件……………一六五	
---	-----	--------	-----	---------------------------	--------------------------------------	--

一九	八六九	八月二十六日	一五	内田外務大臣ヨリ 在シカゴ桑島領事宛(電報)	我方ノチタ政府トノ交渉ニ関スルシ カゴ、デイリ、ニュースノ誤報訂正……………九〇八	
----	-----	--------	----	---------------------------	--	--

一九	八七〇	八月二十六日	合一	松島政務部長(大連出張中) ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	大連會議第一回會議ノ要領報告ノ件……………九〇八	
----	-----	--------	----	------------------------------------	--------------------------	--

二	七九	八月二十七日	三〇七	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	收穫契約ガ土地法違反ナリヤ否ヤノ 問題ニ関連シ加州検事総長ノ発表セ……………一二五	
---	----	--------	-----	---------------------------	--	--

一三	六四八	八月二十七日	一八	在西貢古谷領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	カムラン湾ニ於ケル皇太子殿下御出 迎ノ模様報告ノ件……………六四九	
----	-----	--------	----	--------------------------	--------------------------------------	--

一九	八七一	八月二十七日	合二六四	内田外務大臣ヨリ 在上海山崎總領事 在桑港矢田總領事 在柏林日置公使 (各宛(電報)	チタ政府トノ大連會議八月二十六日 開始及同會議ノ目的ニ付通報ノ件……………九一〇	
----	-----	--------	------	--	---	--

一九	八七二	八月二十七日		陸軍次官ヨリ 浦潮派遣軍参謀長宛(電報)	日本国及極東共和国間軍事上細部ノ 協定ニ関スル申出ニ付回訓ノ件……………九一一	
----	-----	--------	--	-------------------------	--	--

一九	八七三	八月二十七日	合二	松島政務部長(大連出張中) ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	大連會議第二回會議ニ付報告ノ件……………九一一	
----	-----	--------	----	------------------------------------	-------------------------	--

三	二一二	八月二十九日	三九二	内田外務大臣ヨリ 在米國幣原大使宛(電報)	幣原モリス間協議案ニ対スル米國政 府ノ意向確メ方再訓令ノ件……………二三四	
---	-----	--------	-----	--------------------------	--	--

二	四三七	八月二十九日	九七	在墨国伊藤臨時代理公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日本ヨリ混合委員会ヘノ代表者派遣 ハ今暫ク觀望アリタキ旨稟申ノ件	四九八
一五	六八九	八月二十九日	五八	在波蘭国川上公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	勞農政府ハ日本トノ善隣關係回復ノ 為波蘭ニ於テ交渉ヲ開始シ度旨カラ ハンヨリ申出ノ件	七〇六
一九	八七四	八月二十九日	合三	松島政務部長(大連出張中) ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	大連會議第三回會議ニ付報告ノ件	九一二
一四	六七三	八月三十日	二六〇	在瑞典国畑公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	仏国実業家カイヨール氏對露通商ニ関 シレヴアルニ来著ノ旨佐々木領事ヨリ 報告ノ件	六九二
一六	七三六	八月三十日	四二八	在浦潮永井政務部長代理ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	浦潮メルクロフ政權ニ對スル一般 不滿ノ増大ト政變ノ動向ニ付報告ノ 件	七六二
				別電 同日永井政務部長代理宛内田外務大臣宛電報第四二九号 東部西比利亞ニ民主主義体制ノ新国家ヲ樹立セントスルマ ンスエーフトフノ構想ニ付報告ノ件		七六二
一九	八七五	八月三十日	合四	松島政務部長(大連出張中) ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	大連會議第四回會議ニ付報告ノ件	九一三
一九	八七六	八月三十日	機密六〇	在浦潮渡辺總領事代理ヨリ 内田外務大臣宛	日本ノ對チタ政府交渉ニ関シ浦潮在 留邦人ヨリ上申ノ計畫中ナル希望事 項報告及請訓ノ件	九一四
				附屬書 東方經濟調查會作成ノ日露協商ニ對スル希望事項		九一五
二二	四三八	八月三十一日	一〇一	在墨国伊藤臨時代理公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	墨国大審院ハ米國テキサス石油会社 ノ上告ニ付憲法第二十七条ニ遵及力 ヲ認メザルコトヲ決定シ好感ヲ以テ 迎ヘラレタル件	四九八
一六	七三七	八月三十一日	一〇六六 グロ	在ヘルビン浜面少將ヨリ 松島政務部長(大連出張中) (電報)	セミョーノフノ退去準備及軍ノ動搖 ニ付通報ノ件	七六四

九月

二二	四三九	九月一日	一〇五	在ロス・アンゼルス大山領事 ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	墨国大審院ノテキサス石油会社ノ上 告審判決ニ對スル米國側ノ態度ニ関 スル新聞報道報告ノ件	四九八
五	二六三	九月二日	三二五	在桑港矢田總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	渋沢子爵渡米說ニ関シ問合ノ件	二八七
八	三三五	九月二日	六八	在オタワ清水總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	B.C.州閣令確認法問題審議ヲ領政 府ガ加奈陀大審院ニ提出ニ付我方ノ 弁護士出廷方ニ関シ斎藤領事ニ指示 シタル件	三七二
二二	四四〇	九月二日	一〇六	在ロス・アンゼルス大山領事 ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	墨国大統領ガ下院ニ對スル教書ニ於 テ米國ト條約ヲ締結スルハ不可能、 不必要ト述ベタル旨ノ新聞報道報告 ノ件	四九九
一二	四四一	九月二日	米公信 三一八	在墨国伊藤臨時代理公使ヨリ 内田外務大臣宛	墨国適法ノ大統領ト自称シ居リタル Robles Dominguez ヲ政府軍逮捕ノ 件	四九九
一五	六九〇	九月二日	六二	在波蘭国川上公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	カラハントノ第二回會見ニ於テ日露 國交回復ノ交渉ヲワルソーニ於テ開 始シ度旨申出デタルニ付請訓ノ件	七〇七

一五 六九一 九月二日 六三 在波蘭国川上公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

カラハントノ第二回会見ノ際労働政
府ノ内政外交ニ関シ質問シタルニ対
スル同人ノ回答要領報告ノ件……………七〇八

一九 八七七 九月二日 八 内田外務大臣ヨリ
松島政務部長(大連出張中)
宛(電報)

ゴンゴダ協定ノ性質及チタ政府トノ
大連交渉ノ性格ニ関シ訓示ノ件……………九二四

六 二七七 九月三日 通総機一
内田外務大臣ヨリ
在西国広沢公使宛

日葡通商航海条約締結交渉再開ノ希
望ヲ葡国政府ヘ申入方訓令ノ件……………二九六

附記 日葡通商条約改訂交渉問題調査……………二九六

八 三三六 九月三日 機公一七
在オタワ清水総領事ヨリ
内田外務大臣宛

加奈陀ニ於ケル日本人ノ権利及自由
ニ対スル差別的制限ニ関シ報告ノ件……………三七三

附屬書 右ニ関スル調査……………三七三

八 三三七 九月三日 公一二二
在オタワ清水総領事ヨリ
内田外務大臣宛

加奈陀労働大会ニ於テ入国移民禁止
方政府ニ建議ヲ決定セル旨報告ノ件……………三八三

附屬書 右報告……………三八三

一五 六九二 九月三日 二二
内田外務大臣ヨリ
在波蘭国川上公使宛(電報)

労働政府トノ交渉問題ニ関スル中央
ノ方針指示ノ件……………七〇九

一九 八七八 九月三日 合六
松島政務部長(大連出張中)
内田外務大臣宛(電報)

大連會議第五回會議ニ於テペトロフ
ト今次交渉ノ目的及交渉進行方法等……………九二四

一六 七三八 九月四日 四三二
在浦潮永井政務部長代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

日本政府ト極東共和国政府トノ大連
會議ニ関シ沿黒竜州政府ヨリ抗議ノ……………七六五

一九 八七九 九月四日 合七
松島政務部長(大連出張中)
内田外務大臣宛(電報)

大連會議第六回會議ニ於テペトロフ
ヨリ兩國親善關係樹立並日本及労働
露国間關係等ニ付協議ヲ提案ノ件……………九二六

五 二六四 九月五日 九〇
内田外務大臣ヨリ
在桑港矢田総領事宛(電報)

渋沢子爵渡米未定ノ件……………二八七

一九 八八〇 九月五日 合八
松島政務部長(大連出張中)
内田外務大臣宛(電報)

ペトロフガ日本国及極東共和国間親
善關係樹立ノ宣言主張ノ場合ニ対ス……………九二七

四 二三九 九月六日 公二二〇
在シアトル斎藤領事ヨリ
内田外務大臣宛

華州排外土地法試訴判決要領訳文送
付ノ件……………二五八

附記 十二月十七日附米国西北部連絡日本人会ヨリ外務省宛書信……………二五八

華州土地法試訴経過報告……………二五八

六 二八〇 九月六日 三〇
内田外務大臣ヨリ
在西国広沢公使宛(電報)

日葡通商条約締結交渉再開方ニ関シ
通報ノ件……………三〇三

一九 八八一 九月六日 九
内田外務大臣ヨリ
松島政務部長(大連出張中)
宛(電報)

日本国及極東共和国間親善關係樹立
ノ宣言提議並交渉ノ進行方ニ関シ回……………九二七

一九 八八二 九月六日 合九
松島政務部長(大連出張中)
内田外務大臣宛(電報)

大連會議第七回會議ニ於テペトロフ
協約案ヲ提出ノ件……………九二八

一九 八八三 九月六日 合一〇
松島政務部長(大連出張中)
内田外務大臣宛(電報)

大連會議ニ於テペトロフ提議ノ協約
案報告ノ件……………九二八

二 一七〇 九月七日 三二一
在桑港矢田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

人頭税問題ニ関スル裁判加州大審院
ニ於テ開始セラレタル件……………一八三

二 一七一 九月七日 三二二
在桑港矢田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

人頭税訴訟弁護料支払費用電送方稟
請ノ件……………一八三

一六 七三九 九月七日 新聞報
在浦潮弘報部長ヨリ
松島政務部長(大連出張中)
宛(電報)

大連會議ニ関スル浦潮新聞ノ諸報道
通報ノ件……………七六五

一六 七四〇 九月七日 一二九 内田外務大臣ヨリ
在浦潮渡辺総領事代理宛(電報)
メルクローフ政權が濠洲人ニ蘇城炭
鉦採掘權等許与ノ問題ニ付事案内探
方訓令ノ件……………七六六

一九 八八四 九月七日 合一 松島政務部長(大連出張中)
ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
ペトロフ提出ノ協約案ニ対スル日本
側ノ修正案ニ付請訓ノ件……………九三二

別電 同日松島政務部長発内田外務大臣宛電報合第二二号
右日本側ノ修正案……………九三二

一九 八八五 九月七日 一〇 内田外務大臣ヨリ
松島政務部長(大連出張中)
宛(電報)
島田領事ニ大連出張ヲ命ジタル旨通
知ノ件……………九三四

一九 八八六 九月七日 九 松島政務部長(大連出張中)
ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
張作霖ガチタ交渉ニ関シ日本ト同一
歩調ヲ採リ度旨本庄大佐ニ語リタル
趣ニ付請訓ノ件……………九三四

一九 八八七 九月七日 機密六八 在浦潮渡辺総領事代理ヨリ
内田外務大臣宛
浦潮日本商工會議所ノ「日露協約ニ
対スル希望案項」進達ノ件……………九三四

一九 八八八 九月七日 機密六九 在浦潮渡辺総領事代理ヨリ
内田外務大臣宛
日本政府及チタ政權間交渉開始ニ関
聯シ浦潮居留民会ヨリ提出ノ請願書
進達ノ件……………九三五

附屬書 右請願書……………九三六

一九 八八九 九月八日 一二一 内田外務大臣ヨリ
在浦潮渡辺総領事代理宛(電報)
東方經濟調查会ノ希望案項ハ公表セ
シメザル様回訓ノ件……………九三九

一九 八九〇 九月八日 合二三 松島政務部長(大連出張中)
ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
大連會議第八回會議ニ於テチタ側ノ
事前承諾ヲ要スル六項目ヲ提言ノ件……………九三九

一六 七四一 九月九日 一二 松島政務部長(大連出張中)
ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
チタ政府首相代理ペトロフヨリ某日
本人ノメルクローフ政權ヘノ貸付ニ
付抗議アリタル件……………七六六

一九 八九一 九月九日 合二四 松島政務部長(大連出張中)
ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
大連會議第九回會議ニ於テチタ政府
ニ依ル日本人ノ既得權尊重協約中ニ
片務の条項挿入及出入国居住營業ノ
自由等審議ノ件……………九四一

一九 八九二 九月九日 浦參特
六〇 浦潮派遣軍參謀長ヨリ
陸軍次官宛(電報)
大連會議ニ於ケルチタ側提案ニ対ス
ル軍ノ意見ヲ松島ニ指示シタル件……………九四二

一六 七四二 九月十日 四三六 在浦潮永井政務部長代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
メルクローフ政權ヘノ日本商人ノ借
款提供問題ハ我陸軍ノ反対ニ依リ不
調トナリタル件……………七六六

一九 八九三 九月十日 合一五 松島政務部長(大連出張中)
ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
大連會議第十回會議ニ於テ黒竜江航
行權沿岸貿易土地所有權勞農露国ノ
會議参加日本ノ撤兵ノ諸問題討議ノ
模様報告及請訓ノ件……………九四三

一九 八九四 九月十日 関八〇 関東軍參謀長ヨリ
陸軍次官宛(電報)
チタ側ヨリ中国ニ交渉再開ヲ提議ノ
場合ニ対スル張作霖ノ態度ニ付報告
ノ件……………九四六

一五 六九三 九月十一日 六五 在波蘭国川上公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
日露国交回復交渉開始方ニ関スルカ
ラハンノ申出ニ付再請訓ノ件……………七二〇

一一 一〇四三 九月十一日 公四五 鈴木通訳官ヨリ
内田外務大臣宛
薩哈連州占領地施政ニ関スル浦潮露
字新聞記事訳文送附ノ件……………一一〇六

附屬書 右訳文……………一一〇六

二 八〇 九月十二日 三二四 在桑港矢田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
收穫契約ニ関シ在米日本人会訴訟提
起ヲ決シ其費用ノ一部補助ヲ詮議方
稟請ノ件……………一二六

五	二六五	九月十二日	九四	内田外務大臣ヨリ 在桑港矢田総領事宛(電報)	渋沢子爵渡米決定ノ件……………	二八七
一六	七四三	九月十二日	一一〇	内田外務大臣ヨリ 在上海山崎総領事宛(電報)	セミヨノフノ上海亡命ニ付通報ノ 件……………	七六七
一九	八九五	九月十二日	一四	内田外務大臣ヨリ 松島政務部長(大連出張中) 宛(電報)	大連會議ノ内容ニ関シ張作霖側ヨリ 質問アリタル場合ノ応答振ニ付回訓 ノ件……………	九四六
一九	八九六	九月十二日	合二六	松島政務部長(大連出張中) ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	大連會議第十一回會議ニ於テ尼港事 件ノ取扱方等ニ付協議及會議ノ暫時 中止ヲ決定ノ件……………	九四六
			別電	同日松島政務部長發内田外務大臣宛電報合第一七号	大連會議暫時休止ノ旨新聞發表ノ件	九四八

一九	八九七	九月十二日	一二	松島政務部長(大連出張中) ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	大連會議我方代表ノ対政府請訓ニ対 シ速ニ回訓セシメタキ件……………	九四八
二	一七二	九月十三日	三二五	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	人頭税法ハ日米条約ニ違反シ無効ナ リトノ判決アリタル件……………	一八三
八	三三八	九月十三日	三一	在ヴァンクーヴァー斎藤領事 ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	B.C.州閣令確認法訴訟ニ関スル弁 護費用補助方並同法ノ効力試験対策 ニ付請訓ノ件……………	三八四
八	三三九	九月十三日	三二	在ヴァンクーヴァー斎藤領事 ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	B.C.州閣令確認法訴訟ニ関スル弁 護士依頼ニ付追報ノ件……………	三八五
一三	六四九	九月十三日	東宮職 庶七三八	浜尾東宮大夫ヨリ 内田外務大臣宛	皇太子殿下御帰朝ニ付祝詞言上ニ対 シ回電方依頼ノ件……………	六五〇

一五	六九四	九月十三日	欧一機密 二二	内田外務大臣ヨリ 松島政務部長(大連出張中) 宛	大正九年四月労働政府極東代表者ヨ リ提出ノ労働政府口上書訳文送付ノ 件……………	七一〇
----	-----	-------	------------	--------------------------------	--	-----

附屬書 右訳文……………

七一〇

一六	七四四	九月十三日	一五	内田外務大臣ヨリ 松島政務部長(大連出張中) 宛(電報)	沿海州沿岸航行中ノ船舶ヨリ物資押 収ヲ行フオリガ政治団ノ行動ニ付チ タ政府側ト折衝方訓電ノ件……………	七六七
二二	一〇四四	九月十三日	陸送西発 九〇五	尾野陸軍次官ヨリ 植原外務次官宛	薩哈噠ニ於ケル露国人電報取扱ニ関 スル件……………	一一四
二二	一〇四五	九月十三日		閣議決定	冬期勘察加警備ニ関スル件……………	一一四
一〇	三八四	九月十四日	公一〇七	在里馬森領事ヨリ 内田外務大臣宛	樂洋丸搭乗契約移民来着表進達ノ件……………	四四八
			附屬書	海外興業株式会社扱契約移民到着表	……………	四四九

一六	七四五	九月十四日	合二八一	内田外務大臣ヨリ 松島政務部長(大連出張中) 在ベトロバウロフ スク山口領事	浦潮メルクローフ政權ノ勘察加派遣 隊計画実行ニ付通報ノ件……………	七六八
一六	七四六	九月十四日	四三七	在浦潮永井政務部長代理ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	郡司副領事ヨリチタ政府ハ大連會議 不調ノ際バルチザンヲシテ日本軍ヲ 攻撃セシメントストノ情報報告ノ件……………	七六八
一九	八九八	九月十四日	一六	内田外務大臣ヨリ 松島政務部長(大連出張中) 宛(電報)	チタ側提案ニ対スル我方対案發送ノ 時期ニ付通報ノ件……………	九四八
二	一七三	九月十五日	三三〇	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	人頭税問題我方ノ勝訴ニ帰シタルニ 付在米日会ニテハ借地權禁止違憲ノ 訴訟ヲモ檢討中ノ旨並州大審院判決 ニ対スル社説等報告ノ件……………	一八四

一六 七四七 九月十五日 四三九 在浦潮永井政務部長代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

浦潮政府新首相ガ国民会議ニ於テ発表セル宣言書中極東共和国及大連會議ニ関スル部分報告ノ件……………七六九

一六 七四八 九月十五日 一七 松島政務部長(大連出張中)
内田外務大臣宛(電報)

沿海州沿岸航行船舶ヨリ物資押収ヲ行フオリガ団ノ行動ニ付チタ政府側トノ交渉結果報告ノ件……………七七〇

一六 七四九 九月十五日 四四〇 在浦潮永井政務部長代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

セミヨールノフノ上海亡命ニ付同人及我軍間ノ取極並セミヨールノ軍隊ノ後始末ニ関スル件……………七七二

一九 八九九 九月十五日 機密七三 在浦潮渡辺総領事代理ヨリ
内田外務大臣宛

大連會議ニ関スル極東日本記者大会ノ決議案ニ付報告ノ件……………九四九

二 八一 九月十六日 九六 在桑港矢田總領事宛(電報)

取獲契約ノ訴訟費用其他ニ関シ問合ノ件……………一二六

八 三四〇 九月十六日 一六 内田外務大臣ヨリ
在ヴァンクラーヴァー斎藤領事宛(電報)

B.C.州閣令確認訴訟ノ弁護費用補助額及材木業者ノ訴訟費用ニ付問合ノ件……………三八五

二二 四四二 九月十六日 一〇六 在墨国伊藤臨時代理公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

米国石油会社代表者ト墨国政府トノ交渉ハ満足ニ結了セル由ニ付報告ノ件……………五〇〇

一五 六九五 九月十六日 一八 内田外務大臣ヨリ
松島政務部長(大連出張中)
宛(電報)

カラハンヨリ在波蘭国川上公使ニ対シ日露国交回復交渉開始方ヲ申出デタル旨通報ノ件……………七二二

一五 六九六 九月十六日 一九 内田外務大臣ヨリ
松島政務部長(大連出張中)
宛(電報)

カラハンガ川上公使トノ会見ノ際語リタル労働政府ノ内政外交ノ方針ニ付通報ノ件……………七二二

一九 九〇〇 九月十六日 四四三 在浦潮永井政務部長代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

大連會議ニ関シ極東日本記者団大会ニ於テ希望条項ヲ決議スル予定ノ旨ニ付報告ノ件……………九五〇

二〇 九八六 九月十六日 二〇 内田外務大臣ヨリ
松島政務部長(大連出張中)
宛(電報)

チタニ於ケル米人ノ活動等チタト米國トノ關係探知方訓令ノ件……………一〇四四

二 八二 九月十七日 三三一 在桑港矢田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

取獲契約訴訟ニ要スル費用等ニ関シ回答ノ件……………一二六

二 八三 九月十七日 一一〇 在ロス・アンゼルス大山領事
内田外務大臣宛(電報)

取獲契約ノ有効性ニ関スル提訴ニ先立チ土地法ノ違憲性ニ関スル提訴ヲ行フ順当トスベキ旨ノ中央日会ノ意見報告ノ件……………一二七

一九 九〇一 九月十七日 欧一密合
二〇一 在内外務大臣ヨリ
在中国小幡公使
在浦潮永井政務部長代宛各通
理

大連會議ニ対スル日本ノ態度ヲ英米兩國政府ニ通牒シタルニ付同通牒ノ趣旨通報ノ件……………九五〇

一九 九〇二 九月十七日 合一八 松島政務部長(大連出張中)
内田外務大臣宛(電報)

日本並極東共和国及労働政府ノ三國代表者會議ヲ開催シタキ旨労働政府外相ヨリ申出ノ件……………九五二

二〇 九八七 九月十八日 一九 松島政務部長(大連出張中)
内田外務大臣宛(電報)

チタ側ト米人側トノ接触ノ状況ニ付回電ノ件……………一〇四四

三 二一四 九月十九日 六一五 在米国幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

加州問題交渉開始ノ時期ニ関スル國務長官トノ会谈内容報告並本問題ノ取扱振ニ付意見稟申及請訓ノ件……………二三五

二 八四 九月二十日 九九 内田外務大臣ヨリ
在桑港矢田總領事宛(電報)

取獲契約ノ土地法違反ナリヤ否ヤノ訴訟提起以前土地法又ハ借地禁止ノ違憲性ヲ争フ方理論的ナルニ付再応考究方回訓ノ件……………一二八

一九 九〇三 九月二十日 二二 内田外務大臣ヨリ
松島政務部長(大連出張中)
宛(電報)

極東共和国提出ノ協約案ニ対スル我方対案ヲ先方ニ提示方及協約取極方ニ付訓令ノ件……………九五二

別電一 同日内田外務大臣発松島政務部長宛電報第二三三号

右我方対案中松島票申案ト異ナル点ニ付説明ノ件……………九五四

二 同右電報第二四号……………九五五

右我方対案

一九 九〇四 九月二十日 在浦潮渡辺総領事代理ヨリ……………九五八
内田外務大臣宛

大連会商ニ関スル浦潮国民議会議決議
及浦潮カザック代表者會議宣言概訳
送付ノ件……………九五八

附屬書一 浦潮国民議会議決議文摘訳……………九五八

二 浦潮カザック代表者會議宣言概訳……………九五九

二〇 九八八 九月二十日 在ハルビン丸田総領事代理ヨリ……………一〇四四
松島政務部長（大連出張中）
宛（電報）

二 八五 九月二十一日 在桑港矢田総領事代理ヨリ……………一二八
内田外務大臣宛（電報）

一四 六七四 九月二十一日 一〇四〇 在英國永井臨時代理大使ヨリ……………六九二
内田外務大臣宛（電報）

一五 六九七 九月二十一日 二三 在波蘭国川上公使宛（電報）……………七二三
内田外務大臣ヨリ

二〇 九八八 九月二十一日 合二九八 内田外務大臣ヨリ……………一〇四五
松島政務部長（大連出張中）
等宛（電報）

二〇 九九〇 九月二十一日 三七五 在紐育熊崎總領事ヨリ……………一〇四五
内田外務大臣宛（電報）

二 八六 九月二十三日 在桑港矢田総領事ヨリ……………一三〇
内田外務大臣宛（電報）

一五 六九八 九月二十三日 七九 在波蘭国川上公使ヨリ……………七二三
内田外務大臣宛（電報）

一六 七五〇 九月二十三日 一九二 在浦潮渡辺総領事代理ヨリ……………七七一
内田外務大臣宛（電報）

一七 七六九 九月二十三日 機密八三 在浦潮渡辺総領事代理ヨリ……………七八七
内田外務大臣宛

附屬書 九月二十二日附日本居留民會頭ヨリ渡辺總領事代理宛陳情

書写……………七九〇

二 八七 九月二十四日 三四一 在桑港矢田総領事ヨリ……………一三一
内田外務大臣宛（電報）

八 三四一 九月二十四日 三三 在ヴァンクローヴァー齋藤領事……………三八六
ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

一九 九〇五 九月二十四日 西三〇三 尾野陸軍次官ヨリ……………九六〇
浦潮派遣軍參謀長宛（電報）

一九 九〇六 九月二十四日 極東日本記者大会ヨリ……………九六〇
内田外務大臣宛（電報）

一九 九〇七 九月二十六日 合二一 松島政務部長（大連出張中）……………九六一
ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

別電 同日松島政務部長発内田外務大臣宛電報第二二号

会議地ヲチタニ移転シ度旨ノチタ側提案ニ付請訓ノ件……………九六三

一六 七五一 九月二十七日 四四八 在浦潮永井政務部長代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………七七二

二 八八 九月二十八日 一〇二 内田外務大臣ヨリ
在桑港矢田総領事宛(電報)……………一三一

二 八九 九月二十八日 公二四〇 在ロス・アンゼルス大山領事
ヨリ内田外務大臣宛……………一三二

一九 九〇八 九月二十八日 合二三 松島政務部長(大連出張中)
ヨリ内田外務大臣宛(電報)……………九六四

一九 九〇九 九月二十八日 浦参特
七二 浦潮派遣軍参謀長ヨリ
尾野陸軍次官宛(電報)……………九六四

二 九〇 九月二十九日 一二四 在ロス・アンゼルス大山領事
ヨリ内田外務大臣宛(電報)……………一三三

一九 九一〇 九月二十九日 合二四 松島政務部長(大連出張中)
ヨリ内田外務大臣宛(電報)……………九六六

一六 七五二 九月三十日 四五六 在浦潮永井政務部長代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………七七三

一六 七五三 九月三十日 二四 松島政務部長(大連出張中)
ヨリ内田外務大臣宛(電報)……………七七三

一九 九一一 九月三十日 二九 内田外務大臣ヨリ
松島政務部長(大連出張中)
宛(電報)……………九六七

一九 九一二 九月三十日 四五六 在浦潮永井政務部長代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………九六七

一九 九一三 九月三十日 機密三 松島政務部長(大連出張中)
ヨリ内田外務大臣宛……………九六八

十月

五 二六六 十月一日 三四九 在桑港矢田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………二八八

一九 九一四 十月二日 合二五 松島政務部長(大連出張中)
ヨリ内田外務大臣宛(電報)……………九六九

一九 九一五 十月三日 二一六 在ハルビン丸田総領事代理
ヨリ内田外務大臣宛(電報)……………九六九

二 九一 十月四日 三五三 在桑港矢田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………一三三

五 二六七 十月四日 三五二 在桑港矢田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………二八八

八	三四二	十月四日	三六	在ヴァンクーヴァー斎藤領事 ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	B・C・州閣令確認法問題裁判開始期 日ニ関スルノ件……………三八七
一九	九一六	十月四日	三〇	内田外務大臣ヨリ 松島政務部長(大連出張中) 宛(電報)	撤兵要塞撤廃會議地変更等ノ問題ニ 付我方ノ態度ヲベトロフニ説示スル 様回訓ノ件……………九七〇
九	三七五	十月五日	一〇二	在シドニー玉木総領事代理 ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	濠洲ニ於ケルノイスクリッフ卿ノ排 日の意見発表ニ関スル件……………四三九
九	三七六	十月五日	一〇三	在シドニー玉木総領事代理 ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	プリズベンニ於ケルノイスクリッフ 卿ノ排日演説大要報告ノ件……………四三九
一九	九一七	十月六日	二五	松島政務部長(大連出張中) ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	大連會議ニ對スル極東共和国代表者 変更ノ可能性ニ付報告ノ件……………九七一
一九	九一八	十月六日	合二六	松島政務部長(大連出張中) ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	撤兵會議地變更及尼港事件取扱方ノ 問題ニ関シベトロフトノ折衝經過報 告並請訓ノ件……………九七一
二	九二	十月八日	一一五	在ロス・アンゼルス大山領事 ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	桑港ニ於テ借地訴訟提起ヲ南加側承 諾ニ付本件ハ在米及南加兩日会ノ名 ニ依リ行動セシムルコトト致度旨矢 田総領事ニ要請シタル件……………一三三
一九	九一九	十月八日	三一	内田外務大臣ヨリ 松島政務部長(大連出張中) 宛(電報)	尼港事件解決ニ付チタ側ノ申出アル 場合ノ措置振回訓ノ件……………九七四
一九	九二〇	十月八日	六七二	在中国小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	極東共和国外相ユーリンノ北京滞在 中ノ動靜報告ノ件……………九七四
五	二六八	十月九日	三八	在ヴァンクーヴァー斎藤領事 ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	在ヴィクトリア加奈陀俱樂部會長ヨ リ渋沢子爵招待轉達方依頼越シタル 件……………二八八
五	二六九	十月九日	三五七	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	フィーラン氏本邦視察ニ際シ同氏ニ 對スル接遇振ニ関スル件……………二八九
一九	九二一	十月九日	二二〇	在ハルビン九田総領事代理 ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	極東共和国外相ユーリンガ大連會議 等ニ関シタル通信員ニ對シ為セル 談話報告ノ件……………九七四
一九	九二二	十月十日	合二七	松島政務部長(大連出張中) ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ペトロフヨリ會議地ノ滿洲里移転及 勞農政府ノ會議參加問題並サガレン 州ニ於ケル施政ニ関シ申出デタル付 請訓ノ件……………九七五
二	九三	十月十一日	三六〇	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	在米日会及南加日会間ノ協力ニ付南 加側執成方大山領事ニ要請ノ件……………一三四
五	二七〇	十月十一日	二〇	内田外務大臣ヨリ 在ヴァンクーヴァー斎藤領事 宛(電報)	加奈陀俱樂部ノ招待ニハ応シ難キ旨 渋沢子回答ノ件……………二八九
五	二七一	十月十一日	二五九	在桑港矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	フィーラン氏ノ訪日ニ際シ同氏ニ對 スル新聞紙等ノ取扱方ニ付其向ニ注 意セラレ度件……………二八九
八	三四三	十月十一日	公二八二	在ヴァンクーヴァー斎藤領事 ヨリ 内田外務大臣宛	B・C・州ニ於テ排日雜誌発刊ニ関ス ル件……………三八七
一三	六五〇	十月十一日	人普通合 四四四	内田外務大臣ヨリ 在英仏白伊各國大使在蘭国公 使在香港新嘉坡各總領事 買坡土西馬耳塞アンヴェル 各領事宛	皇太子殿下御帰朝ニ際シ宮内大臣ヨ リ謝意伝達方依頼ニ関スル件……………六五〇

一七	七七〇	十月十一日	四六〇	在蒲潮永井政務部長代理ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	联合国鉄道委員会ノスチーヴンス技 術部長婦米ニ付報告ノ件……………七九二
一四	六七五	十月十二日	一〇八一	在英国林大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	近東、印度、波斯等ニ於ケル勞農政 府ノ反英活動ニ関スル英國政府ノ抗 議ニ對シ勞農政府回答ノ件……………六九三
一四	六七六	十月十二日	七六	在波蘭国川上公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	勞農露國ノ内情ニ関スル上田書記官 報告電報ノ件……………六九三
二	九四	十月十三日	三六二	在桑港矢田總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	在米日会及南加日会間意思疏通ノ為 滄本書記長ヲ羅府ニ派遣スルニ付援 助依頼ノ件……………一三五
八	三四四	十月十三日	七八	在オタワ清水總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	B.C.州閣令確認訴訟ニ関スル加 奈陀大審院ノ審議模様報告ノ件……………三八八
八	三四五	十月十三日	公二八五	在ヴァンクーヴァー齋藤領事 ヨリ 内田外務大臣宛	晚香坡商業會議所ノ東洋人移民問題 討議及決議ニ関スル議事摘録送付ノ 件……………三八九
				附屬書 右議事摘録……………三九〇	
一九	九二三	十月十三日	三四	内田外務大臣ヨリ 松島政務部長(大連出張中) 宛(電報)	會議地ノ滿州里移転及勞農政府ノ會 議參加問題ニ関スルベトロフノ申出 ニ對スル回答振回訓ノ件……………九七六
一四	六七七	十月十四日	一〇八八	在英国林大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	英露通商協定ガ当初ノ期待ニ反シ全 然失敗ニ歸シタリトホーン蔵相ノ 演說ニ付報告ノ件……………六九五
一九	九二四	十月十四日	合二八	松島政務部長(大連出張中) ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	會議地移転問題ニ関スルベトロフノ 申出ニ對シ島田ヲシテ回答セシメタ ル際ノ會談ノ模様報告ノ件……………九七七
二〇	九九一	十月十四日	六七四	在中国小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	華府會議ニ參加ノ為極東共和国代表 者ノ非公式渡米ニ関シ新聞通信員内 話ノ件……………一〇四六

二一	一〇四六	十月十四日	欧一機密 一三〇	壇原外務次官ヨリ 尾野陸軍次官宛	薩哈噠軍ニ於ケル露國人電報取扱ニ 関シ回答ノ件……………一一一五
八	三四六	十月十五日	公二八七	在ヴァンクーヴァー齋藤領事 ヨリ 内田外務大臣宛	B.C.州排日雜誌第二号ノ記事要点 及発行者ノ人物ニ付報告ノ件……………三九四
一四	六七八	十月十五日	八二	在波蘭国川上公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	勞農露國ノ国内情勢ニ関スル露國避 難者ノ談話上田書記官ヨリ報告ノ件……………六九六
一九	九二五	十月十五日	合二九	松島政務部長(大連出張中) ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	大連第十三回會議ニ於テ會議地ハ差 當リ大連繼續ニ決定ノ件……………九七八
一九	九二六	十月十六日	五一八	内田外務大臣ヨリ 在米國幣原大使宛(電報)	大連會議其後ノ経過及チタ政權ト浦 潮政權トノ關係ニ付通報ノ件……………九七八
一九	九二七	十月十六日	合三〇	松島政務部長(大連出張中) ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	大連第十三回會議地移転勞農代表者 參加問題討議ノ状況報告ノ件……………九七九
一四	六七九	十月十七日	三一	在瑞典国畑公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	英國ノ對露策ニ関スルラデック談二 瓶書記官ヨリ報告ノ件……………六九八
一九	九二八	十月十七日	合三一	松島政務部長(大連出張中) ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	大連會議本會議ト併行シ勞農代表參 加ノ漁業協約改訂委員會開催方ニ付 ベトロフ懇望ノ件……………九八一
二	九五	十月十八日	二八	在ロス・アンゼルス大山領事 ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	借地試訴ヲ南加側ニ於テ羅府裁判所 ニ提起ノコトトナリタル件……………一三五
三	二一五	十月十八日	五二五	内田外務大臣ヨリ 在米國幣原大使宛(電報)	移民問題ヲ放置シテ華府會議ニ臨ム ハ我方ノ好マザル所ナルニ付右會議 前米國側ガ我方ニ或種ノ保証ヲ与フ ルカ又ハ新交渉ノ場合ハ大体ノ腹案 ヲ承知シ度旨申入方訓令ノ件……………二三七

一六	七五四	十月十八日	四六三	在蒲潮永井政務部長代理ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	マルク・クロフ政権顛覆企図ニ付報告 ノ件	七七四
二	九六	十月十九日	公二六八	在ロス・アンゼルス大山領事 ヨリ 内田外務大臣宛	加州土地法借地試訴起訴状写送付ノ 件	一三五
一四	六八〇	十月十九日	八六	在波蘭国川上公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	リガ地方内外諸人士ノ意見ニ依レバ 露国労働政府ハ早晚倒ルベシトノコ トナル旨上田ヨリ報告ノ件	六九八
一九	九二九	十月十九日	合三三	松島政務部長(大連出張中) ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	大連會議ニ於テ近ク暫定通商協約及 軍事協定締結ノコトトシ右締結前ニ 労働代表参加ノ漁業委員会ヲ組織シ 度トペトロフ島田ニ談話ノ件	九八一
二二	一〇四七	十月十九日	公五三	鈴木通訳官ヨリ 内田外務大臣宛	アレクサンドロフスク及デルビンス コエ間輕便鐵道開通ノ件	一一一五
二二	一〇四八	十月十九日	公五五	鈴木通訳官ヨリ 内田外務大臣宛	附屬書 右開通ノ概況	一一一六
一九	九三〇	十月二十日	合三四	松島政務部長(大連出張中) ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	極東共和国ガ輸入ヲ希望スル品目及 其代金支払法等ニ関スルペトロフノ 見解報告ノ件	九八三
二〇	九九二	十月二十日	二二九	在ハルビン九田総領事代理 ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	極東共和国ノ外務次官其他華府會議 ニ出席ノ為ハルビン發渡米ノ途ニ就 ケル旨報告ノ件	一〇四七
六	二八一	十月二十一日	七四	在西国広沢公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	葡国首都ニ革命起リ政情渾沌ニ付条 約締結交渉再開ハ急ニ行ハレザル旨 報告ノ件	三〇三
一九	九三一	十月二十二日	三八	内田外務大臣ヨリ 松島政務部長(大連出張中) 宛(電報)	協約成立前労働政府代表者ノ會議參 加ハ好マシカラザル旨回示ノ件	九八三
二〇	九九三	十月二十二日	六八七	在中國小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	神戸駐在米國領事カルドウェルノチ タ出張ニ関スル件	一〇四七
二二	一〇四九	十月二十二日	薩參謀 一〇	薩哈連州派遣軍參謀長ヨリ 參謀次長宛(電報)	ウドスキー郡長プロカペンコ自発的 ニマリンスク退去ノ件	一一二二
八	三四七	十月二十四日	機一五	在ヴァンクワアー斎藤領事 ヨリ 内田外務大臣宛	B.C.州閣令確認法訴訟ニ関シ日本 人会幹事宛同會囑託弁護士來輪写送 付ノ件	三九五
一九	九三二	十月二十四日	合三五	松島政務部長(大連出張中) ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	労働政府ガ其代表者参加ノ漁業委員 會組織ヲ欲スルハ日本ト事實的交渉 ヲ熱望スルガ為ナル旨ペトロフ島田 ニ内話ノ件	九八三
二二	一〇五〇	十月二十四日	薩參謀 一一	薩哈連州派遣軍參謀長ヨリ 陸軍次官宛(電報)	プロカペンコノマリンスク退去動機 ニ関シ報告ノ件	一一二二
五	二七二	十月二十五日	六三	在ホノルル矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	渋沢子一行ノ為米人商業會議所主催 ノ晚餐會催サレタル件	二八九
一四	六八一	十月二十五日	一一一五	在英國林大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	英露通商協定ノ成果ニ関シ英國議會 ニ於テ質疑応答ノ件	六九九
一九	九三三	十月二十五日		閣議決定	日本国及極東共和国間ノ軍事事項細 部ノ協定案及日本軍撤去ニ関スル協 定案	九八四
一九	九三四	十月二十五日		山梨陸軍大臣ヨリ 立花浦潮派遣軍司令官宛(電 報)	浦潮派遣軍ノ撤去ニ関シ内訓ノ件	九八六

二 九七 十月二十七日 公二七九 在ロス・アンゼルス大山領事
付ノ件 加州土地法借地試訴起訴状ノ邦訳送……………一三六

附屬書 右起訴状邦訳……………一三六

八 三四八 十月二十八日 公二九六 在ヴァンクーヴァー斎藤領事
B.C.州議會ニ提出ノ日英通商条約
廃棄及移民法改訂兩議案ニ關スル新……………三九六
聞切拔送付ノ件

八 三四九 十月二十九日 公二九七 在ヴァンクーヴァー斎藤領事
付ノ件 B.C.州排日雜誌第三号及第四号送……………三九九

八 三五〇 十月二十九日 四二 在ヴァンクーヴァー斎藤領事
日英通商条約終了及アジア人移民絶
對禁止ノ為ノ移民法改訂ノ兩決議案……………三九九
州議會ニ提出ノ件

八 三五一 十月二十九日 二五 内田外務大臣ヨリ
B.C.州議會ニ提出ノ日英同盟終了
及アジア人排除移民法案ニ付回電方……………四〇〇
訓令ノ件

一九 九三五 十月二十九日 四二 内田外務大臣ヨリ
庫倫ニ於テ露国軍隊ニ捕ヘラレタル
同文会特派員小西茂ノ救出方ニ付訓……………九八六
令ノ件

二 九八 十月三十日 一二四 在ロス・アンゼルス大山領事
加州土地法借地試訴ハ桑港ニ移シ収
獲契約試訴ト同時ニ裁判開始ノコト……………一四〇
ニ内定ノ件

一九 九三六 十月三十日 合三七 松島政務部長（大連出張中）
日本国及極東共和国間軍事協定並漁
業協定問題等ニ關シベトロフ島田ニ……………九八六
談話ノ件

内田外務大臣宛（電報）

十一月

八 三五二 十一月一日 四三 在ヴァンクーヴァー斎藤領事
日英同盟終了等ニ關シ法案トアルハ……………四〇〇
決議案ノ誤伝ナル件

一四 六八二 十一月二日 一五六八 在仏国石井大使ヨリ
露国労働政府ノ正式承認ヲ条件トシ
テ旧債務支払ヲ承諾セントノ申出ニ……………七〇〇
關スル仏国新聞論調報告ノ件

一七 七七一 十一月二日 一三 在ハルビン丸田総領事代理
日本軍ノ西比利亞撤兵問題ニ關スル……………七九三
ハルビン露字紙ノ論調報告ノ件

二〇 九九四 十一月二日 浦参特
滿洲里特務機關ニ依ルチタ政府ノ内……………一〇四七
外政策觀電報ノ件

八 三三三 十一月三日 四四 在ヴァンクーヴァー斎藤領事
B.C.州議會ニ提出ノ日英通商条約
終了及移民法改訂兩決議案通過ニ關……………四〇〇
シ報告ノ件

八 三五四 十一月三日 公三〇四 在ヴァンクーヴァー斎藤領事
終了及移民法改訂兩決議案通過ニ關……………四〇一
スル新聞切拔送付ノ件

一九 九三七 十一月三日 三二 松島政務部長（大連出張中）
漁業問題ニ關スル労働代表者來連ニ
付同人ヲ外交代表者トシテ待遇方ベ……………九八八
トロフヨリ依頼越シタルニ付請訓ノ件

三 二一六 十一月 四日 三八七 在桑港矢田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 二三八

二 四四三 十一月 四日 一二六 在ロス・アンゼルス大山領事
ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 五〇〇

二〇 九九五 十一月 四日 四四 内田外務大臣ヨリ
松島政務部長(大連出張中)
宛(電報) 一〇四八

二 九九 十一月 五日 公二九二 在ロス・アンゼルス大山領事
ヨリ
内田外務大臣宛 一四〇

附屬書 右費用予算書

六 二八二 十一月 七日 七八 在西国広沢公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 三〇四

一九 九三八 十一月 七日 合四三 松島政務部長(大連出張中)
ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 九八八

二 四四四 十一月 八日 一二二 在墨国伊藤臨時代理公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 五〇〇

六 二八三 十一月 九日 七九 在西国広沢公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 三〇四

一九 九三九 十一月 九日 四七 内田外務大臣ヨリ
松島政務部長(大連出張中)
宛(電報) 九八九

一九 九四〇 十一月 九日 四八 内田外務大臣ヨリ
松島政務部長(大連出張中)
宛(電報) 九九〇

一六 七五五 十一月 十日 機密
一三四 在天津船津総領事ヨリ
内田外務大臣宛 七七四

一九 九四一 十一月 十日 三六 松島政務部長(大連出張中)
ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 九九〇

二 一〇五一 十一月 十一日 公五九 北川書記生ヨリ
内田外務大臣宛 一一二二

附屬書 右反駁書

一九 九四二 十一月 十二日 四九 内田外務大臣ヨリ
松島政務部長(大連出張中)
宛(電報) 九九一

別 電 同日内田外務大臣宛松島政務部長宛電報第五〇号

一九 九四三 十一月 十三日 合四四 松島政務部長(大連出張中)
ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 九九二

三 二一七 十一月 十四日 通機一八 内田外務大臣ヨリ
在桑港矢田総領事宛 二三九

八 三五五 十一月 十四日 三一六 在ヴァンクーヴァー斎藤領事
ヨリ
内田外務大臣宛 四〇一

一九 九四四 十一月 十四日 合四五 松島政務部長(大連出張中)
ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 九九三

一九 九四五 十一月十四日 合四六 松島政務部長（大連出張中）
内田外務大臣宛（電報）
大連會議第十四回會議ニ関スル新聞
發表事項報告ノ件……………九九四

一九 九四六 十一月十五日 合四七 松島政務部長（大連出張中）
内田外務大臣宛（電報）
大連會議第十四回會議ニ於ケル撤兵
協定基本協約締結問題等ニ関スル討
議状況報告ノ件……………九九四

一九 九四七 十一月十五日 時八五 松島政務部長（大連出張中）
陸軍次官宛（電報）
チタ側提出ノ日本軍撤兵協定案要旨
報告ノ件……………九九五

二 一〇〇 十一月十六日 一二九 在ロス・アンゼルス大山領事
内田外務大臣宛（電報）
加州土地法借地及収獲契約兩試訴ハ
桑港ニ於テ開廷ノコトニ決定ノ件……………一四一

一九 九四八 十一月十六日 会二二 内田外務大臣ヨリ
在米國幣原大臣宛（電報）
大連第十四回會議ニ対シチタ側委員
トシテ新ニブリューヘル参加ノ旨通
報ノ件……………九九七

一九 九四九 十一月十六日 時八六 松島政務部長（大連出張中）
陸軍次官宛（電報）
チタ側提出ノ日本軍撤退ニ関スル協
定案發送済ノ件……………九九七

附記 右協定案……………九九七

一九 九五〇 十一月十六日 合四九 松島政務部長（大連出張中）
内田外務大臣宛（電報）
大連會議第十五回會議ニ於テ日本ノ
撤兵問題及該問題ト尼港事件解決ノ
関連性等ニ付討議ノ件……………九九九

一九 九五二 十一月十七日 合五〇 松島政務部長（大連出張中）
内田外務大臣宛（電報）
態度硬化セルチタ側ニ対シ我方ノ執
ルベキ方策ニ関シ意見稟申ノ件……………一〇〇一

一九 九五二 十一月十七日 合五一 松島政務部長（大連出張中）
内田外務大臣宛（電報）
日本軍ノ西比利亞撤去ヲ求ムル極東
共和国外相ヤンソンノ書翰要旨報告ノ件……………一〇〇二

一六 七五六 十一月十八日 五三 内田外務大臣ヨリ
松島政務部長（大連出張中）
浦潮政府ハ来年度ニ於ケルオコック
勸察加沿岸及ビーター大帝灣一帯ノ
漁業權貸下ヲ行フ計画ナル旨通報ノ件……………七七五

一九 九五三 十一月十八日 合五二 松島政務部長（大連出張中）
内田外務大臣宛（電報）
大連會議ニ於テ我方ガ従来ノ行懸ヲ
捨ツルノ英断ニ出ヅルヲ可トスル旨
進言ノ件……………一〇〇三

一九 九五四 十一月十八日 合五三 松島政務部長（大連出張中）
内田外務大臣宛（電報）
尼港駐兵問題ニ関シ意見稟申ノ件……………一〇〇四

一九 九五五 十一月十九日 機密五 松島政務部長（大連出張中）
内田外務大臣宛
極東共和国外相ヤンソンヨリ内田外
相宛書翰進達ノ件……………一〇〇五

附屬書 右書翰……………一〇〇五

一九 九五六 十一月十九日 浦參謀 浦潮派遣軍參謀長ヨリ
參謀次長宛（電報）
ヤンソン發内田外務大臣宛書翰ヲ強
硬ニ反駁スル必要アル旨稟申ノ件……………一〇〇九

二 一〇一 十一月二十日 四〇四 在桑港矢田總領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
収獲契約及借地契約ニ関スル公判ノ
模様報告ノ件……………一四二

一九 九五七 十一月二十四日 浦參謀 浦潮派遣軍參謀長ヨリ
參謀次長宛（電報）
ユーリン及コゼウニコフ免職ニ関ス
ル情報等報告ノ件……………一〇一〇

八 三五七 十一月二十五日 四六 在ヴァンクーヴァー齋藤領事
内田外務大臣宛（電報）
B.C.州閣令確認法問題ニ関スル大
審院ノ再審ニタッパ一派遣ノ必要ア
リヤ問合ノ件……………四〇三

別電 同日在晚香港齋藤領事發内田外務大臣宛電報第四七号
領政府司法大臣代理ヨリタッパ一宛電報亨……………四〇四

一六 七五七 十一月二十五日 華府會議全權ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

一九 九五八 十一月二十五日 欧米局調書

二一 一〇五二 十一月二十五日 外秘乙
一五六〇 警視庁ヨリ
外務省宛

八 三五八 十一月二十六日 在ヴァンクーヴァー斎藤領事
ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

全露憲法議會代表者ト称スル者西比利亞ニ於テ日本ニ特殊利益ヲ与フルコトニ反對ストノ陳述書発表ノ件
大連會議ニ於ケル我方及極東共和國間意見ノ対立点ニ付採ルベキ態度ニ関スル件
ニコライエフスクヨリ最近帰朝セル島田元太郎ノ現地状況ニ関スル談話報告ノ件
B.C.州閣令確認法問題再審ニ出廷ノ必要アル旨タッパヨリ回電越ノ件
……四〇四

別電 同日在晚香港斎藤領事宛内田外務大臣宛電報第四九号

右回電写

……四〇五

一六 七五八 十一月二十六日 内田外務大臣ヨリ
松島政務部長(大連出張中)
宛(電報)

明年度漁区貸下ニ付貸下方法細則漁区開設願提出時期等松村総領事浦潮政府当局ニ問合ノ結果通報ノ件
……七七六

一六 七五九 十一月二十六日 在浦潮永井政務部長代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

浦潮政府ヨリ華府會議ニ委員派遣ノ件
……七七七

一九 九五九 十一月二十六日 松島政務部長(大連出張中)
ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

労働政府漁業委員ノ来連ニ関シ請訓ノ件
……一〇一三

二〇 九九六 十一月二十六日 華府會議全權ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

極東共和国ノ現状ニ関シ西比利亞ヨリ帰米ノスミスノ談話新聞ニ掲載ノ件
……一〇四九

一九 九六〇 十一月二十七日 松島政務部長(大連出張中)
ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

大連會議第十六回ニ於テベトロフ尼港事件日本撤兵問題ニ付チタ政府ノ意嚮ヲ述べ次基本条約案審議ノ件
……一〇一三

一九 九六一 十一月二十七日 松島政務部長(大連出張中)
ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

浦潮政權ノ非人道的行為ノ阻止ニ付日本軍憲ノ尽力ヲ煩シ度旨ベトロフヨリ申出ノ件
……一〇一五

一九 九六二 十一月二十八日 内田外務大臣ヨリ
松島政務部長(大連出張中)
宛(電報)

労働政府漁業委員ノ来連ニ関シ回訓ノ件
……一〇一五

一九 九六三 十一月二十八日 松島政務部長(大連出張中)
ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

大連會議第十七回ニ於テベトロフ基本条約日本側提案第八條ノ削除ヲ主張シ我方之ニ反對ノ件
……一〇一六

一九 九六四 十一月二十九日 内田外務大臣ヨリ
松島政務部長(大連出張中)
宛(電報)

大連會議ノ進行促進方ニ付訓電ノ件
……一〇一七

一九 九六五 十一月二十九日 松島政務部長(大連出張中)
ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

大連會議第十八回ニ於テベトロフ基本条約日本提案第十一條ノ斂業、林業、土地所有權ノ規定等ノ削除ヲ主張ノ件
……一〇一七

五 二七三 十一月三十日 在桑港矢田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

タラック事件公判モデスト市上級裁判所ニ於テ開始竝日本人証人呼出ニ付係検事ヨリ尽力方懇請アリタル件
……二九〇

八 三五九 十一月三十日 在オタワ清水總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

B.C.州閣令確認法問題再審ニ弁護士派遣ニ関スル司法次官ノ意見通報竝費用支出方ニ付本省ニ稟請可然旨回示ノ件
……四〇五

八 三六〇 十一月三十日 在ヴァンクーヴァー斎藤領事
ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

B.C.州閣令確認法問題再審ノ弁護費用支出詮議方稟請ノ件
……四〇六

一九 九六六 十一月三十日 合六〇
松島政務部長(大連出張中)
ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

十一月三十日ノ大連會議ニ於テ我方提案中ノ既得權益河川航行権沿岸貿易条項ニ付討議ノ件
……一〇一八

十二月

八 三六一 十二月 二日 九九 在オタワ清水総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

B.C.州閣令確認法問題再審ノ弁護費用支出方晚香港坡領事ノ稟請ヲ支持ノ件……………四〇六

一九 九六七 十二月 二日 六〇 内田外務大臣ヨリ
松島政務部長(大連出張中)
(電報)

極東共和国ガ我方ノ西比利亞撤兵ヲ希望スルニ於テハ基本協約ノ成立ヲ促進スル要アル旨ペトロフニ申入方訓令ノ件……………一〇二二

八 三六二 十二月 三日 二六 内田外務大臣ヨリ
在ヴァンクーヴァー斎藤領事宛(電報)

B.C.州閣令確認法問題ノ再審弁護費用電送ノ件……………四〇七

一九 九六八 十二月 三日 会一〇七 内田外務大臣ヨリ
在米國幣原大使宛(電報)

十一月十四日以降ノ大連會議交渉ノ經過ニ付通報ノ件……………一〇二一

一九 九六九 十二月 四日 合六一 松島政務部長(大連出張中)
内田外務大臣宛(電報)

大連會議ニ於テ日本側基本協約案中曩ニ討議セラレザリシ条項ニ對スル修正案及追加条項十二月三日チタ側ヨリ提出ノ件……………一〇二三

一九 九七〇 十二月 五日 合六三 松島政務部長(大連出張中)
内田外務大臣宛(電報)

大連會議交渉促進方ニ付ペトロフニ申入方ノ訓令執行濟ノ件……………一〇二五

五 二七四 十二月 六日 四一五 在桑港矢田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

オークランド高校ヲ優秀卒業ノ日本女子學生ニ代表式辞ヲ述ベシムベキ旨發表セルニ對シ白人學生等反對運動ヲ起セル件……………二九一

八 三六三 十二月 六日 公三三九 在ヴァンクーヴァー斎藤領事
ヨリ
内田外務大臣宛

在ヴィクトリア商業會議所理事会ニ於テ東洋人ニ關スル諸問題討議ニ付報告ノ件……………四〇七

八 三六四 十二月 六日 公三四〇 在ヴァンクーヴァー斎藤領事
ヨリ
内田外務大臣宛

B.C.州各地ニ於ケル排日実状ニ關スル日本人会主催協議會ノ調査報告書送付ノ件……………四〇九

五 二七五 十二月 七日 四一六 在桑港矢田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

日本女子學生ノ高校卒業女生徒代表反對運動ハ白人學生側取止メタル為落着シタル件……………二九一

五 二七六 十二月 八日 機公六七 在桑港矢田總領事ヨリ
内田外務大臣宛

タラック事件裁判ニ關シ報告ノ件……………二九二

一九 九七一 十二月 八日 合六五 松島政務部長(大連出張中)
内田外務大臣宛(電報)

大連會議交渉促進方ニ關スル我方申入ニ對シペトロフヨリ回答越セルニ付請訓ノ件……………一〇二六

二〇 九九七 十二月 八日 会一七〇 華府會議全權ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

極東共和国代表一行華盛頓ニ來着及聲明書發表並其動靜報告ノ件……………一〇四九

一七 七七二 十二月 九日 在本邦米國大使(會談)

浦潮政府外交部長ノ訪日及訪米ノ目的並浦潮派遣日本軍ノ交代兵等ニ關スル件……………七九三

附記 コレスニコフ外務省ニ渡辺領事訪問ノ件……………七九五

一七 七七三 十二月 十日 合四〇三 内田外務大臣ヨリ
在中國小幡公使
在浦潮永井政務部長代
理
松島政務部長(大連出張中)

浦潮派遣軍一部交代ニ關シ公表ノ件……………七九六

別電 同日内田外務大臣宛小幡公使永井政務部長代理松島政務部長各宛電報合第四〇四号
右公表文

……………七九六

一九 九七二 十二月 十日 六一 内田外務大臣ヨリ
松島政務部長(大連出張中)
宛(電報) 押収物件ノチタ側ヘノ引渡決定ニ関
シ再考方松村総領事ヨリノ稟請ニ対
シ右決定ノ理由ヲ回示シ置キタル旨
通報ノ件 一〇二八

別 電 同日内田外務大臣発松島政務部長宛電報第六二号……………一〇二八

一九 九七三 十二月 十日 六三 内田外務大臣ヨリ
松島政務部長(大連出張中)
宛(電報) 我方提出ノ基本協約案ニ対スルチタ
側修正案ニ関スル日本政府ノ意向訓……………一〇二八
示ノ件

一九 九七四 十二月 十日 合六六 松島政務部長(大連出張中)
内田外務大臣宛(電報) 大連會議軍事委員ブリューヘルノチ
タ帰還ニ付報告ノ件……………一〇三〇

八 三六五 十二月 十二日 公三四五 在ヴァンクラーフアール齋藤領事
内田外務大臣宛 在ヴィクトリア商業會議所ニ於テ東
洋人問題再議ニ関シ追報ノ件……………四一一

一九 九七五 十二月 十三日 合六八 松島政務部長(大連出張中)
内田外務大臣宛(電報) 基本協約ニ対スルチタ側修正案ニ関
スル日本政府ノ意向ヲバトロフニ伝
ヘ同人ノ質疑ニ応答ノ件……………一〇三〇

二〇 九九八 十二月 十三日 二五三 在ハルビン山内総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) チタ政府首班ガ国民議會ニ於テ沿海
州白色バルチザンノ進撃ハ日本ノ所
為ナリトテ日本攻撃演説ヲ為シタル
件……………一〇五〇

二一 一〇五三 十二月 十三日 陸軍省ヨリ
外務省宛 薩哈噠州占領地域内ニ於ケル産業ニ
関スル閣議案ニ付外務省ノ意見問合……………一二九

一九 九七六 十二月 十四日 五九八 内田外務大臣ヨリ
在英園林大使宛(電報) 大連會議ノ最近ノ進展状況ニ付通報
ノ件……………一〇三二

一九 九七七 十二月 十四日 合六九 松島政務部長(大連出張中)
内田外務大臣宛(電報) 基本協約案ニ関スル日本政府ノ意向
ヲ伝ヘタルニ対シベトロフヨリ回答……………一〇三三
ノ口上書受領ノ件

三 二一八 十二月 十五日 機密公
六八 在桑港矢田総領事ヨリ
内田外務大臣宛 米國太平洋沿岸日本人會議提出
ノ請願書進達ノ件……………二四〇

附屬書 右請願書……………二四〇

一六 七六〇 十二月 十六日 二三八
二三九 在浦潮松村総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) メルクロフ政權宛文書ノ宛名ニ官
名ヲ記載スベキヤ否ヤニ関シ請訓ノ……………七七七
件

一七 七七四 十二月 十六日 合四二四 内田外務大臣ヨリ
在米國幣原大使在中國小幡公
使松島政務部長在浦潮永井政
務部長代理各宛(電報) 在本邦米國大使ヨリ浦潮政府外交部
長トノ會談ヲ内田大臣ニ披露シ大臣
ヨリ浦潮派遣軍交代兵ニ付説明ノ件……………七九七

一五 六九九 十二月 十七日 一一六 在波蘭國川上公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 日露國交回復ニ関スル日置駐独大使
アリタル件……………七二四

一五 七〇〇 十二月 十七日 一一八 在波蘭國川上公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 日露國交回復交渉開始ノ基礎条件ニ
関スル日本政府ノ考ヲ承知シ度旨及
交渉地ノ希望ニ付カラハン談話ノ件……………七二五

一九 九七八 十二月 十七日 六五 内田外務大臣ヨリ
松島政務部長(大連出張中)
宛(電報) 日本軍撤退後日本居留民保護ノ為露
國民警ノ補助機關トシテ日本人配置……………一〇三五
ニ付チタ側ニ申入方訓令ノ件

五 二七七 十二月 十八日 機公六九 在桑港矢田総領事ヨリ
内田外務大臣宛 フォーラン氏滯日中ノ感想記事ニ関
スル件……………二九三

二 一〇二 十二月 十九日 一三一 在桑港矢田総領事宛(電報) 収獲及借地両訴訟ノ其後ノ成行問合……………一四二
ノ件

一七	七七五	十二月十九日	會議 二〇四	内田外務大臣ヨリ 在米國幣原大使宛(電報)	烏蘇里鐵道及東支鐵道間ノ車輛運行 ニ日本軍ハ干涉スル權利無シトノ米 國側抗議ニ對シ日本側ヨリ説明ノ件	七九九
一九	九七九	十二月十九日	合七一	松島政務部長(大連出張中) ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日本軍撤退後日本人ノ露國民警補助 ニ関シベトロフニ申入ノ件	一〇三六
二	一〇三	十二月二十日	四一三	在桑港矢田總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	收獲契約及借地契約ニ關スル公判ハ 未タ判決ヲ見ザル旨回電ノ件	一四二
二	一〇四	十二月二十一日	四二五	在桑港矢田總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	借地契約試訴ニ對スル判決ハ原告ノ 敗訴ヲ宣シ收獲契約試訴ニ對シテハ 未タ判決ナキ旨報告ノ件	一四二
二	一〇五	十二月二十一日	四二六	在桑港矢田總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	收獲契約試訴ハ原告勝訴ノ判決アリ タル件	一四三
八	三六六	十二月二十一日	一〇九	在オタワ水沢總領事代理ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	B.C.州閣令確認法國問題ニ付加奈 陀大審院ニ於テ再審ノ模様詳報ノ件	四二二
一五	七〇一	十二月二十二日	二六九	在独國日置大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日露國交回復交渉開始問題ニ付カラ ハント会谈ノ要領報告及意見稟申ノ 件	七一六
一六	七六一	十二月二十二日	二四三	在浦潮松村總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	大連會議ニ關シメルクロフ政權ヨ リ抗議書翰受領ニ付報告ノ件	七七九
一七	七七六	十二月二十二日	會議 二六〇	華府會議全權ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	華府會議進行上ノ不利ヲ避クル為西 比利亞ニ於ケル鐵道運行ニ對スル我 軍ノ干涉抑制方針採用方稟申ノ件	七九九
一七	七七七	十二月二十四日	會議 二三四	内田外務大臣ヨリ 在米國幣原大使宛(電報)	沿海州ニ於テ日本軍ガ白色軍ヲ援助 シタリトノ非難ヲ生ズルニ至リタル 事情通報ノ件	八〇〇
一九	九八〇	十二月二十七日	四二九	在桑港矢田總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	大連會議ニ於ケル日本政府ノ要求条 件ヲ伝フル新聞報道報告ノ件	一〇三六
一七	七七八	十二月二十九日	合四三一	内田外務大臣ヨリ 在米國幣原大使在中國小幡公 使松島政務部長在浦潮永井政 務部長代理各宛(電報)	日本ノ西比利亞撤兵其他ノ問題ニ関 シ在本邦米國大使ニ對シ我政府ノ意 向ヲ説明ノ件	八〇一
一九	九八一	十二月二十九日	六九	内田外務大臣ヨリ 松島政務部長(大連出張中) 宛(電報)	大連會議ニ於テ双方ノ意見一致セザ ル諸点ニ関シ先方ヲ説得方ニ付訓令 ノ件	一〇三七
附記 大正十一年一月三日松島政務部長發内田外務大臣宛電報合						
第二十七号						
訓令ノ趣旨ヲ認メタル文書ヲベトロフニ手交ノ件						
二〇	九九九	十二月二十九日	合四三〇	内田外務大臣ヨリ 在米國幣原大使在中國小幡公 使松島政務部長在浦潮松村總 領事各宛(電報)	チタ國民議會ガ日本軍ノ白軍援助等 ニ關スル決議ヲ為シ之ヲ米國政府宛 電報シタル件ニ付在本邦米國大使來 談ノ件	一〇五一
二〇	一〇〇〇	十二月二十九日	七〇	内田外務大臣ヨリ 松島政務部長(大連出張中) 宛(電報)	極東共和國ノ反日宣伝ニ關シ抗議申 入方訓電ノ件	一〇五一
五	二七八	十二月三十日	公三三六	在シアトル佐藤領事代理ヨリ 内田外務大臣宛	渋沢子爵添田博士一行シアトル來着 ノ件	二九三
二二	四四五	十二月三十日	米機公信 三〇	在墨國伊藤臨時代理公使ヨリ 内田外務大臣宛	墨國政況報告ノ件	五〇一